

2026
Vol. 75

別冊

医学検査

Japanese Journal of Medical Technology

第75回 日本医学検査学会 プログラム集



今、命を未来へつなぐ
—イノベーションへの架け橋—



2026年 9月26日[土]・27日[日]

幕張メッセ 国際会議場、国際展示場（展示ホール7）
TKP東京ベイ幕張ホール

学 会 長

奥沢 悦子

八戸市立市民病院

実行委員長

吉田 泰憲

独立行政法人
労働者健康安全機構 青森労災病院

事務局長

逆井久美子

八戸赤十字病院



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
Japanese Association of Medical Technologists

主催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

担当 一般社団法人 青森県臨床検査技師会



<https://www.75jamt.jp/>



詳しい補償内容・
お申込みはこちら



日臨技リンクス
JAMT LINKS INSURANCE

日臨技会員限定 団体保険

(団体総合生活保険)

ご自身のケガへの補償
(傷害補償・A2)

年間保険料

~~11,460円~~

約62%割引

4,320円

日臨技会員
だから受けられる
スケールメリット

最大約

62%OFF

自転車事故など
第三者への賠償責任補償
(個人賠償責任補償・H1)

年間保険料

~~2,840円~~

58%割引

1,190円

日臨技リンクスが選ばれる理由



最大約62%の割引率

団体割引30%に加え、損害率による割引等を適用。一般加入に比べてスケールメリットにより保険料が大幅に割安です。



ご家族も加入OK

配偶者・お子様・ご両親・ご兄弟も加入可能。



豊富なラインナップ

傷害、医療、がん、賠償など、ライフスタイルに合わせて必要な補償を自由に組み合わせ可能です。

保険期間：2026年6月1日午後4時～2027年6月1日午後4時

※毎月、中途の加入も受け付けています。

保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他に契約されているときには、補償が重複することがあります。このご案内は、団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入(同じ内容で更新する場合を含みます。)にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。「重要事項説明書」には、ご加入または更新される保険の商品内容をご理解いただくために特に重要な情報、および、お客様にとって不利益となる事項等、特にご注意いただきたい情報を記載しております。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。団体総合生活保険の内容等については、上記二次元コード内にてご参照できます。

お問い合わせ先

取扱代理店

(株)メディックプランニングオフィス

〒104-0033 東京都中央区新川2-22-2 新川佐野ビル3F

TEL:0120-610020(9:00～17:00 土・日・祝を除く)

引受保険会社

東京海上日動火災保険(株)(担当部署)医療福祉法人部

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4 ラ・メール三番町9F

TEL:03-3515-4143(9:00～17:00 土・日・祝を除く)

検査室を"リ"マネジメントする

臨床検査情報システム

CLINILAN® Series

CLINILAN
Core



検体検査システム

CLINILAN® GL-3 Re



① 検査状況をリアルタイム管理

② 頻度の高い作業をより効率化

③ ワンステップで簡単に可視化

④ 記録・集計作業を効率化



株式会社 エイアンドティー

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル
TEL.045-440-5810 <https://www.aandt.co.jp/>



検査室で 血清IgG4の測定が 可能です。

汎用自動分析装置用 IgG4測定試薬

N-アッセイLA IgG4 ニットーボー

- モノクローナル抗体を利用しIgG4を特異的に測定
- IgG4が高値でも偽低値を示さない測定法を採用し500mg/dLまで測定可能
- 本試薬の基準範囲 11-121mg/dL*

*Usami Y, et al. Clin. Chim. Acta. 2020, 501.

製造販売元

ニットーボーメディカル株式会社

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地

お問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル7階

TEL:03-4582-5420 FAX:03-3238-4590

URL:<https://www.nittobo-nmd.co.jp>

全自動遺伝子解析装置

GENECUBE®

医療機器製造販売届出番号 27B1X00168GE0001

核酸の増幅・検出

最短
約 **25** 分
※1

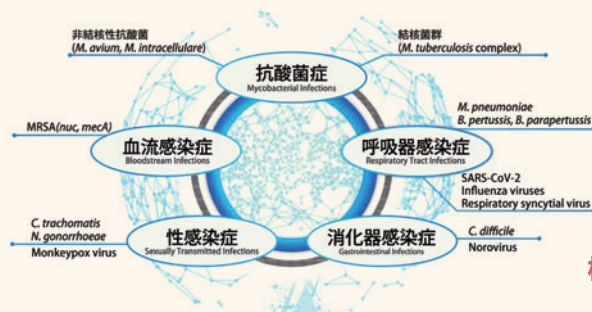
同時測定数

最大 **24** 検体
※2

- ・測定開始から最短約25分※1で結果が得られます
- ・一台で同時に複数項目の測定が可能

※1 測定項目、検体数によって検査時間は異なります。

※2 同時に測定する項目数によって測定可能な検体数は異なります。



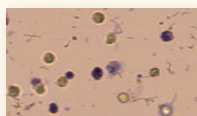
検査試薬ラインナップが豊富
1台で様々な検査が可能

尿中有形成分分析装置

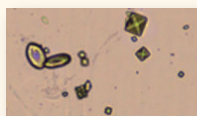
USCANNER premio®

医療機器製造販売届出番号 27B1X00168US0003

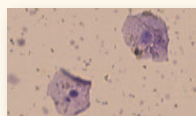
- ・全自動尿分析装置との連携で
尿定性分析～尿中有形成分分析を効率化
- ・測定検体の染色画像を確認可能



白血球



結晶



扁平上皮



染色した検体のカラー画像解析による 尿中有形成成分の分類と計数

■販売元（お問い合わせ先）

（体外診断用医薬品・試薬・消耗品）

極東製薬工業株式会社

本社：〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7番8号

TEL：03-5645-5664 FAX：03-5645-5703

URL：https://www.kyokutoseiyaku.co.jp/

（全自動遺伝子解析装置 GENECUBE® / 尿中有形成分分析装置 USCANNER premio®）

東洋紡株式会社 バイオ事業総括部

本社：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス

TEL：06-6348-3335 FAX：06-6348-3833

URL：https://www.toyobo.co.jp/products/bio/clinical/index.html

■製造販売業者

東洋紡株式会社

USCANNER premio®、GENECUBE®、ジーンキューブ®は東洋紡株式会社の登録商標です。 2026.6-01 THS26105



Service and support

シンプルでお得な定額制！ ピペット校正・点検サービス

ISO 15189／ISO 17025認定取得および管理維持をサポート

- 交換パーツの追加料金が発生しない定額制を採用
- 他社ピペットも当社ピペットも同条件、同価格で、納期・各種レポートを一元化
- マルチチャンネルピペットは全チャンネルの検定を標準実施

2つのシンプルなコース

ISO／IEC 17025 校正サービス

- 品質システムに対応するため、ISO校正証明書を発行
- シングルチャンネルピペット 11,600円～

点検サービス

- 2点5回繰り返し測定で、検定結果レポートを発行
- シングルチャンネルピペット 5,200円～

■ 詳細はこちらをご覧ください thermofisher.com/jp-pipette-service

研究用にも使用できます。診断用には使用いたできません。これらの製品は一般的なラボでの使用を目的としています。製品の性能がお客さまの用途やアプリケーションに適しているかどうかはお客さま自身でご確認ください。

©2026 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.

記載の価格は2026年7月現在のメーカー希望小売価格です。消費税は含まれておりません。実際の価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。

価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

標準販売条件はこちらをご覧ください。 thermofisher.com/jp-tc **LHC550-A26070B**

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

thermo scientific

お問い合わせはこちら thermofisher.com/contact

リューコストラット CDx FLT3 変異検査*

006-14 FLT3 遺伝子検査
さらに1回の算定が認められました!†

未来を見据えて

FLT3コンパニオン診断薬が
迅速かつ客観的な診断を可能にします。



➤ グローバルで使用される
唯一のコンパニオン診断薬 (CDx)

FLT3シグナル比検査で急性骨髄性
白血病患者の治療を最適化

➤ グローバルなCDx検査サービス

世界中で培われた薬事規制などへの
豊富な経験により、患者の層別化や臨床試験
への円滑なサポートを実施

 **invivoscribe®** **LabPMM®**
an invivoscribe company

FLT3 遺伝子検査は、急性骨髄性白血病（急性前骨髄性白血病を除く。）の骨髄液又は末梢血を検体とし、PCR 法及びキャピラリー電気泳動法により、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として、FLT3 遺伝子の縦列重複 (ITD) 変異及びチロシンキナーゼ (TKD) 変異の評価を行った場合に、原則として患者 1 人につき 1 回に限り算定する。ただし、再度治療法を選択する必要がある場合には、さらに 1 回に限り算定できる。

*使用目的:

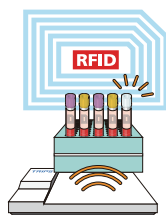
リューコストラットCDx FLT3変異検査はPCRベースのin vitro診断用検査で、急性骨髄性白血病と診断された患者の末梢血または骨髄穿刺液中の単核細胞から抽出したゲノムDNAを用いて、FLT3遺伝子の内部タンDEM重複 (ITD) 変異およびチロシンキナーゼドメイン (TKD) 変異D835およびI836を検出するようにデザインされています。リューコストラット CDx FLT3 変異検査の使用は、ギルデリチニブフマル酸塩のAML患者への適応を判定するための補助に用いる。リューコストラット CDx FLT3変異検査の使用は、ギザルチニブ塩酸塩のAML患者への適応を判定するための補助に用いる。



M-0096 - JP Rev. 05 | May 2026

採血管RFIDの一括照合 / 搬出・搬入を記録

検体精度管理の情報・機能を拡張



新型RFIDリーダー



RFIDラベル



Assist More オプション機能

予約採血コントロールオプション / 外来採血の集中を分散



テクノメディカは 第75回 日本医学検査学会 企業展示会に出展いたします。

TRIPS関連製品、新発表UA-ROBO-5000ほか様々な製品のご案内を予定しております。

テクノメディカ ランチョンセミナーのご案内

第75回 日本医学検査学会 ランチョンセミナー11

日時:9月27日(日)

場所:幕張メッセ 国際会議場

12:00~13:00

第10会場(1F 104号室)

RFID検体情報統括管理システム“TRIPS”による医療安全対策と
予約採血コントロールオプションによる臨床サービス向上

～TRIPSとスムーズ採血が病院を変える!～

[座長] 東京大学医学部附属病院 検査部

吉川 直之先生

[演者] 大阪医科薬科大学病院 中央検査部

畠村 朋子先生

第 75 回 日本医学検査学会 プ ロ グ ラ ム

令和 8 年（2026 年）9 月 26 日（土）～ 27 日（日）

目 次

長沢代表理事 会長 挨拶文	2
奥沢学会長 挨拶文	3
1. 会場への交通案内	4
2. 会場図	5
3. Web 抄録のご案内	8
4. 日程表	9
5. 運営のお知らせ	
I . 学会へ参加される方へ	16
II . 発表者、座長の方へ	17
III . 学会場案内	20
IV . 本部・控室	22
6. 特別企画一覧	23
7. 都道府県別一般演題数	32
8. 日本医学検査学会開催地・担当都道府県一覧	33
9. 展示発表会 出展会社一覧	34
10. ランチョンセミナー・スイーツセミナー一覧	35
11. 各種委員会構成	37
12. 抄録目次	
特別企画目次	38
一般演題目次	49
抄録・略歴（特別講演、教育講演）	98

2026

青森

第 75 回日本医学検査学会の開催にあたり



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事 会長 長沢 光章

平素より会員の皆様には、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の活動にご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本学会は、一般社団法人青森県臨床検査技師会が担当し、奥沢悦子学会長のもと、テーマを「今、命を未来へつなぐーイノベーションへの架け橋ー」と掲げ、2026年9月26日（土）・27日（日）の2日間、千葉県千葉市の幕張メッセおよびTKP 東京ベイ幕張ホールを会場として開催いたします。開催地は千葉県ではありますが、会場では青森県の魅力も感じていただけるよう、さまざまな趣向を凝らした準備が進められております。

また、本学会は日臨技が担当する IFBLS 2026（第 36 回世界医学検査学会）との同時開催となります。

本学会では、特別講演、教育講演、分野別企画、日臨技企画など計 41 企画を予定し、一般演題も約 500 題に上ります。最新の知識や技術に関する講演・発表に加え、医療 AI や医療 DX、タスク・シフト／シェア、さらにはへき地・離島医療など、これからの臨床検査が果たすべき役割について幅広く議論いただけるプログラムを企画されております。

近年、人口減少、新興・再興感染症の発生、軍事衝突などにより社会情勢が不安定になっており、医療業界でも医療 DX をはじめとする技術革新が急速に進展し、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。また、法改正に伴うタスク・シフト／シェアの推進により、臨床検査技師に求められる役割はますます広がり、その専門性を発揮する場面も多様化しています。

本学会が、臨床検査のさらなる発展と臨床検査技師としての意識改革につながるとともに、参加される皆様にとって活発な議論と交流を通じて知識と技術を深め、明日からの実践、そして患者さんへより良い医療を提供するための一助となることを願っております。

なお、日本臨床衛生検査技師会も新執行体制となり、本学会、研修会や精度管理など学術部門の強化を重要課題としており、学問・学術、技能・技術あつての職域・職能を目指して参ります。

末筆ではございますが、本学会の企画・運営にご尽力いただきました奥沢悦子学会長をはじめ、一般社団法人青森県臨床検査技師会の皆様に深く感謝申し上げます。また、機器展示、共催セミナー、ハンズオンセミナーなど、本学会の開催にご支援、ご協力を賜りました企業の皆様方にも厚く御礼申し上げます。

本学会にご参加いただきました皆様方にとって、本学会が実り多い学びと交流の機会となりますことを心より祈念申し上げ、主催者を代表してのご挨拶といたします。



今、命を未来へつなぐ イノベーションへの架け橋



第 75 回日本医学検査学会

学会長 奥沢 悦子

(八戸市立市民病院 救命救急センター)

第 75 回日本医学検査学会を北日本支部の代表として一般社団法人青森県臨床検査技師会（以下、青臨技）が担当いたします。開催させていただくにあたり、担当県を代表してご挨拶申し上げます。

学会テーマは「今、命を未来へつなぐ イノベーションへの架け橋」としました。診療・業務の効率化に新たな社会基盤となる医療 AI、医療 DX 等のテクノロジーとの共存が必要であるとともに、あらためて「ヒトのチカラ・つながり」も大切です。未来のためにすべきことを「皆で考える場」にしたいと考えました。

本学会の特別講演では「劇的救命」と題して、へき地における救急医療へドクターカー・ドクターヘリ導入に尽力され、ご活躍されている救急医今明秀医師から実演を交えたご講演をしていただきます。また国内外で活躍されている救急医より「救急医療に求められる臨床検査」をご講演していただきます。教育講演Ⅱでは「災害時における医療継続と多職種連携～平時以上に重要な被災地での感染対策～」災害時感染制御支援チーム(DICT)としての支援活動された先生より、災害時必要とされる臨床検査についてお話をいただきます。そしてへき地・病院集約化の課題と向き合う現役の産婦人科医より「ミライへつなぐ検査の力・妊娠から出産まで、命を支える臨床検査」についてのご講演もあります。一度の学会で、これだけのフロントラインで活躍されている先生方が一堂に会することは極めて稀であると思います。

特別プログラムは、教育講演 12、シンポジウム 12、ワークショップ 2、日臨技企画 6、ハンズオンセミナーでは心臓、血管（頸動脈、下肢静脈）、初の試みである呼吸機能検査、神経伝導速度検査を行います。また全国から救急医療分野を含む一般演題 483 演題の登録をいただき、多くの皆様との交流の場として設けることができました。なお各分野へご参加の皆様に、ご安心いただけるスケジュール感となるよう可能な限り調整して参りました。特別プログラムは、オンデマンド視聴ができますので、時間を有効に幅広く学べるようオンデマンドの活用もして頂ければと思います。

本学会は日本全国そして世界の皆様が集う大切な場になるよう、青臨技が皆様との「架け橋」となり、準備を進めてきた学会です。青森の四季折々「食と文化の魅力」に触れつつ、新しい学び、出会い、気づき、発見が得られる貴重な機会を皆さまと共にご体感できればと存じます。

「青森 in Chiba」千葉幕張メッセ・国際展示場にてお目にかかれることを青森県臨床検査技師会会員一同、心よりお待ち申し上げます。

1. 会場への交通案内

幕張メッセ 〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 TEL:043-296-0001

TKP東京ベイ幕張ホール 〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3 TEL:043-296-1112



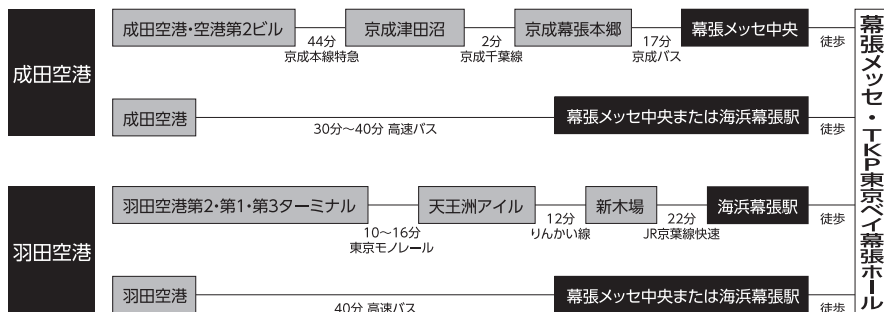
電車でのアクセス

- JR京葉線「海浜幕張駅」(東京駅から快速利用で約30分)から徒歩約5分
- JR総武線・京成線「幕張本郷駅」から「幕張メッセ中央」行きバスで、約17分

車でのアクセス

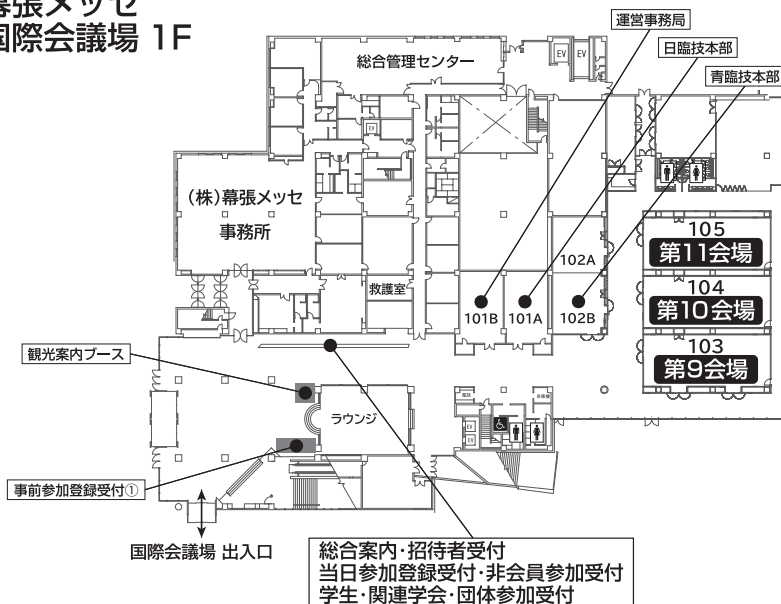
- 東京都心・羽田空港から約40分
- 湾岸習志野I.C.(東関東自動車道)、または幕張I.C.(京葉道路)から約5分
- 成田空港から約30分
- 湾岸千葉I.C.(東関東自動車道)から約5分

空港からのアクセス(電車・バスのご利用)



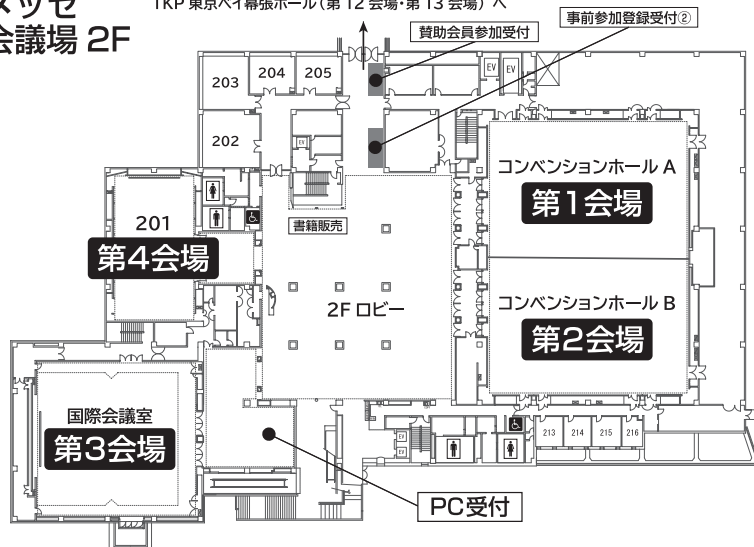
2. 会場図

幕張メッセ 国際会議場 1F

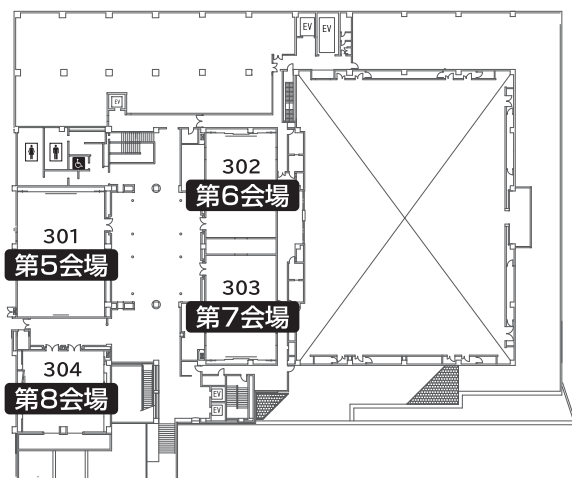


幕張メッセ 国際会議場 2F

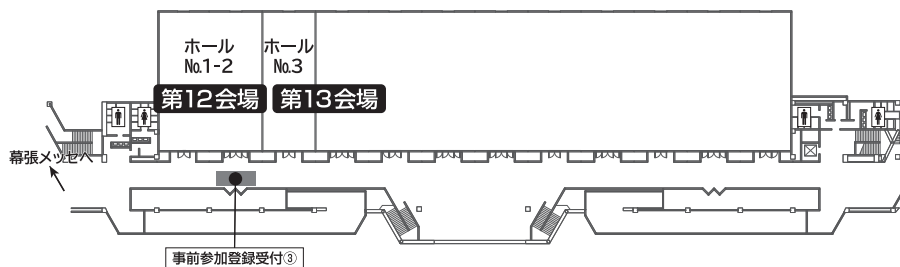
幕張メッセ国際展示場 展示ホール 7 (ポスター会場・企業展示)
TKP 東京ベイ幕張ホール (第12会場・第13会場) へ



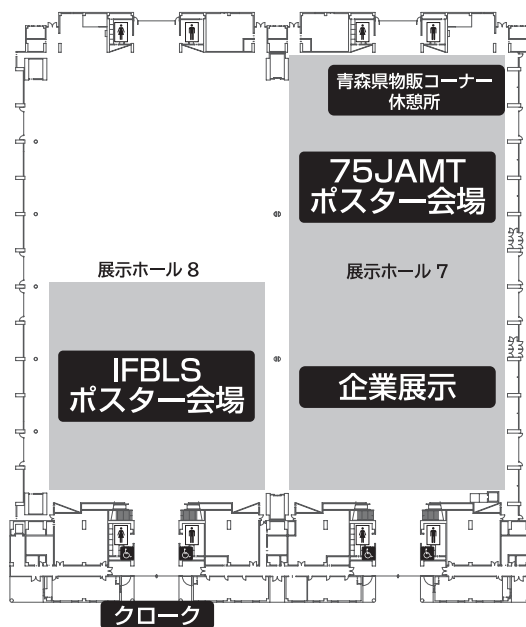
幕張メッセ 国際会議場 3F



TKP 東京ベイ幕張ホール 2F



幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 7





3. Web抄録のご案内

パソコン・タブレット・スマートフォン…
様々な端末で見やすく！

- Point 1** 誤操作や迷いがなく、直感的に求める情報にアクセス
- Point 2** 一目でボタン操作を理解可能
- Point 3** 今まで以上に「学会参加者」の便利を考慮したコンテンツや機能を充実



URL <https://congress.jamt.or.jp/j75/>

【重要】

アクセスが集中しますと、繋がりにくくなる場合があります。
抄録が必要な方はあらかじめWeb抄録からダウンロードいただくことをお勧めします。

4. 日程表 (1)

2026年9月25日(金)

会場名	第1会場 (IFBLS2026)	展示会場
階 室名	2F コンベンションホール	国際展示場 ホール7
10:00		
11:00		11:00~11:30 テープカット
		11:30~17:00 展示発表会
12:00		
13:00		
14:00		
	14:00~16:00 IFBLS2026 Opening Ceremony Keynote Speech	
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		
20:00	19:00~21:00 IFBLS2026 Gala Dinner	
21:00		

4. 日程表 (2)

2026年9月26日(土)

会場名	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
階 室名	2F コンベンションホールA	2F コンベンションホールB	2F 国際会議室	2F 201号室	3F 301号室	3F 302号室	3F 303号室	3F 304号室
9:00								
	9:00~9:30 学会長講演 奥沢 悦子						9:00~9:30 血液1 47~49	9:00~9:30 輸血1 207~209
10:00	9:40~10:40 代表理事会長 基調講演 長沢 光章 日本臨床衛生検査技師会 の現状と今後	9:30~10:30 教育講演Ⅲ 渡邊 理史 ミライへつなく検査の力 ー妊娠から出産まで、 命を支える臨床検査ー	9:30~10:30 生物化学分析部門 教育講演Ⅳ 堀田 多恵子 JLAC11コード について	9:30~10:30 臨床生理部門 教育講演Ⅴ 横塚 典子 心臓超音波検査 ×AI	9:30~10:30 臨床微生物部門 教育講演Ⅸ 中村 竜也 微生物検査技師の キャリアパス	9:30~10:30 病理細胞部門 教育講演Ⅵ 黒瀬 顕 病理診断の現状と 今後の展望	9:30~10:00 血液2 50~52	9:30~10:00 輸血2 210~212
11:00	10:50~12:20 日臨技企画1 シンポジウム1 大規模災害に備える 臨床検査技師: 日臨技の災害対策 "現在地"と次の一手		10:40~12:10 輸血細胞治療部門 ワークショップ2 症例から学ぶ 輸血検査	10:40~12:10 臨床一般部門 シンポジウム5 尿検査の最新 研究分野に ついて	10:40~12:10 臨床生理部門 ワークショップ1 心電図で鍛える 診断力	10:40~12:10 遺伝子・染色体部門 シンポジウム12 知りたい! 遺伝子関連 染色体検査の 精度管理	10:05~10:45 血液3 53~56	10:05~10:35 臨床化学1 82~84
12:00							10:45~11:05 血液4 57~58	10:35~11:05 臨床化学2 85~87
							11:10~11:40 血液5 59~61	11:10~11:40 臨床化学3 88~90
13:00				12:30~13:30 ランチョン セミナー1 積水メディカル(株)	12:30~13:30 ランチョン セミナー2 アボットジャパン (同)	12:30~13:30 ランチョン セミナー3 日本ベクトン ディッキンソン(株)	12:30~13:30 ランチョン セミナー4 富士フイルム メディカル(株)	
14:00	13:40~15:10 日臨技企画2 シンポジウム2 肝炎医療コーディネーター	13:40~15:10 日臨技企画3 シンポジウム3 内視鏡室業務に関して	13:40~14:40 特別講演 今 明秀 劇的救命				13:40~14:10 一般1 183~185	13:40~14:10 輸血3 213~215
15:00							14:10~14:40 一般2 186~188	14:10~14:40 輸血4 216~218
			15:00~16:30 教育関連部門 シンポジウム13 未来を担う 臨床検査技師の 育成 ～変革する医療に 向けた教育の あり方～	15:00~16:30 生物化学分析部門 シンポジウム1 検査データの その先に広がる世界 ～多職種連携の さまざま～	15:00~16:00 臨床血液部門 教育講演Ⅶ 常名 政弘 リアルタイム サーベイランス (形態・FCM)	15:00~16:30 病理細胞部門 シンポジウム4 病理検査室の マネジメント	15:00~15:50 スイーツ セミナー 日本光電工業(株)	14:45~15:15 輸血5 219~221
16:00								15:15~15:45 輸血6 222~224
								15:55~16:25 その他1 292~294
17:00								
18:00	17:00~18:20 学会式典・ 表彰式							
19:00								
20:30	19:00~20:30 情報交換会 TKP東京ベイ幕張ホール							

[illegible]

4. 日程表 (3)

2026年9月27日(日)

会場名	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
階 室名	2F コンベンションホールA	2F コンベンションホールB	2F 国際会議室	2F 201号室	3F 301号室	3F 302号室	3F 303号室	3F 304号室
9:00	8:30~10:00 日臨技企画4 シンポジウム4 医師の働き方改革が 切り拓く術中神経生理 モニタリングの新たな 展開—医師と臨床検査 技師の協働を考える—	9:00~10:00 教育講演I 吉村 有矢 救急医療に 求められる 臨床検査		9:00~10:00 臨床微生物部門 教育講演X 上地 幸平 データが拓く微生物 検査の未来	9:00~10:30 臨床血液部門 シンポジウム7 血液形態における AI技術の現状と 今後の検査技師の 在り方、展望	9:00~10:30 生物化学 分析部門 シンポジウム2 先人から学ぶ!! 学会発表のいろは	8:30~9:00 一般3 189~191 9:00~9:30 一般4 192~194 9:30~10:00 一般5 195~197 10:00~10:30 一般6 198~200 10:30~11:00 一般7 201~203	8:30~9:00 免疫血清1 38~40 9:00~9:30 免疫血清2 41~43 9:30~10:00 免疫血清3 44~46
10:00			9:00~12:00 IFBLS2026 GAD & Closing Ceremony					
11:00	10:10~11:40 日臨技企画5 シンポジウム5 看護・多職種協働加算 (加算1・2)を “算定”から“実装”へ —臨床検査技師の病棟 参画をどう増やすか—	10:10~11:10 教育講演IV 高山 和郎 被災地にもできる 災害時の支援と受援 —被災地を支える災害時感染 制御支援チーム(DICT)と 多職種連携—		10:10~11:40 臨床生理部門 シンポジウム3 検査室を飛び出して ～現場で輝く 検査技師たち～	10:40~11:40 臨床一般部門 教育講演VII 鈴木 仁 腎臓病の早期診断に おける尿検査の重要性	10:40~11:40 染色体・遺伝子部門 教育講演XI 小杉 眞司 遺伝子検査を活用 するために		10:10~10:40 血液7 65~67 10:40~11:10 血液8 68~70 11:10~11:40 血液9 71~73
12:00				12:00~13:00 ランチョン セミナー6 (園工イアンドティー)		12:00~13:00 ランチョン セミナー7 栄研化学(株)	12:00~13:00 ランチョン セミナー8 シスメックス(株)	12:00~13:00 ランチョン セミナー9 Craif(株)
13:00								
14:00	13:10~14:40 日臨技企画6 シンポジウム6 検査室の外に 広がる可能性 —糖尿病治療支援の 新たなステージ—	14:00~15:00 日臨技情勢 報告会		13:10~14:40 輸血細胞 治療部門 シンポジウム9 ベッドサイドでの 輸血業務	13:10~14:40 臨床微生物 部門 シンポジウム8 臨床検査の未来を 拓く、現場が拓く 教育と継承	13:10~14:40 臨床一般 部門 シンポジウム6 一般検査の アドバンス サービスについて	13:10~13:40 その他2 295~297 13:40~14:20 その他3 298~301	13:10~13:40 血液10 74~76 13:40~14:10 血液11 77~79 14:10~14:30 血液12 80~81
15:00								
16:00								
17:00								
18:00								
19:00								
20:30								

第9会場	第10会場	第11会場	第12会場	第13会場	示説会場	展示会場	会場名
1F 103号室	1F 104号室	1F 105号室	TKP幕張 2F スペース1+2	TKP幕張 2F スペース3	国際展示場 ホール7	国際展示場 ホール7	階 室名
8:30~9:00 遺伝子・染色体1 231~233	8:30~9:00 生理13 159~161		8:30~9:10 細胞2 117~120				9:00
9:00~9:30 遺伝子・染色体2 234~236	9:00~9:30 生理14 162~164		9:10~9:40 病理5 98~100	9:00~10:00 臨床検査総合部門 教育講演Ⅺ 下田 静香 各世代のコミュニケーション 能力の基礎と応用			
9:30~10:00 遺伝子・染色体3 237~239	9:35~10:05 生理15 165~167	9:30~11:00 ハンズオン セミナー3 血管工コー (頸動脈・ 下肢静脈(DVT))	9:50~10:20 教育1 266~268				10:00
10:10~10:40 微生物9 31~33	10:05~10:35 生理16 168~170		10:20~10:50 教育2 269~271	10:10~10:40 教育3 272~274			
10:40~11:20 微生物10 34~37	10:40~11:10 生理17 171~173		10:55~11:25 管理運営5 251~253	10:40~11:00 教育4 275~276			11:00
	11:10~11:30 生理18 174~175		11:25~11:55 管理運営6 254~256	11:00~11:30 教育5 277~279			
					8:30~15:00 ポスター 閲覧・発表	8:30~15:00 展示 発表会	12:00
12:00~13:00 ランチョン セミナー10 バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)	12:00~13:00 ランチョン セミナー11 (株)テクノメディカ						13:00
13:10~13:30 生理11 153~154	13:10~13:40 生理19 176~178	13:10~14:40 ハンズオン セミナー4 神経伝導検査	13:10~13:40 管理運営7 257~259				14:00
13:30~14:10 生理12 155~158	13:40~14:20 生理20 179~182		13:40~14:10 管理運営8 260~262				
			14:10~14:40 管理運営9 263~265				
							15:00
							16:00
							17:00
							18:00
							19:00
							20:30

4. 日程表 (ポスター)

ポスター発表

2026年9月26日(土)

会場名	国際展示場ホール7				
階 室名	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック
9:00					
10:00	9:00~10:00 ポスター掲示				
11:00	10:00~10:30 血液1 327~329	10:00~10:30 生理1 377~379	10:00~10:20 生理3 384~385	10:00~10:30 生理4 386~388	10:00~10:30 公衆衛生・情報システム 422~424
	10:30~11:00 血液2 330~332	10:30~11:00 臨床化学1 346~348	10:20~10:50 その他1 466~468	10:30~11:00 教育1 452~454	10:30~10:50 チーム医療1 458~459
	11:00~11:30 血液3 333~335	11:00~11:30 管理運営2 438~440	10:50~11:30 病理1 360~363	11:00~11:30 細胞1 370~372	10:50~11:20 管理運営3 441~443
	11:30~12:00 管理運営1 435~437	11:30~12:10 微生物1 302~305	11:30~12:00 病理2 354~356	11:30~12:10 細胞2 373~376	11:20~12:00 その他2 469~472
12:00	ポスター閲覧				
13:00					
14:00					
15:00	14:30~15:00 一般1 407~409	14:40~15:20 生理2 380~383	14:40~15:20 微生物2 306~309	14:40~15:10 生理5 389~391	14:40~15:10 チーム医療2 460~462
	15:00~15:30 一般2 410~412			15:10~15:50 生理6 392~395	15:10~16:00 臨床化学2 349~353
	15:30~16:00 一般3 413~415	15:20~16:00 輸血1 425~428	15:20~16:00 微生物3 310~313		
16:00					
17:00					

ポスター発表

2026年9月27日(日)

会場名	国際展示場ホール7				
階 室名	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック
9:00					
	9:00~9:30 一般4 416~418	9:00~9:30 病理3 364~366	9:00~9:30 教育2 455~457	9:00~9:30 生理8 398~400	9:00~9:40 その他3 473~476
10:00	9:30~10:00 一般5 419~421	9:30~10:00 病理4 367~369	9:30~9:50 生理7 396~397	9:30~10:00 生理9 401~403	
	10:00~10:40 血液4 336~339	10:00~10:30 病理5 357~359	9:50~10:20 チーム医療3 463~465	10:00~10:30 生理10 404~406	10:20~10:50 その他5 482~483,444
11:00	10:40~11:10 血液5 340~342	10:40~11:20 輸血2 429~432	10:20~11:00 微生物4 314~317	10:30~11:00 管理運営4 445~447	
	11:10~11:40 血液6 343~345	11:20~11:40 輸血3 433~434	11:00~11:40 微生物5 318~321	11:00~11:40 管理運営5 448~451	免疫血清1 322~323
12:00	ポスター閲覧				
13:00					
14:00					
15:00	ポスター撤去				
16:00					
17:00					

5. 運営のお知らせ

I. 学会へ参加される方へ

1. 開催方法

本会は、現地開催＋事後オンデマンド配信で開催いたします。

2. 学会参加費

参加区分	事前参加登録費 (事後オンデマンド視聴可)	当日参加登録費 (事後オンデマンド視聴可)	税区分	参加登録方法
日臨技会員	9,000円	10,000円	課税	①日臨技学会システム ②現地当日受付
賛助会員、 関連学会・団体	—	10,000円	課税	②現地当日受付
日臨技非会員	—	20,000円	課税	②現地当日受付
情報交換会	5,000円	5,000円	課税	①日臨技学会システム ②現地当日受付

※1 日臨技 学会システムでの事前申込は、クレジットカード支払いのみになります。

※2 当日現地受付では、現金またはクレジットカードにてお支払いいただけます。

※3 展示発表会のための参加はできませんので、当日現地にて学会参加登録をお願いいたします。

※4 事後オンデマンド配信期間

10月14日（水）正午～11月11日（水）正午

配信対象セッション・視聴方法等についてなど、詳細は75JAMTホームページをご確認ください。

3. 受付方法、受付場所・日時

1) 日臨技会員

事前参加申込みをお済ませの方 ※日臨技会員証必須

受付を通らずに学会会場へお入りいただけますが、生涯学習教育研修履修点数を付与いたしますので、国際会議場1階・2階およびTKP東京ベイ幕張ホール2階「会員：事前参加登録受付」へお立ち寄りください。

当日参加申込みをされる方 ※日臨技会員証必須

国際会議場1階「会員：当日参加受付」へお越しください。参加費お支払い後、ネームカード等のお渡し、生涯学習教育研修履修点数を付与いたします。

受付時間 9月25日（金） 10:00～17:00

9月26日（土） 8:00～17:00

9月27日（日） 7:30～14:00

※情報交換会（懇親会）の当日受付も17時までで終了となります。懇親会会場での当日受付はございませんので、お早めに受付をお済ませください。

2) 賛助会員、関連学会・団体、非会員の方

賛助会員の方は、国際会議場2階「賛助会員：参加受付」へお越しください。

関連学会・団体、非会員の方は国際会議場1階「関連学会・団体、非会員：参加受付」へお越しください。

参加費お支払い後、ネームカード等をお渡しします。

※情報交換会（懇親会）の当日受付も17時までで終了となります。懇親会会場での当日受付はございませんので、お早めに受付をお済ませください。

3) 2026年度会費納入済みで会員証が未着の会員および当日会員証を持参していない会員

国際会議場1階「総合案内」へお越しください。学生でご参加される場合は「学生証」を必ずご持参ください。

4) ネームホルダー

国際会議場およびTKP東京ベイ幕張ホールにご用意いたしますので、ご自由にお取りください。
（お一人様お一つ限り）

5) 情報交換会（懇親会）について

日 時：2026年9月26日（土）19:00～20:30

会 場：TKP東京ベイ幕張ホール

参加費：5,000円（税込／課税）

形 式：ビュッフェスタイル

定 員：400名（先着順）

※定員になり次第、締め切りとなります。

※定員に達していない場合は、国際会議場1階の総合案内で当日受付を行いません。

情報交換会（懇親会）会場での当日受付は実施いたしませんのでご注意ください。

- 会員の方は「会員証（カード・アプリ）」を忘れずにご持参ください。
- 学会会場内では「学会参加証」をネームカードホルダーに入れて、常に明示できる状態にしておいてください。

Ⅱ．発表者・座長の方へ

1. 発表者の方へ

1) オンデマンド配信について

一般演題とハンズオンセミナー・ランチョンセミナー・スイーツセミナーを除くプログラムを、事後オンデマンド配信させていただきますので、予めご了承ください。

2) 利益相反（COI）の開示について

すべての発表者は、日臨技が定める「利益相反（COI）に関する指針」をご確認のうえ、過去1年間における発表内容に関連する利益相反の有無を開示してください。

●□演発表

1) 現地会場での発表をお願いします。「一般演題」の発表時間は、発表6分質疑3分です。

- 2) 投影スクリーンは1面で、発表にはWindows PCとプロジェクター1台を用意します。
- 3) 各セッションの開始の40分前までにPC受付にて試写確認を行ったうえで、データを提出してください。

◇PC受付時間

時間 9月26日(土) 8:00～17:00

9月27日(日) 7:30～14:00

場所 国際会議場2階 国際会議室(第3会場) 前ホワイエ

※9月27日(日)の午前中に発表がある方は、前日(9月26日(土))の午後にデータ受付を済まされることをお勧めします。

- 4) 発表データのファイル名は「演題番号-氏名-セッション名」としてください。

- 5) 発表データは、原則PCデータでの受付となります。

当日会場でご用意するWindows OSはWindows11です。

※Macintoshをご使用の方、ご自身のパソコンをお持ちください。【ノートパソコンをお持ち込みの場合】をご参照ください。

※iPadを使用してのご発表はできませんのでご注意ください。

- 6) 発表データは、CD-RかUSBメモリにてご持参ください。

※保存するメディアには発表に必要なデータのみの保存とし、他のデータは入れないでください。

※持ち込まれるメディアは、必ず各自にて最新のデータによるウイルスチェックを行なってご持参ください。

※バックアップとして予備のデータもお持ちいただくことをお勧めします。

- 7) 会場で用意しているプレゼンテーションソフトはMicrosoft PowerPoint (Office365) となります。

※PowerPointの機能の中にある「発表者ツール」を使用しての発表はできませんので、作成の際は ご注意ください。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。会場でのプリントアウトは対応していません。

- 8) 発表データに使用するフォントは、Windows11に標準搭載されているものを推奨いたします。

〔日本語〕MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝・游明朝・メイリオ

〔英語〕Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier New・Georgia

- 9) PowerPoint上の動画は使用可能ですが、動画データはWindows11で標準状態のWindows Media Playerで再生できるファイル形式にて作成し、PowerPointにリンクしてください。

※事前に発表データを作成したPCとは別のPCで、動作確認をお願いいたします。

※動画データはPowerPointデータとともに使用する動画ファイルを同一フォルダーに整理し、保存のうえご持参ください。

※標準的な動画コーデック以外の動画ファイルの場合、再生に不具合を生じる場合がございます。

(動画再生に不安のある方は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします)

※PowerPointで動画ファイルを埋め込み処理された場合は、別途その動画ファイルもご持参いただくことをお勧めいたします。

- 10) 発表は、演者ご自身で舞台上に設置されているマウス・キーボードを操作し、行なってください。

11) 次演者の方は、前の演者が登壇後すぐに次演者席にお着きください。

【ノートパソコンをお持ち込みの場合】

- ・持ち込みに際しては、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。PC受付にて出力チェック後、発表セッション開始30分前までにご自身で会場内左手前方演台付近のオペレーター席までPCをお持ちください。PCは発表終了直後にオペレーター席にて返却いたします。
- ・持ち込みの場合、OSはWindows（10以降）、Macintosh（Mac OS10.3以降）を推奨します。
- ・ご発表前に使用されるPowerPointに動画（Movie）ファイルが添付されている場合は、ノートPCの持ち込みを推奨します。ノートPC持ち込みの場合でも、バックアップ用データをUSBメモリースティックでご持参ください。また、電源アダプターは必ずご自身でご用意ください。
- ・持ち込みの場合、会場でご用意するPCの外部出力接続ケーブルのコネクタ形状はHDMIコネクタをご用意しておりますので、変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。事務局での貸し出し対応はございませんのでご注意ください。
- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除してください。

●示説発表

1) 発表時間は、発表6分質疑3分です。座長の進行により発表をお願いします。発表時間を厳守してください。

2) 発表者はポスター貼付用のパネルの前に置かれているリボンを着用のうえ、発表時間の10分前までにご自身の発表パネルの前で待機してください。

3) ポスターはご自身で貼り付けをお願いします。

演題ごとにポスターパネルとピンを事務局側で用意します。

パネルサイズは全体で縦210cm・横90cmです。

4) パネル左上部に演題番号（縦20cm×横20cm）をあらかじめ掲示しておきます。演題名・所属・氏名は、演題番号の横に縦20cm×横70cmに収まるように、発表者ご自身でご用意ください。

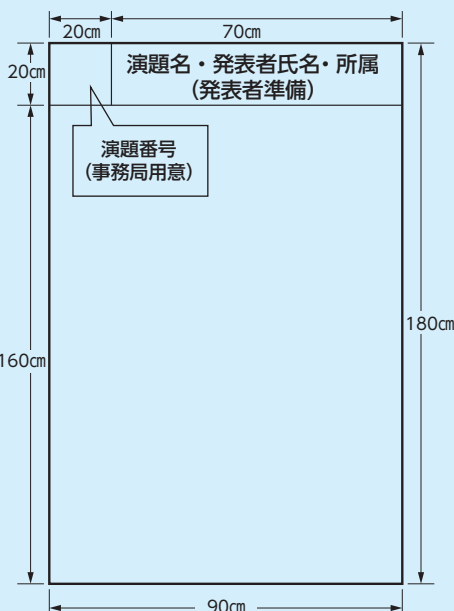
5) 貼付および撤去は以下の時間内に行ってください。

時間を過ぎても取り外されないポスターについては、事務局にて処分いたしますのでご了承ください。

<貼付・撤去時間>

貼付時間	9月26日（土）	9:00～10:00
撤去時間	9月27日（日）	15:00～16:00

※ポスター掲示は会期2日間通しとなり、途中での貼り替えはありません。



2. 座長の方へ

●特別企画・一般演題（口演）の座長

- 1) あらかじめ参加受付（事前登録受付済みの方は会員証提示のみ）を済ませてください。
- 2) 座長受付はございません。担当セッション開始の10分前までに、会場内の次座長席にお着きください。
- 3) 進行は座長に一任いたしますが、セッションごとの時間厳守にご協力ください。
- 4) 英語演題は、発表は英語または日本語、質疑は日本語で行ないます。

●一般演題（示説）の座長

- 1) あらかじめ参加受付（事前登録受付済みの方は会員証提示のみ）を済ませてください。
- 2) 指定された日時に、現地ポスター発表会場での座長をお願いします。
- 3) 当日はセッション開始30分前までに、示説会場前の座長受付にて座長リボンをお受け取りください。
- 4) 進行は座長に一任いたしますが、セッションごとの時間厳守にご協力ください。

3. 追加発表・質疑応答について

- 1) 本学会では、一般演題の追加発表は認めておりません。
- 2) 質疑応答は座長の許可を得たうえで、最初に所属・氏名を述べてから行なってください。
- 3) 英語演題の質疑応答は、日本語をお願いします。
- 4) 質疑応答の記録は取りません。

Ⅲ．学会場案内

1. 総合案内

場所	国際会議場 1階ロビー
受付時間	9月25日（金） 10:00～17:00
	9月26日（土） 8:00～18:30
	9月27日（日） 7:30～15:00

2. 会場内での呼び出しについて

学会会場内における参加者の呼び出しは行ないません。

3. クローク

場 所	国際展示場ホール8前
開設時間	9月25日（金） 8:00～21:30
	9月26日（土） 8:00～18:30
	※懇親会参加時は、TKP東京ベイ幕張ホールのクロークをご利用ください。
	9月27日（日） 7:30～15:30

4. ランチョンセミナー・スイーツセミナー

- 1) 事前申込みをされた方 ※本学会への事前参加登録を済まされた方のみ
事前に郵送されますネームカードに、事前申込された該当のセミナーチケットが同封されます

ので、当日持参のうえ直接セミナー会場にお越しください。お忘れになった場合再発行はできませんので、改めてセミナー当日受付でチケットをお受け取りください。

2) 当日受付をされる方

まず、学会の参加登録をお済ませください。

事前申込みで残券があるセミナーのみ、以下にて当日分のチケットを配布します。

配布場所 国際会議場1階ロビー

配布時間 ランチョンセミナー

9月26日(土) 8:00～11:00

9月27日(日) 7:30～11:00

スイーツセミナー

9月26日(土) 8:00～14:00

※チケットはお一人様1枚のみでお願いいたします。

※チケットは、それぞれのセミナー開始時間を過ぎた時点で無効になり、キャンセル待ちの方に振り替えられますので、ご注意ください。

5. 青森県物販コーナー

国際展示場ホール7 展示発表会場内に「青森県物販コーナー」をご用意しておりますので、是非お立ち寄りください。

6. 駐車場

幕張メッセ駐車場及び会場周辺の駐車場をご利用ください。

7. 携帯電話等

会場に入場する際には、携帯電話等は必ずマナーモードにしてください。

8. 託児所

お申し込み方法等は、学会ホームページの「託児のご案内」でご確認ください。

9. 関連団体コーナー

場所 国際展示場ホール7内、国際会議場2階ロビー

展示・出展団体

日臨技支部学会 広報パネル展示

76thJAMT次期開催広報ブース

アメリカ臨床病理学会 (ASCP)

日本臨床検査技師連盟

一般社団法人日本臨床検査振興協議会

公益財団法人日本適合性認定協会

一般社団法人日本IHE協会

一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構 (CDEJ認定機構)

医療機器業公正取引協議会

10. 書籍販売コーナー

国際会議場2階ロビーに設置いたします。

IV . 本部・控室

1. 第75回日本医学検査学会 日臨技本部

国際会議場1階 101A

2. 第75回日本医学検査学会 青臨技実行委員会本部

国際会議場1階 102B

3. 第75回日本医学検査学会 運営事務局

国際会議場1階 101B

4. 第75回日本医学検査学会 展示事務局

国際展示場ホール7 主催者控室7

6. 特別企画一覧

学会長講演

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月26日(土) 9:00～9:30	今、命を未来へつなぐ	奥沢 悦子 八戸市立市民病院 救命救急センター	長沢 光章 日本臨床衛生検査技師会 代表理事 会長 国際医療福祉大学

基調講演

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月26日(土) 9:40～10:40	日本臨床衛生検査技師会の現状と今後	長沢 光章 日本臨床衛生検査技師会 代表理事 会長 国際医療福祉大学	奥沢 悦子 八戸市立市民病院 救命救急センター

学会長企画特別講演

特別講演

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第3会場 (国際会議室)	9月26日(土) 13:40～14:40	劇的救命	今 明秀 八戸市立市民病院 救命救急センター管理者	奥沢 悦子 八戸市立市民病院 救命救急センター

教育講演Ⅰ

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第2会場 (コンベンションホール B)	9月27日(日) 9:00～10:00	救急医療に求められる臨床検査	吉村 有矢 八戸市立市民病院 救命救急センター所長	津田 喜裕 近畿大学病院

教育講演Ⅱ

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第2会場 (コンベンションホール B)	9月27日(日) 10:10～11:10	あなたにもできる災害時の支援と受援～被災地を支える災害時感染制御支援チーム(DICT)と多職種連携～	高山 和郎 東京大学医学部附属病院 薬剤部	大塚 喜人 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

教育講演Ⅲ

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第2会場 (コンベンションホール B)	9月26日(土) 9:30～10:30	ミライへつなぐ検査の力—妊娠から出産まで、命を支える臨床検査—	渡邊 理史 高知医療センター産科 科長	奥田 誠 日本赤十字社 血液事業本部 高野 静香 日本赤十字社 高知赤十字病院

日臨技企画 1 シンポジウム 1

<大規模災害に備える臨床検査技師:日臨技の災害対策“現在地”と次の一手>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月26日(土) 10:50～12:20	日臨技災害対策の全体設計と更新点 ―即応運用体制と平時整備の現在地―	奥沢 悦子 日本臨床衛生検査技師会/八戸市立市民病院 救命救急センター	奥沢 悦子 日本臨床衛生検査技師会/八戸市立市民病院 救命救急センター
		災害時の保健医療福祉調整体制における職能団体の役割と国の求める備え	川名 敦 厚生労働省 大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室	
		受援と調整の実務 ― DMAT から見たリエゾンと支援チームの機能	若井 聡智 国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局DMAT事務局	
		日本臨床衛生検査技師会災害支援チームの機能と運用スキーム	板橋 匠美 日本臨床衛生検査技師会	

日臨技企画 2 シンポジウム 2 <肝炎医療コーディネーター>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月26日(土) 13:40～15:10	専門領域から見たコーディネーターの臨床的意義、臨床検査技師参画の価値、現場課題と展望	是永 匡紹 国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター	實原 正明 日本臨床衛生検査技師会/飯田市立病院 是永 匡紹 国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター
		国の肝炎対策の方向性、コーディネーター制度の政策的な位置づけ、臨床検査技師への期待	木村剛一郎 厚生労働省 健康・生活衛生局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室	
		相談支援・多職種連携の実際、看護職当座職種の経験からみた臨床検査技師が力を発揮できるポイント	立木佐知子 徳島大学病院 肝疾患相談室	
		実際の取り組み事例、活動の成果、課題と工夫、全国の臨床検査技師へのメッセージ	鈴木 律子 福島県立医科大学附属病院	
		実際の取り組み事例、活動の成果、課題と工夫、全国の臨床検査技師へのメッセージ	落合 剛史 芳賀赤十字病院	

日臨技企画 3 シンポジウム 3 <内視鏡室の業務に関して>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第2会場 (コンベンションホール B)	9月26日(土) 13:40～15:10	臨床検査技師の内視鏡室参画に向けた取組みと質保証の枠組み	滝野 寿 日本臨床衛生検査技師会/つくば臨床検査教育・研究センター	滝野 寿 日本臨床衛生検査技師会/つくば臨床検査教育・研究センター
		内視鏡室における臨床検査技師参画の実装モデル:導入手順と運用上の課題	出野 憲由 日本消化器内視鏡技師会/大阪労災病院	
		消化器内視鏡診療の安全管理とチーム体制:役割分担の要件	石村 典久 日本消化器内視鏡学会/島根大学医学部内科学講座第二	
		消化器内視鏡技師認定に基づく教育・評価:標準化と人材育成のポイント	佐藤 貴幸 日本消化器内視鏡技師会	

日臨技企画 4

シンポジウム 4 <医師の働き方改革が切り拓く術中神経生理モニタリングの新たな展開 —医師と臨床検査技師の協働を考える—>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月27日(日) 8:30～10:00	医師の働き方改革時代における術中神経生理モニタリング—臨床検査技師との協働と今後への期待—	藤井 正美 山口県立総合医療センター 脳神経外科・てんかんセンター／日本臨床神経生理学会	山寺 幸雄 福島県立医科大学附属病院 高橋 修 東京都リハビリテーション病院
		術中神経生理モニタリングを担う臨床検査技師に求められるスキルとキャリア形成—学会所属技師の立場から—	酒田あゆみ 九州大学病院	
		術中神経生理モニタリング業務への参画に向けて—現場で直面する課題とスキル向上への取り組み—	橋本 光弘 なごやひがし整形外科・脊椎クリニック	

日臨技企画 5

シンポジウム 5 <看護・多職種協働加算(加算1・2)を“算定”から“実装”へ —臨床検査技師の病棟参画をどう増やすか—>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月27日(日) 10:10～11:40	看護・多職種協働加算(加算1・2)新設の趣旨と算定の考え方—施設基準・運用上の留意点	駒井 清匡 厚生労働省 保健局医療課	益田 泰藏 日本臨床衛生検査技師会/国立精神・神経医療研究センター病院 佐藤伊都子 日本臨床衛生検査技師会/神戸大学医学部附属病院
		加算1・2を実装する病棟体制の設計—人材確保・役割分担・院内合意形成と経営的観点	神野 正博 全日本病院協会	
		臨床検査技師の病棟参画モデルの実例	吉成 一恵 伊奈病院	

日臨技企画 6

シンポジウム 6 <検査室の外に広がる可能性—糖尿病治療支援の新たなステージ—>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第1会場 (コンベンションホール A)	9月27日(日) 13:10～14:40	糖尿病治療支援での臨床検査技師の真価を問う—臨床検査技師が“必要”とされるために—	中川 裕美 日本糖尿病療養指導士認定機構(元理事)/倉敷中央病院リバーサイド	丸田 秀夫 日本臨床衛生検査技師会 中川 裕美 日本糖尿病療養指導士認定機構(元理事)/倉敷中央病院リバーサイド
		臨床検査技師が目指す理想の治療支援	森本 光俊 日本糖尿病療養指導士認定機構(委員)/佐久市立国保浅間総合病院	
		臨床検査医が求める理想の臨床検査技師像	勝田 仁 九州大学医学研究院 保健学部 門検査技術科学分野	
		糖尿病専門医が求める理想の臨床検査技師像	植木浩二郎 日本糖尿病学会/国立健康危機管理研究機構 糖尿病研究センター	

生物化学分析

教育講演Ⅳ <JLAC11 コードについて>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第3会場 (国際会議室)	9月26日(土) 9:30～10:30	JLAC11コード 医療 DX の入門～実践編～	堀田多恵子 国際医療福祉大学成田病院	播磨晋太郎 東北大学病院

シンポジウム 1 <検査データのその先に広がる世界 ～多職種連携のさまざま～>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第4会場 (201号室)	9月26日(土) 15:00～16:30	糖尿病領域における多職種連携による 患者支援 ～CGM 検査・AHCL 療 法～	村越 大輝 静岡県立総合病院	前山 宏太 十和田市立中央病院 松館 洗一 青森労災病院
		検査データのその先に広がる世界 ～多職種連携のさまざま～ 栄養サポートチーム (NST) の場合	佐藤 千秋 昭和医科大学江東豊洲病院	
		AST/ICTにおける臨床検査技師の役 割	福元 達也 北海道大学病院	
		治験コーディネーター (CRC) が担う多 職種連携の要	和田 修慈 株式会社アイロム	

シンポジウム 2 <先人から学ぶ!! 学会発表のいろは>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第6会場 (302号室)	9月27日(日) 9:00～10:30	先人から学ぶ!! 学会発表のいろは —症例発表のポイント—	宇納 英幸 金沢医科大学	高橋 祐輔 北海道医療大学 伊藤 雅貴 大曲厚生医療センター
		試案検討のポイント —機会の創出から データ解釈の落とし穴まで—	大川龍之介 東京科学大学	
		抄録作成・スライド作成・プレゼンのポ イント	石井 直仁 北里大学	

臨床生理

教育講演Ⅴ 心臓超音波検査×AI

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第4会場 (201号室)	9月26日(土) 9:30～10:30	AI時代の心エコー —自動計測がもたらす新しい日常—	横塚 典子 順天堂大学医学部附属順天 堂医院	鳴海 純 東京科学大学病院

シンポジウム 3 <検査室を飛び出して ～現場で輝く検査技師たち～>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第4会場 (201号室)	9月27日(日) 10:10～11:40	心臓リハビリテーションを支える検査科の実践 と臨床検査技師の役割	高久田美江 太田総合病院附属 太田西ノ 内病院	松田美津子 福島県立医科大学附属病院 福重 翔太 社会福祉法人恩賜財団 済 生会熊本病院
		アブレーションの現場から ～利点・苦勞・学び～	松本 悠真 市立四日市病院	
		臨床検査技師が心不全療養に関わると地域の 医療は一步前に進むのか?	黒川 真悟 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院	
		臨床検査技師、最前線へ ～救急現場で拓く新たな地平～	野村 和弘 埼玉医科大学病院	

ワークショップ 1 <心電図で鍛える診断力(聴講参加型)>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 5 会場 (301 号室)	9 月 26 日 (土) 10:40 ~ 12:10	波形からの挑戦状 ―Round 1―	田中 絹代 社会福祉法人 北斗病院	内田 文也 三重大学医学部附属病院 渡辺 智美 市立秋田総合病院
		波形からの挑戦状 ―Round 2―	南雲 涼太 かわぐち心臓呼吸器病院	
		波形からの挑戦状 ―Round 3―	松本 悠真 市立四日市病院	
		波形からの挑戦状 ―Round 4―	田中 諒 諏訪赤十字病院	

病理組織・細胞

教育講演Ⅶ <病理診断の現状と今後の展望>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 6 会場 (302 号室)	9 月 26 日 (土) 9:30 ~ 10:30	病理診断の現状と今後の展望	黒瀬 顕 弘前大学大学院医学研究科 人体病理学・病理診断学講 座	中村 安孝 むつ総合病院

シンポジウム 4 <病理検査室のマネジメント>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 6 会場 (302 号室)	9 月 26 日 (土) 15:00 ~ 16:30	ホルマリン(劇物・毒物)の作業管理、一元管理の取り組み	中村 広基 西尾市民病院	小泉 照樹 東北大学病院 佐藤 崇 福島県立医科大学会津医療 センター
		病理報告書の未読・既読管理の取り組み 「人手も費用もかけられません!何事も最小限で 対策するにはどうしたらよいでしょうか?(涙)」	中島真奈美 国立病院機構 北海道医療 センター	
		病理検査における人材教育の取り組み ―研究・学会活動・個別マネージメントについて 考える―	坂根 潤一 静岡県立総合病院	

臨床一般

教育講演Ⅷ <腎臓病と尿検査>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 5 会場 (301 号室)	9 月 27 日 (日) 10:40 ~ 11:40	腎臓病の早期診断における尿検査の重要性	鈴木 仁 順天堂大学医学部附属病院 浦安病院	宿谷 賢一 順天堂大学医療科学部
				鳴海 一訓 つがる西北五広域連合 かなき病院

シンポジウム 5 <尿検査の最新研究分野について>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 4 会場 (201 号室)	9 月 26 日 (土) 10:40 ~ 12:10	AI・自動化時代における尿沈渣検査の再定義 技師の目と新たな“ものさし”	横山 貴 新潟医療福祉大学	宿谷 賢一 順天堂大学医療科学部 石澤 毅士 慶應義塾大学病院
		尿中老化尿管上皮細胞の検出法と臨床的意 義について	星 雅人 藤田医科大学	
		尿中生理活性脂質の LC-MS/MS プロファイリ ングが拓く腎疾患バイオマーカー探索	森田 賢史 東京大学医学部附属病院	

シンポジウム 6 <一般検査のアドバイスサービスについて>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 6 会場 (302 号室)	9 月 27 日 (日) 13:10 ~ 14:40	臨床検査室におけるアドバイスサービスの推進 —実施者の力量評価、臨床検査部門としての 取り組み、一般検査室での工夫— 一般検査における検査プロセス別のアドバイス サービス事例について 一般検査室における取り組みとアドバイスサー ビスについて	脇田 満 順天堂大学医学部附属 順 天堂医院 金並 真吾 愛媛大学医学部附属病院 徳永 裕介 広島赤十字・原爆病院	富永 美香 山口大学医学部附属病院 長嶋 和子 藤田医科大学病院

臨床血液

教育講演Ⅳ <形態サーベイランス (聴講者参加型) >

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 5 会場 (301 号室)	9 月 26 日 (土) 15:00 ~ 16:00	リアルタイムサーベイランス (形態・FCM)	常名 政弘 東京大学医学部附属病院	千葉 拓也 岩手医科大学附属病院

シンポジウム 7 <血液形態における AI 技術の現状と今後の検査技師の在り方、展望>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 5 会場 (301 号室)	9 月 27 日 (日) 9:00 ~ 10:30	血液形態検査における AI 技術の現状と展望	川上 肇 シスメックス株式会社	新保 敬 獨協医科大学病院 菅原 新吾 東北大学病院
		血液形態検査における AI 活用 現場運用と技師の関わり	中西加代子 滋賀医科大学医学部附属病 院	
		AI 駆動型血球形態検査技術の最前線 次世代技術の登場と検査技師に求められるス キルセット	野坂 大喜 国際医療福祉大学 成田保 健医療学部	

臨床微生物

教育講演Ⅴ <微生物検査技師のキャリアパス>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 5 会場 (301 号室)	9 月 26 日 (土) 9:30 ~ 10:30	微生物検査技師のキャリアパス —臨床検査から研究・教育へ—	中村 竜也 京都橘大学 健康科学部	加藤 純 JA 秋田厚生連 雄勝中央病 院

教育講演Ⅵ <微生物検査におけるエビデンス構築の重要性>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 4 会場 (201 号室)	9 月 27 日 (日) 9:00 ~ 10:00	データが拓く微生物検査の未来 ～エビデンス構築の重要性～	上地 幸平 金沢大学附属病院	鈴木 裕 山形県立中央病院

シンポジウム 8 <臨床検査の未来を拓く、現場が紡ぐ教育と継承>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 5 会場 (301 号室)	9 月 27 日 (日) 13:10 ~ 14:40	臨床検査の魅力をいかに伝えるか —未来を担う臨床検査技師を育てる教育の視 点—	豊川 真弘 福島県立医科大学保健科学 部 臨床検査学科	須田那津美 宮城県立こども病院 原 祐樹 日本赤十字社愛知医療セン ター 名古屋第二病院
		大学病院における微生物検査の教育	山下 有加 九州大学病院	
		中小規模施設における臨床微生物検査の教育 と継承	口広 智一 公立那賀病院	

輸血細胞治療

ワークショップ 2 <症例から学ぶ輸血検査>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第3会場 (国際会議室)	9月26日(土) 10:40～12:10	症例から学ぶ輸血検査①	松浦 秀哲 藤田医科大学	谷口 容 国立病院機構金沢医療センター 日高 陽子 東邦大学医療センター 大森病院
		症例から学ぶ輸血検査②	小嶋 俊介 信州大学医学部附属病院	
		症例から学ぶ輸血検査③	浅野 尚美 岡山大学病院	

シンポジウム 9 <ベッドサイドでの輸血業務>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第4会場 (201号室)	9月27日(日) 13:10～14:40	安全な輸血医療を繋ぐ臨床検査技師による臨床支援の実践と課題	津嶋 里奈 青森市民病院	本田 昌樹 青森市民病院 井手 大輔 近畿大学病院
		副反応観察からはじまった臨床との関わり ー輸血検査技師の新たな役割ー	篠田 大輔 製鉄記念八幡病院	
		輸血療法における臨床検査技師の新たな役割 ーベッドサイド観察業務ー	白木 真理 藤田医科大学病院	

臨床検査総合

教育講演Ⅱ <コミュニケーション能力と人材育成>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第13会場 (TKPスペース3)	9月27日(日) 9:00～10:00	各世代のコミュニケーション能力の基礎と応用	下田 静香 株式会社エイトドア	吉田 泰憲 青森労災病院

シンポジウム 10 <新人から管理者における“コーチング”と“マネジメント”>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第13会場 (TKPスペース3)	9月26日(土) 10:30～12:10	コーチングを活かしたコミュニケーション 対話でつくる、協働を支える関係づくり	佐藤 智絵 CoCoセッション	岩橋 隆之 東北労災病院 手代森京花 八戸赤十字病院
		“現場発”の人材開発 ー医療人・組織人として 職員の成長を支援するー	西川 泰弘 済生会横浜市東部病院	

シンポジウム 11 <臨床現場で実施される POCT の精度をどう確保する?>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第13会場 (TKPスペース3)	9月26日(土) 15:00～16:30	病院外における精度保証の重要性	坂本 秀生 神戸常盤大学	後藤 慎一 春日井市民病院 竹澤 理子 三井記念病院
		在宅医療現場でのPOCUSの精度をどう確保する?	寺内 裕樹 ホリイマムクリニックさいたま	
		海外災害医療現場時に使用するPOCTの運用と課題	佐藤 千歳 岡崎市保健所	
		認定POCCの役割と現状	乗船 政幸 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	

染色体・遺伝子

教育講演Ⅷ <遺伝子検査を活用するために>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 6 会場 (302 号室)	9 月 27 日 (日) 10:40 ～ 11:40	遺伝子検査における倫理的配慮、個人情報保護について	小杉 眞司 京都大学	三浦 里織 福島県立医科大学保健科学部

シンポジウム 12 <知りたい! 遺伝子関連染色体検査の精度管理>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 6 会場 (302 号室)	9 月 26 日 (土) 10:40 ～ 12:10	青臨技における遺伝子関連検査の現状	高畑 英智 八戸市立市民病院	山下 和也 北里大学病院 野坂 知加 青森県立中央病院
		遺伝子関連検査の内部精度管理と精度保証	南木 融 筑波大学附属病院	
		臨床現場に即した精度管理調査のあり方 ～感染症領域（遺伝子）を中心に～	中桐 逸博 川崎医療福祉大学	
		登録衛生検査所における精度管理について	藤岡 梢 株式会社エスアールエル 染色体・細胞性免疫解析部	

教育

シンポジウム 13 <未来を担う臨床検査技師の育成 ～変革する医療に向けた教育のあり方～>

会 場	日 時	演題名	講演者	座 長
第 3 会場 (国際会議室)	9 月 26 日 (土) 15:00 ～ 16:30	2045 の未来医療を考える 臨床検査技師の役割再構築の可能性	神戸 翼 永生総合研究所	藤巻 慎一 国際医療福祉大学保健医療学部 上野 大 弘前大学大学院保健学研究科
		2045 の臨床検査技師に求められる能力とは	関谷 暁子 北陸大学医療保健学部	
		臨床検査技師養成課程を終えて ～若手技師の経験と展望～	宮崎 隼 札幌医科大学附属病院	
		“これから現場に出る学生”が考える臨床検査技師の未来 ― AI・医療 DX 時代における専門性と教育への問い―	高橋 幸音 東京医療保健大学医療保健学部 医療栄養学科 臨床検査学専攻	

ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナー1 (事前登録制)

会 場	日 時	テーマ	講師
第 11 会場 (105 号室)	9 月 26 日 (土) 10:30 ～ 12:00	呼吸機能検査 ・スパイロメトリー（気流型） ・スパイロメトリー（気量型） ・精密肺機能検査（講義メイン） ・コミュニケーション（対話＋実技）	川邊 晴樹 公益財団法人 天理よろづ相談所病院 情野 千文 東北大学病院 山本 雅史 北海道大学病院 佐藤 舞 青森県立中央病院

ハンズオンセミナー2 (事前登録制)

会 場	日 時	テーマ	講師
第 11 会場 (105 号室)	9 月 26 日 (土) 15:00 ～ 16:30	心エコー（初級者～中級者）	渡辺 栄里 市立秋田総合病院 武本 梨佳 岡山大学病院 田中 諒 諏訪赤十字病院 衣川 尚知 淀川キリスト教病院

ハンズオンセミナー3 (事前登録制)

会 場	日 時	テーマ	講師
第 11 会場 (105 号室)	9 月 27 日 (日) 9:30 ～ 11:00	血管エコー 〈頸動脈・下肢静脈 (DVT)〉	三 森 太 樹 NTT 東日本札幌病院 成 田 心 東北大学病院 風 間 知之 山形大学医学部附属病院 田 島 亜 弥 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

ハンズオンセミナー4 (事前登録制)

会 場	日 時	テーマ	講師
第 11 会場 (105 号室)	9 月 27 日 (日) 13:10 ～ 14:40	神経伝導検査	相原理恵子 太田綜合病院附属太田西ノ内病院 松 下 育 子 聖路加国際大学 聖路加国際病院 井 澤 和 美 関西医科大学 高 橋 広 大 岩手医科大学附属病院

7. 都道府県別一般演題数

所属都道府県 技師会	微生物	免疫 血清	血液	臨床 化学	病理	細胞	生理	一般	公衆 衛生	輸血	情報 システ ム	遺伝子、 染色体	管理 運営	教育	チーム 医療	その他	総合 計
合計	57	14	54	24	34	12	93	36	4	28	8	9	44	21	20	28	486
北海道	1		1										1	1			4
青森県	4		2	1	1		4	1						1	2		16
岩手県							1										1
宮城県	1		2				2										5
秋田県	1		2	1			2							1			7
山形県	2	1	4				1										8
福島県			1	1	1		4			4			2	1			14
茨城県	3		1		2	1		1				1	3				12
栃木県	1			1			5		1			1	1			1	11
群馬県	1		2	2			2			6				1		1	15
埼玉県			1		1		3	3	1				4		1		14
千葉県	5		3	1	1	1	1	1				3	1			3	20
東京都	5		7	4	5	3	11	6		2	2		2	5	3	3	58
神奈川県	5	1	2	1	2		5			2	1	2	1		2	1	25
新潟県			1	1	1		3	1		1				1		1	10
富山県					1			2			1						4
石川県	2							1					1			1	5
福井県			1											5			6
山梨県	1											1					2
長野県			1	2	1		2								1		7
岐阜県					1		1						1				3
静岡県	2	2	6		1		2	2		1					1	1	18
愛知県	1	1	2	2	5	1	8	4	2	6	1		6	1	1	4	45
三重県			2				2			1		1	1		1		8
滋賀県	1	1			1											1	4
京都府	2							2							1	1	6
大阪府	7	2	2		2	1	7	5		1			2	1	1	5	36
兵庫県	2	1	2		2	1	7	1					1	1			18
奈良県							3										3
和歌山県	1				1								1			1	4
鳥取県		2					1			1	2				1		7
島根県	1			1													2
岡山県	1		1	2			5	1									10
広島県	1		1		1		2	2		1			1		1		10
山口県	1							1									2
徳島県				1			1										2
香川県	1										1		2	1		1	6
愛媛県						1				2			1				4
高知県							1						1				2
福岡県	1		3		1	1	2	2					5	1	1	1	18
佐賀県							1									1	2
長崎県																	0
熊本県	2	2	1	1			1						2		1		10
大分県		1											1				2
宮崎県			2										2				4
鹿児島県																	0
沖縄県				1									1				2
日臨技							2								2		4
日臨技賛助会員																	0
日本衛生検査所協会																	0
日本臨床検査薬協会																	0
日本臨床検査学教育協議会																	0
日本臨床検査医学会					1		1										2
技師養成校生 (大学院生を除く)			1	1	2	2										1	7
その他	1																1

8. 日本医学検査学会開催地・担当都道府県一覧

回	年次	開催地	担当都道府県	学会長名
第1回	昭和27年 (1952)	古 屋 市	愛 知 県	(発足大会)
第2回	昭和28年 (1953)	東 京 都	京 都 府	中 村 豊
第3回	昭和29年 (1954)	大 阪 市	大 阪 府	〃
第4回	昭和30年 (1955)	松 本 市	野 田 県	〃
第5回	昭和31年 (1956)	田 原 市	神 奈 川 県	高 木 逸 磨
第6回	昭和32年 (1957)	小 広 島 市	京 島 県	木 原 博 夫
第7回	昭和33年 (1958)	東 京 市	東 京 府	大 矢 崎 芳 夫
第8回	昭和34年 (1959)	新 潟 市	新 潟 県	伊 藤 泰 一
第9回	昭和35年 (1960)	古 屋 市	愛 知 県	小 路 邦 輔
第10回	昭和36年 (1961)	東 京 市	東 京 府	小 林 彰 吉
第11回	昭和37年 (1962)	青 森 市	青 森 県	小 林 許 彰
第12回	昭和38年 (1963)	東 京 市	東 京 府	小 林 許 彰
第13回	昭和39年 (1964)	福 岡 市	福 岡 県	小 尾 秀 治
第14回	昭和40年 (1965)	岡 山 市	岡 山 県	高 原 滋 夫
第15回	昭和41年 (1966)	大 阪 市	大 阪 府	藤 野 恒 三 郎
第16回	昭和42年 (1967)	東 京 市	東 京 府	田 立 耕 蔵
第17回	昭和43年 (1968)	札 幌 市	北 海 道	田 村 利 勝
第18回	昭和44年 (1969)	古 屋 市	愛 知 県	稲 生 富 三
第19回	昭和45年 (1970)	徳 島 市	徳 島 県	大 久 保 政 晴
第20回	昭和46年 (1971)	新 潟 市	新 潟 県	高 沢 勝 男
第21回	昭和47年 (1972)	大 分 市	大 分 県	寺 田 勝 男
第22回	昭和48年 (1973)	仙 台 市	宮 城 県	金 山 昭 平
第23回	昭和49年 (1974)	神 戸 市	兵 庫 県	大 橋 勇 次 郎
第24回	昭和50年 (1975)	横 浜 市	神 奈 川 県	根 本 一 蔵
第25回	昭和51年 (1976)	秋 田 市	秋 田 県	井 上 和 義
第26回	昭和52年 (1977)	長 崎 市	長 崎 県	山 井 達 次
第27回	昭和53年 (1978)	京 都 市	京 都 府	吉 田 安 雄
第28回	昭和54年 (1979)	松 本 市	長 野 県	吉 田 正 義
第29回	昭和55年 (1980)	札 幌 市	北 海 道	桑 原 勇 一
第30回	昭和56年 (1981)	静 岡 市	静 岡 県	笠 原 和 恵
第31回	昭和57年 (1982)	福 岡 市	福 岡 県	早 田 繁 雄
第32回	昭和58年 (1983)	岡 山 市	岡 山 県	早 田 貞 夫
第33回	昭和59年 (1984)	古 屋 市	愛 知 県	大 橋 繁 夫
第34回	昭和60年 (1985)	名 岐 市	岐 県	満 留 敏 弘
第35回	昭和61年 (1986)	岐 阜 市	岐 阜 県	赤 木 博 寛
第36回	昭和62年 (1987)	鹿 児 島 市	鹿 児 島 県	遠 藤 光 夫
第37回	昭和63年 (1988)	神 戸 市 (国際学会)	兵 庫 県	石 見 為 一
第38回	平成元年 (1989)	郡 山 市	福 島 県	後 藤 尚 美
第39回	平成2年 (1990)	水 戸 市	茨 城 県	村 瀬 秀 人
第40回	平成3年 (1991)	金 沢 市	石 川 県	三 浦 高 橋
第41回	平成4年 (1992)	熊 本 市	熊 本 県	森 林 芳 夫
第42回	平成5年 (1993)	札 幌 市	北 海 道	小 林 崇 弘
第43回	平成6年 (1994)	松 本 市	長 野 県	安 松 弘 光
第44回	平成7年 (1995)	山 形 市	山 形 県	岩 田 久 進
第45回	平成8年 (1996)	千 葉 市	千 葉 県	大 浦 久 正
第46回	平成9年 (1997)	名 古 屋 市	愛 知 県	山 本 貞 好
第47回	平成10年 (1998)	大 阪 市	大 阪 府	田 畑 勝 洋
第48回	平成11年 (1999)	広 島 市	広 島 県	日 野 雄 一
第49回	平成12年 (2000)	宜 野 湾 市	沖 縄 県	佐 藤 昭 昭
第50回	平成13年 (2001)	東 京 市	東 京 府	米 坂 久 晴
第51回	平成14年 (2002)	東 京 市	東 京 府	田 中 喜 二
第52回	平成15年 (2003)	仙 台 市	宮 城 県	宮 島 林 努
第53回	平成16年 (2004)	富 山 市	富 山 県	野 村 博 昭
第54回	平成17年 (2005)	京 都 市	京 都 府	渡 邊 浩 志
第55回	平成18年 (2006)	宮 城 市	宮 城 県	百 田 祐 司
第56回	平成19年 (2007)	松 江 市	島 根 県	中 町 敏 文
第57回	平成20年 (2008)	宮 崎 市	宮 崎 県	梅 宮 浩 司
第58回	平成21年 (2009)	札 幌 市	北 海 道	山 口 秀 美
第59回	平成22年 (2010)	横 浜 市	神 奈 川 県	洪 田 幸 彦
第60回	平成23年 (2011)	神 戸 市	和 歌 山 県	山 寺 明 彦
第61回	平成24年 (2012)	東 京 市	長 野 県	高 田 厚 照
第62回	平成25年 (2013)	高 松 市	香 川 県	井 田 友 二
第63回	平成26年 (2014)	新 潟 市	新 潟 県	湯 野 規 範
第64回	平成27年 (2015)	福 岡 市	福 岡 県	奥 沢 悦 子
第65回	平成28年 (2016)	神 戸 市	兵 庫 県	
第66回	平成29年 (2017)	千 葉 市	千 葉 県	
第67回	平成30年 (2018)	浜 松 市	静 岡 県	
第68回	平成31年 (2019)	下 関 市	山 口 県	
第69回	令和2年 (2020)	千 葉 市	千 葉 県	
第70回	令和3年 (2021)	W 市 B	福 岡 県	
第71回	令和4年 (2022)	大 阪 市	大 阪 府	
第72回	令和5年 (2023)	高 崎 市	群 馬 県	
第73回	令和6年 (2024)	金 沢 市	石 川 県	
第74回	令和7年 (2025)	大 阪 市	大 阪 府	
第75回	令和8年 (2026)	大 千 葉 市	青 森 県	

9. 展示発表会出展一覧(2026年7月24日現在)

- アークレイマーケティング株式会社
- 株式会社アグリス
- 旭電機化成株式会社
- アジア器材株式会社
- アボットジャパン合同会社
- アルフレッサ ファーマ株式会社
- アンセルヘルスケアジャパン
- 株式会社エイアンドティー
- 栄研化学株式会社
- H.U.フロンティア株式会社
- 株式会社エスアールエル
- エッペンドルフ株式会社
- オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
- 株式会社オネスト
- 関東化学株式会社
- キャノンメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社キューメイ研究所
- 極東製薬工業株式会社
- 株式会社グライナー・ジャパン
- Craif株式会社
- 株式会社GramEye
- グローバルサイエンス株式会社
- 独立行政法人国際協力機構
- 小林クリエイト株式会社
- サーマフィッシャーサイエンティフィック株式会社
- サクラファインテックジャパン株式会社
- 株式会社志学書店
- シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- シスメックス株式会社
- 島津ダイアグノスティクス株式会社
- 株式会社常光
- シライ電子工業株式会社
- 株式会社スギヤマゲン
- 積水メディカル株式会社
- 泉工医科工業株式会社
- 株式会社大日本精機
- 株式会社タウンズ
- タカノ株式会社
- チェスト株式会社
- 株式会社テクノメディカ
- 株式会社テックススイーザー
- デンカ株式会社
- 東ソー株式会社
- 東洋紡株式会社
- ニプロ株式会社
- 日本光電工業株式会社
- 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
- 日本ライフライン株式会社
- 一般社団法人 日本臨床検査機器・試薬・シテム振興協会
- バイオテック株式会社
- バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
- パルステック工業株式会社
- PHC株式会社
- 株式会社ビー・エム・エル
- 株式会社日立ハイテック
- フェザー安全剃刀株式会社
- フクダ電子株式会社
- 富士通Japan株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- 富士フイルム和光純薬株式会社
- 富士レビオ株式会社
- 株式会社ブレイン
- ベックマン・コールター株式会社
- 株式会社マルコム
- 株式会社ミズホメディー
- ミナト医科学株式会社
- 株式会社ユーケンサイエンス
- ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

(五十音順)

10. ランチョンセミナー・スイーツセミナー

9月26日(土) 12:30～13:30

ランチョンセミナー1

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第4会場 (201号室)	敗血症診療におけるバイオマーカー測定の意義	近藤 豊 順天堂大学大学院医学研究科 救急・災害医学講座 主任教授	上原 由紀 順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学講座 主任教授	積水メディカル株式会社

ランチョンセミナー2

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第5会場 (301号室)	変異し続ける感染症ウイルスに立ち向かう: Abbott Pandemic Defense Coalitionの戦略 The Value of "APDC" in an Era of Evolving Infectious Diseases	Mary Rodgers, PhD Abbott Laboratories Abbott Pandemic Defense Coalition Associate Research Fellow 村上 聡 アボットジャパン合同会社 医学統括部 部長	蔵野 信 東京大学大学院 医学系研究科 内科学専攻 病態診断医学講座 臨床病態検査医学分野 教授	アボットジャパン合同会社

ランチョンセミナー3

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第6会場 (302号室)	TAT 短縮と品質向上を両立する血漿検体運用	照井健一郎 弘前大学病院 医療技術部 検査部	松館 洗一 青森労災病院 中央検査部	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー4

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第7会場 (303号室)	ライフライン制限下における検査室の対応を考える ～災害受援体制構築の勧め～	三上 昌章 千葉県総合救急災害医療センター 検査科	小林 健 社会福祉法人太陽会 安房地域 医療センター臨床検査室 室長	富士フイルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー5

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第9会場 (103号室)	迅速検査で何が変わる? クイックナビ TM カンピロがもたらす検査と治療への貢献	川端 直樹 市立教賢病院 医療技術部 部長 検査室長 鈴木 広道 筑波大学 医学医療系 臨床 医学域 感染症内科学 教授	長沢 光章 国際医療福祉大学大学院 特任教授	デンカ株式会社

9月26日(土) 15:00～15:50

スイーツセミナー くその検査が“命”を左右する 一生理検査の安全と精度を考えるー>

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第7会場 (303号室)	みんなどうしてる? 心電図検査の精度管理とマネジメント みんなどうしてる? 神経生理検査の安全と精度	小宮山恭弘 森ノ宮医療大学医療技術学部 臨床検査学科 教授 宇城 研悟 済生会松阪市民病院 医療技術 部 部長/中央検査室 技師長	三浦ひとみ 東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長	日本光電工業株式会社

9月27日(日) 12:00～13:00

ランチョンセミナー6

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第4会場 (201号室)	検査情報を「つなぐ」から「活かす」へ ―MB3を核としたGL3・IC3のシームレス連携―	中村 真大 岐阜大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師	上糞 義典 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 専任講師	株式会社エイアンドティー

ランチョンセミナー7

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第6会場 (302号室)	女性の見逃される鉄欠乏の とらえ方 ―フェリチン測定の意味と留 意点―	江川 美保 京都大学医学部附属病院 産科婦人科 病院講師	大須賀 穰 帝京大学 臨床研究センター 教授・センター長	栄研化学株式会社

ランチョンセミナー8

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第7会場 (303号室)	感染症専門医が考える敗血症 診断：AMR 対策の考え方	山元 佳 国立国際医療センター 国際感染症センター	土井 研人 東京大学医学部附属病院 救急・集中治療科 教授	シスメックス株式会社

ランチョンセミナー9 <DX で実現する理想の検査室
―「OYSTER」による業務効率向上と監査対応の両立―>

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第8会場 (304号室)	次世代がんリスク検査マイシ グナルとその運用を支える OYSTER システム 実運用データが示す効果 ―OYSTER 導入による衛生 検査所の管理業務削減―	市川 裕樹 Craif株式会社 CTO／名古 屋大学未来社会創造機構 客 員准教授 坪井 智子 Craif株式会社 Craif中部検 査センター センター長	市川 裕樹 Craif 株式会社 CTO／名古屋 大学 未来社会創造機構 客員准 教授	Craif株式会社

ランチョンセミナー10

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第9会場 (103号室)	なぜ精度管理は負担に感じる のか？ ～ ISO 15189 対応と業務効率 化を両立するツール活用術～	田中 光昭 獨協医科大学病院 臨床検査 センター 副技師長	堀田多恵子 国際医療福祉大学成田病院 検査部 技師長	バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

ランチョンセミナー11

会場	演題名	講演者	座 長	会社名
第10会場 (104号室)	RFID 検体情報統括管理シス テム“TRIPS”による医療安全 対策と予約採血コントロールオ プションによる臨床サービス向 上 ～ TRIPS とスムーズ採血が病 院を変える！～	畠村 朋子 大阪医科薬科大学病院 中央 検査部 技師長補佐	吉川 直之 東京大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長	株式会社テクノメディカ

11. 各種委員会構成

学 会 長：奥沢 悦子（八戸市立市民病院）

実 行 委 員 長：吉田 泰憲（独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院）

事 務 局 長：逆井久美子（八戸赤十字病院）

会 計 責 任 者：佐藤 舞（青森県立中央病院）

○学会組織委員会

滝野 寿 三澤 成毅 宇城 研悟 菊地 良介

○学会運営部会

滝野 寿 三澤 成毅 原田 典明 植木 哲也

奥沢 悦子 吉田 泰憲 逆井久美子 佐藤 舞

○実行委員会（五十音順）

奥沢 悦子 木村 正彦 逆井久美子 佐藤 舞 高松みどり 千葉 満

手代森京花 吹越由美子 吉田 泰憲

○実務委員（五十音順）

石澤亜紗子 上野 大 江刺家有希 川口 裕美 齋藤 賢 齋藤 浩治

四釜 育与 松館 洸一 松村 静香 松本 佳菜 三上 悠輔 三上ルリ子

○学術企画・査読委員（五十音順）

相原理恵子 赤崎 友美 阿部 紀恵 石鳥 純子 伊藤 真弓 井上 文緒

上野 大 内田 亮 大井 惇矢 大石 峻也 小笠原 脩 奥沢 悦子

金澤 雄大 亀山 光 木村 正彦 小島 瞳 佐藤 舞 四釜 育与

雫石 宏美 柴田絵里子 高畑 英智 高正 彩香 武田 美香 田嶋 育子

千葉 満 千代谷裕子 寺嶋 駿 照井健一郎 中村 安孝 鳴海 一訓

野坂 知加 前山 宏太 松館 洸一 松本 佳菜 三浦 里織 三浦 千寛

三上 悠輔 三上ルリ子 盛合 亮介 山田 暁 山本 絢子 吉田 泰憲

12. 抄録目次

特別企画目次

◆学会長講演 <第1日目 9月26日(土) 9:00～9:30>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

座長：長 沢 光 章（日本臨床衛生検査技師会 代表理事 会長／国際医療福祉大学）
今、命を未来へつなぐ 奥 沢 悦 子

◆基調講演 <第1日目 9月26日(土) 9:40～10:40>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

座長：奥 沢 悦 子（八戸市立市民病院 救命救急センター）
日本臨床衛生検査技師会の現状と今後 長 沢 光 章

学会長企画

◆特別講演 <第1日目 9月26日(土) 13:40～14:40>

第3会場 (2F 国際会議室)

座長：奥 沢 悦 子（八戸市立市民病院 救命救急センター）
劇的救命 今 明 秀

◆教育講演Ⅰ <第2日目 9月27日(日) 9:00～10:00>

第2会場 (2F コンベンションホールB)

座長：津 田 喜 裕（近畿大学病院）
救急医療に求められる臨床検査 吉 村 有 矢

◆教育講演Ⅱ <第2日目 9月27日(日) 10:10～11:10>

第2会場 (2F コンベンションホールB)

座長：大 塚 喜 人（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院）
あなたにもできる災害時の支援と受援
～被災地を支える災害時感染制御支援チーム（DICT）と多職種連携～
..... 高 山 和 郎

◆教育講演Ⅲ <第1日目 9月26日(土) 9:30~10:30>

第2会場 (2F コンベンションホールB)

座長：奥 田 誠 (日本赤十字社 血液事業本部)

高 野 静 香 (日本赤十字社 高知赤十字病院)

ミライへつなぐ検査の力 ―妊娠から出産まで、命を支える臨床検査― …… 渡 邊 理 史

◆日臨技企画1 <第1日目 9月26日(土) 10:50~12:20>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

<【シンポジウム1】大規模災害に備える臨床検査技師：日臨技の災害対策“現在地”と次の一手>

座長：奥 沢 悦 子 (日本臨床衛生検査技師会／八戸市立市民病院 救命救急センター)

日臨技災害対策の全体設計と更新点 ― 即応運用体制と平時整備の現在地 ―

…………… 奥 沢 悦 子

災害時の保健医療福祉調整体制における職能団体の役割と国の求める備え

…………… 川 名 敦

受援と調整の実務 ― DMAT から見たリエゾンと支援チームの機能 …… 若 井 聡 智

日本臨床衛生検査技師会災害支援チームの機能と運用スキーム …… 板 橋 匠 美

◆日臨技企画2 <第1日目 9月26日(土) 13:40~15:10>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

<【シンポジウム2】肝炎医療コーディネーター>

座長：實 原 正 明 (日本臨床衛生検査技師会／飯田市立病院)

是 永 匡 紹 (国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター)

専門領域から見たコーディネーターの臨床的意義、臨床検査技師参画の価値、

現場課題と展望 …………… 是 永 匡 紹

国の肝炎対策の方向性、コーディネーター制度の政策的位置づけ、臨床検査技師への期待

…………… 木 村 剛一郎

相談支援・多職種連携の実際、看護職当職職種の経験からみた臨床検査技師が力を

発揮できるポイント …………… 立 木 佐知子

実際の取り組み事例、活動の成果、課題と工夫、全国の臨床検査技師へのメッセージ

…………… 鈴 木 律 子

実際の取り組み事例、活動の成果、課題と工夫、全国の臨床検査技師へのメッセージ

…………… 落 合 剛 史

◆日臨技企画3 <第1日目 9月26日(土) 13:40~15:10>

第2会場 (2F コンベンションホールB)

<【シンポジウム3】内視鏡室の業務に関して>

座長：滝 野 寿 (日本臨床衛生検査技師会／つくば臨床検査教育・研究センター)

出 野 憲 由 (日本消化器内視鏡技師会／大阪労災病院)

臨床検査技師の内視鏡室参画に向けた取組みと質保証の枠組み …………… 滝 野 寿
内視鏡室における臨床検査技師参画の実装モデル：導入手順と運用上の課題

…………… 出 野 憲 由

消化器内視鏡診療の安全管理とチーム体制：役割分担の要件 …………… 石 村 典 久

消化器内視鏡技師認定に基づく教育・評価：標準化と人材育成のポイント … 佐 藤 貴 幸

◆日臨技企画4 <第2日目 9月27日(日) 8:30~10:00>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

<【シンポジウム4】医師の働き方改革が切り拓く術中神経生理モニタリングの新たな展開 ―医師と臨床検査技師の協働を考える―>

座長：山 寺 幸 雄 (福島県立医科大学附属病院)

高 橋 修 (東京都リハビリテーション病院)

医師の働き方改革時代における術中神経生理モニタリング

―臨床検査技師との協働と今後への期待― …………… 藤 井 正 美

術中神経生理モニタリングを担う臨床検査技師に求められるスキルとキャリア形成

―学会所属技師の立場から― …………… 酒 田 あゆみ

術中神経生理モニタリング業務への参画に向けて

―現場で直面する課題とスキル向上への取り組み― …………… 橋 本 光 弘

◆日臨技企画5 <第2日目 9月27日(日) 10:10~11:40>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

<【シンポジウム5】看護・多職種協働加算(加算1・2)を“算定”から“実装”へ ―臨床検査技師の病棟参画をどう増やすか―>

座長：益 田 泰 藏 (日本臨床衛生検査技師会／国立精神・神経医療研究センター病院)

佐 藤 伊都子 (日本臨床衛生検査技師会／神戸大学医学部附属病院)

看護・多職種協働加算(加算1・2)新設の趣旨と算定の考え方

―施設基準・運用上の留意点― …………… 駒 井 清 匡

加算1・2を実装する病棟体制の設計―人材確保・役割分担・院内合意形成と

経営的観点 …………… 神 野 正 博

臨床検査技師の病棟参画モデルの実際 …………… 吉 成 一 恵

◆日臨技企画6 <第2日目 9月27日(日) 13:10~14:40>

第1会場 (2F コンベンションホールA)

<【シンポジウム6】検査室の外に広がる可能性 ―糖尿病治療支援の新たなステージ―>

座長：丸 田 秀 夫（日本臨床衛生検査技師会）

中 川 裕 美（日本糖尿病療養指導士認定機構（元理事）／

倉敷中央病院リバーサイド）

糖尿病治療支援での臨床検査技師の真価を問う ～臨床検査技師が“必要”とされるために～

..... 中 川 裕 美

臨床検査技師が目指す理想の治療支援 森 本 光 俊

臨床検査医が求める理想の臨床検査技師像 勝 田 仁

糖尿病専門医が求める理想の臨床検査技師像 植 木 浩二郎

◆教育講演Ⅳ <第1日目 9月26日(土) 9:30~10:30>

第3会場 (2F 国際会議室)

<【生物化学分析部門】JLAC11コードについて>

座長：播 磨 晋太郎（東北大学病院）

JLAC11 コード

医療 DX の入門～実践編～ 堀 田 多恵子

◆シンポジウム1 <第1日目 9月26日(土) 15:00~16:30>

第4会場 (2F 201号室)

<【生物化学分析部門】検査データのその先に広がる世界 ～多職種連携のさまざま～>

座長：前 山 宏 太（十和田市立中央病院）

松 館 洸 一（青森労災病院）

糖尿病領域における多職種連携による患者支援 ～CGM 検査・AHCL 療法～

..... 村 越 大 輝

検査データのその先に広がる世界 ～多職種連携のさまざま～

栄養サポートチーム（NST）の場合 佐 藤 千 秋

AST/ICT における臨床検査技師の役割 福 元 達 也

治験コーディネーター（CRC）が担う多職種連携の要 和 田 修 慈

◆シンポジウム2 <第2日目 9月27日(日) 9:00~10:30>

第6会場 (3F 302号室)

<【生物化学分析部門】先人から学ぶ!! 学会発表のいろは>

座長：高 橋 祐 輔（北海道医療大学）

伊 藤 雅 貴（大曲厚生医療センター）

先人から学ぶ!! 学会発表のいろは ―症例発表のポイント― 宇 納 英 幸

試案検討のポイント ―機会の創出からデータ解釈の落とし穴まで― 大 川 龍之介

抄録作成・スライド作成・プレゼンのポイント 石 井 直 仁

◆教育講演V <第1日目 9月26日(土) 9:30~10:30>

第4会場 (2F 201号室)

<【臨床生理部門】心臓超音波検査×AI>

座長：鳴 海 純（東京科学大学病院）

AI時代の心エコー

―自動計測がもたらす新しい日常― 横 塚 典 子

◆シンポジウム3 <第2日目 9月27日(日) 10:10~11:40>

第4会場 (2F 201号室)

<【臨床生理部門】検査室を飛び出して ～現場で輝く検査技師たち～>

座長：松 田 美津子（福島県立医科大学附属病院）

福 重 翔 太（社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院）

心臓リハビリテーションを支える検査科の実践と臨床検査技師の役割 高久田 美 江

アブレーションの現場から ～利点・苦労・学び～ 松 本 悠 真

臨床検査技師が心不全療養に関わると地域の医療は一步前に進むのか? ... 黒 川 真 悟

臨床検査技師、最前線へ～救急現場で拓く新たな地平～ 野 村 和 弘

◆ワークショップ1 <第1日目 9月26日(土) 10:40~12:10>

第5会場 (3F 301号室)

<【臨床生理部門】心電図で鍛える診断力（聴講参加型）>

座長：内 田 文 也（三重大学医学部附属病院）

渡 辺 智 美（市立秋田総合病院）

波形からの挑戦状 ―Round 1― 田 中 絹 代

波形からの挑戦状 ―Round 2― 南 雲 涼 太

波形からの挑戦状 ―Round 3― 松 本 悠 真

波形からの挑戦状 ―Round 4― 田 中 諒

◆教育講演Ⅵ <第1日目 9月26日(土) 9:30~10:30>

第6会場 (3F 302号室)

<【病理組織・細胞部門】病理診断の現状と今後の展望>

座長：中 村 安 孝 (むつ総合病院)

病理診断の現状と今後の展望 黒 瀬 顕

◆シンポジウム4 <第1日目 9月26日(土) 15:00~16:30>

第6会場 (3F 302号室)

<【病理組織・細胞部門】病理検査室のマネジメント>

座長：小 泉 照 樹 (東北大学病院)

佐 藤 崇 (福島県立医科大学 会津医療センター)

ホルマリン (劇物・毒物) の作業管理、一元管理の取り組み 中 村 広 基
病理報告書の未読・既読管理の取り組み

『人手も費用もかけられません！何事も最小限で対策するにはどうしたらよいでしょう
か？ (涙)』 中 島 真奈美

病理検査における人材教育の取り組み

—研究・学会活動・個別マネジメントについて考える— 坂 根 潤 一

◆教育講演Ⅶ <第2日目 9月27日(日) 10:40~11:40>

第5会場 (3F 301号室)

<【臨床一般部門】腎臓病と尿検査>

座長：宿 谷 賢 一 (順天堂大学 医療科学部)

鳴 海 一 訓 (つがる西北五広域連合 かなぎ病院)

腎臓病の早期診断における尿検査の重要性 鈴 木 仁

◆シンポジウム5 <第1日目 9月26日(土) 10:40~12:10>

第4会場 (2F 201号室)

<【臨床一般部門】尿検査の最新研究分野について>

座長：宿 谷 賢 一 (順天堂大学 医療科学部)

石 澤 毅 士 (慶應義塾大学病院)

AI・自動化時代における尿沈渣検査の再定義

技師の目と新たな“ものさし”…………… 横 山 貴

尿中老化尿細管上皮細胞の検出法と臨床的意義について …………… 星 雅 人

尿中生理活性脂質の LC-MS/MS プロファイリングが拓く腎疾患バイオマーカー探索
…………… 森 田 賢 史

◆シンポジウム6 <第2日目 9月27日(日) 13:10~14:40>

第6会場 (3F 302号室)

<【臨床一般部門】一般検査のアドバイスサービスについて>

座長：富 永 美 香 (山口大学医学部附属病院)

長 嶋 和 子 (藤田医科大学病院)

臨床検査室におけるアドバイスサービスの推進

一実施者の力量評価、臨床検査部門としての取り組み、一般検査室での工夫—

…………… 脇 田 満

一般検査における検査プロセス別のアドバイスサービス事例について …… 金 並 真 吾

一般検査室における取り組みとアドバイスサービスについて …………… 徳 永 裕 介

◆教育講演Ⅷ <第1日目 9月26日(土) 15:00~16:00>

第5会場 (3F 301号室)

<【臨床血液部門】形態サーベイランス(聴講者参加型)>

座長：千 葉 拓 也 (岩手医科大学附属病院)

リアルタイムサーベイランス (形態・FCM)…………… 常 名 政 弘

◆シンポジウム7 <第2日目 9月27日(日) 9:00~10:30>

第5会場 (3F 301号室)

<【臨床血液部門】血液形態におけるAI技術の現状と今後の検査技師の在り方、展望>

座長：新 保 敬 (獨協医科大学病院)

菅 原 新 吾 (東北大学病院)

血液形態検査における AI 技術の現状と展望…………… 川 上 肇

血液形態検査における AI 活用

現場運用と技師の関わり …………… 中 西 加代子

AI 駆動型血球形態検査技術の最前線

次世代技術の登場と検査技師に求められるスキルセット …………… 野 坂 大 喜

◆教育講演Ⅸ <第1日目 9月26日(土) 9:30~10:30>

第5会場 (3F 301号室)

<【臨床微生物部門】微生物検査技師のキャリアパス>

座長：加 藤 純 (JA 秋田厚生連 雄勝中央病院)

微生物検査技師のキャリアパス—臨床検査から研究・教育へ— …………… 中 村 竜 也

◆教育講演Ⅹ <第2日目 9月27日(日) 9:00~10:00>

第4会場 (2F 201号室)

<【臨床微生物部門】微生物検査におけるエビデンス構築の重要性>

座長：鈴 木 裕 (山形県立中央病院)

データが拓く微生物検査の未来 ~エビデンス構築の重要性~ …………… 上 地 幸 平

◆シンポジウム8 <第2日目 9月27日(日) 13:10~14:40>

第5会場 (3F 301号室)

<【臨床微生物部門】臨床検査の未来を拓く、現場が紡ぐ教育と継承>

座長：須 田 那津美 (宮城県立こども病院)

原 祐 樹 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院)

臨床検査の魅力をいかに伝えるか

—未来を担う臨床検査技師を育てる教育の視点— …………… 豊 川 真 弘
大学病院における微生物検査の教育 …………… 山 下 有 加
中小規模施設における臨床微生物検査の教育と継承 …………… 口 広 智 一

◆ワークショップ2 <第1日目 9月26日(土) 10:40~12:10>

第3会場 (2F 国際会議室)

<【輸血細胞治療部門】症例から学ぶ輸血検査>

座長：谷 口 容 (国立病院機構 金沢医療センター)

日 高 陽 子 (東邦大学医療センター 大森病院)

症例から学ぶ輸血検査① …………… 松 浦 秀 哲
症例から学ぶ輸血検査② …………… 小 嶋 俊 介
症例から学ぶ輸血検査③ …………… 浅 野 尚 美

◆シンポジウム9 <第2日目 9月27日(日) 13:10~14:40>

第4会場 (2F 201号室)

<【輸血細胞治療部門】ベッドサイドでの輸血業務>

座長：本 田 昌 樹 (青森市民病院)

井 手 大 輔 (近畿大学病院)

安全な輸血医療を繋ぐ臨床検査技師による臨床支援の実践と課題 …………… 津 嶋 里 奈
副反応観察からはじまった臨床との関わり ―輸血検査技師の新たな役割―

…………… 篠 田 大 輔

輸血療法における臨床検査技師の新たな役割 ～ベッドサイド観察業務～ … 白 木 真 理

◆教育講演XI <第2日目 9月27日(日) 9:00~10:00>

第13会場 (TKP幕張2F スペース3)

<【臨床検査総合部門】コミュニケーション能力と人材育成>

座長：吉 田 泰 憲 (青森労災病院)

各世代のコミュニケーション能力の基礎と応用 …………… 下 田 静 香

◆シンポジウム10 <第1日目 9月26日(土) 10:30~12:10>

第13会場 (TKP幕張2F スペース3)

<【臨床検査総合部門】新人から管理者における“コーチング”と“マネジメント”>

座長：岩 橋 隆 之 (東北労災病院)

手代森 京 花 (八戸赤十字病院)

コーチングを活かしたコミュニケーション

対話でつくる、協働を支える関係づくり …………… 佐 藤 智 絵

“現場発”の人材開発 ―医療人・組織人として職員の成長を支援する― …… 西 川 泰 弘

◆シンポジウム11 <第1日目 9月26日(土) 15:00~16:30>

第13会場 (TKP幕張2F スペース3)

<【臨床検査総合部門】臨床現場で実施されるPOCTの精度をどう確保する?>

座長：後 藤 慎 一 (春日井市民病院)

竹 澤 理 子 (三井記念病院)

病院外における精度保証の重要性 …………… 坂 本 秀 生

在宅医療現場でのPOCUSの精度をどう確保する? …………… 寺 内 裕 樹

海外災害医療現場時に使用するPOCTの運用と課題 …………… 佐 藤 千 歳

認定POCCの役割と現状 …………… 乗 船 政 幸

◆教育講演Ⅻ <第2日目 9月27日(日) 10:40~11:40>

第6会場 (3F 302号室)

<【染色体・遺伝子部門】遺伝子検査を活用するために>

座長：三 浦 里 織（福島県立医科大学保健科学部）

遺伝子検査における倫理的配慮、個人情報保護について 小 杉 眞 司

◆シンポジウム12 <第1日目 9月26日(土) 10:40~12:10>

第6会場 (3F 302号室)

<【染色体・遺伝子部門】知りたい! 遺伝子関連染色体検査の精度管理>

座長：山 下 和 也（北里大学病院）

野 坂 知 加（青森県立中央病院）

青臨技における遺伝子関連検査の現状 高 畑 英 智

遺伝子関連検査の内部精度管理と精度保証 南 木 融

臨床現場に即した精度管理調査のあり方 ～感染症領域（遺伝子）を中心に～
..... 中 桐 逸 博

登録衛生検査所における精度管理について 藤 岡 梢

◆シンポジウム13 <第1日目 9月26日(土) 15:00~16:30>

第3会場 (2F 国際会議室)

<【教育部門】未来を担う臨床検査技師の育成～変革する医療に向けた教育のあり方～>

座長：藤 巻 慎 一（国際医療福祉大学）

上 野 大（弘前大学大学院）

2045 の未来医療を考える

臨床検査技師の役割再構築の可能性 神 戸 翼

2045 の臨床検査技師に求められる能力とは 關 谷 暁 子

臨床検査技師養成課程を終えて～若手技師の経験と展望～ 宮 崎 隼

“これから現場に出る学生”が考える臨床検査技師の未来

—AI・医療 DX 時代における専門性と教育への問い— 高 橋 幸 音

◆ハンズオンセミナー1 <第1日目 9月26日(土) 10:30~12:00>

第11会場 (1F 105号室)

<呼吸機能検査>

スパイロメトリー (気流型)	川 邊 晴 樹
スパイロメトリー (気量型)	情 野 千 文
精密肺機能検査 (講義メイン)	山 本 雅 史
コミュニケーション (対話+実技)	佐 藤 舞

◆ハンズオンセミナー2 <第1日目 9月26日(土) 15:00~16:30>

第11会場 (1F 105号室)

<心エコー〈初級者~中級者〉>

.....	渡 辺 栄 里
.....	武 本 梨 佳
.....	田 中 諒
.....	衣 川 尚 知

◆ハンズオンセミナー3 <第2日目 9月27日(日) 9:30~11:00>

第11会場 (1F 105号室)

<血管エコー〈頸動脈・下肢静脈 (DVT)〉>

頸動脈担当	三 森 太 樹
頸動脈担当	成 田 心
下肢動脈 (DVT) 担当	風 間 知 之
下肢動脈 (DVT) 担当	田 島 亜 弥

◆ハンズオンセミナー4 <第2日目 9月27日(日) 13:10~14:40>

第11会場 (1F 105号室)

<神経伝導検査>

.....	相 原 理恵子
.....	松 下 育 子
.....	井 澤 和 美
.....	高 橋 広 大

一般演題目次

【微生物 口演】

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物1

<10:20~11:00> 座長:三浦 采香 (岩手県立久慈病院)

1. 質量分析装置による同定が有用であった *Fusobacterium necrophorum* の一例
.....内藤 夕芽 ほか
2. CAPD 排液から *Mycobacterium chelonae* が検出された PD 関連腹膜炎の一症例
.....原 誠 ほか
3. 深部病変からの再採取により診断のついた播種性ノカルジア症の1例 …黒田 真莉 ほか
4. *Bosea massiliensis* による腹膜透析関連腹膜炎の1例口広 智一 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物2

<11:00~11:40> 座長:松井 直紀 (富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院)

5. 42℃培養でも発育を認めた *Campylobacter fetus* 菌血症の1例越前谷卓磨
6. 胆管癌患者に生じた *Pseudomonas oryzihabitans* 菌血症の1症例.....林 佑馬 ほか
7. 固形培地に極めて発育困難であった *Hominimerdicola aceti* による菌血症の一例
.....境 大飛 ほか
8. *Lactobacillus rhamnosus* による人工弁感染性心内膜炎の一例椎名さつき ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物3

<11:40~12:20> 座長:西村 恵子 (独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター)

9. CLSI 適用範囲外における D テストの検証.....金浜 朱希 ほか
10. 結核性胸膜炎における胸水 LDH/ADA 比を用いた診断精度の検討伊奈野尚之 ほか
11. String test による *rmpA* 陽性 *Klebsiella pneumoniae* 検出に培養条件が与える影響の検討
装置標準化アプローチ後藤 宏次 ほか
12. Cloxacillin added mCIM (CamCIM) の有用性の検討足立 紗世 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物4

<13:40~14:20> 座長:加藤 輝(独立行政法人 国立病院機構 西新潟中央病院)

13. 分離培養・同定検査に難渋した *Oribacterium* 属菌による敗血症の1例 … 黒田 志保 ほか

14. *Ralstonia mannitolilytica* による敗血症

～医療行為における消毒手技の大切さを再認識できた一例～…………… 黒岩ひかり ほか

15. *Yersinia enterocolitica* 感染症から敗血症性ショックをきたし死亡した1症例

…………… 鎌田恵理子 ほか

16. *Bacillus cereus* の菌血症から感染性心内膜炎となった1例 …………… 前田 祐子 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物5

<14:20~15:00> 座長:大沼健一郎(国立大学法人 神戸大学医学部附属病院)

17. 免疫不全患者の血液培養から *Kluyveromyces marxianus* を検出した一症例

…………… 角谷 政樹 ほか

18. 血液培養から検出されたらせん菌を契機に AIDS の診断にいたった一症例

…………… 茂木祐李香 ほか

19. *Agrobacterium pusense* によるカテーテル関連血流感染症を認めた一例

…………… 清水 咲華 ほか

20. *Kosakonia cowanii* による血流感染症の1症例 …………… 早田 拓海 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物6

<15:05~15:25> 座長:香川 麻衣(岡山赤十字病院)

21. 深層学習法を用いた細菌コロニタイムラプス画像スクリーニング AI モデルの開発と評価
量込み込みニューラルネットワークによる高精度早期コロニー検出・鑑別技術の確立

…………… 野坂 大喜 ほか

22. 微生物自動染色分析装置 Mycrum® を用いたグラム染色判定支援 AI の性能評価

…………… 長川 隼也 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物7

<15:30~16:10> 座長:平田 京子(株式会社エスアールエル SRL Advanced Lab.FMA)

- 23. 50歳代成人男性に感染した百日咳の1例……………小野寺 丈 ほか
- 24. グラム染色性が不均一な *Moraxella osloensis* の一例……………白樫季里香 ほか
- 25. ネコ咬傷後の創部培養より *Neisseria animaloris* を検出した一例……………佐藤 碧美 ほか
- 26. 肺炎の起炎菌と考えられた非典型的コロニー性状を呈する *Eikenella corrodens* の一例
……………石井 舞 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

微生物8

<16:10~16:50> 座長:大友 志伸(パナソニック健康保険組合 松下記念病院)

- 27. FilmArray BCID2 パネルにて *vanM* との交差反応により *vanA/B* 陽性を示した
E. faecium の1例……………生澤真理子 ほか
- 28. FilmArray[®] 髄膜炎・脳炎パネル導入による治療薬選択への影響……………奥村由美子 ほか
- 29. GDH 陽性/TOX 陰性検体におけるスマートジーン CD トキシン B 遺伝子検査の有用性
……………窪田 直人 ほか
- 30. スマートジーン *H.pylori* G によるクラリスロマイシン耐性診断の臨床的有用性
……………大谷 初美 ほか

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

微生物9

<10:10~10:40> 座長:大塚 聖也(埼玉医科大学 総合医療センター)

- 31. 急性腸炎における多施設前向きサーベイランス……………畠山 慎治 ほか
- 32. サルモネラ属菌の検出状況と侵襲性・非侵襲性感染症に関する比較検討
……………金澤 雄大 ほか
- 33. 大阪市内で初登録の *Candida auris* 2症例を契機とした迅速同定体制の構築
……………久米 千晴 ほか

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

微生物10

<10:40~11:20> 座長:金澤 雄大(八戸市立市民病院)

34. 当院における ESBL 産生大腸菌の ESBL 遺伝子型と
OXA-1 β -ラクタマーゼ遺伝子保有状況……………大杉 悠平 ほか
35. Multiplex PCR-Direct Sequencing 法を用いた抗結核薬耐性遺伝子検出法の開発
……………櫻井 太紀 ほか
36. リファンピシン耐性遺伝子の結果が乖離した肺結核の一例と当院のリファンピシン耐性率
……………金子 誠 ほか
37. EB ウイルス感染における唾液検体採取法の検討 ……………熊谷明香里 ほか

【免疫血清 口演】

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

免疫血清1

<8:30~9:00> 座長:鈴木 弓絵(医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院)

38. コルチゾール試薬の基礎的検討結果と院内導入後の効果の検証 ……………辻本 真悠 ほか
39. フェリチン測定において M 蛋白により異常反応を認めた 1 例 ……………岡本 菜花 ほか
40. 免疫測定試薬における各社相関及び診断能評価 ……………藤村 博和 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

免疫血清2

<9:00~9:30> 座長:小笠原志朗(公立那賀病院)

41. LATECLE PCT 現行試薬と改良試薬の反応性比較 ……………仲田 夢人 ほか
42. 高感度 HBs 抗原測定によって新たに検出された従来法陰性症例の臨床的意義
……………奥村 美保 ほか
43. 抗核抗体検査の国際分類における細胞質型の疾患スクリーニングとしての有用性の検討
抗核抗体検査の細胞質型の疾患スクリーニングとしての有用性の検討
……………生戸 健一 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

免疫血清3

<9:30~10:00> 座長: 渡部加奈子 (国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院)

- 44. AIA-CL2400 による TFPI2 測定の基礎的検討とその有用性について…… 野中 章弘 ほか
- 45. アキュラシード HIV Ag/Ab 偽陽性例の原因解析 …………… 高木優莉菜 ほか
- 46. HCV Duo (抗原 / 抗体同時測定試薬) 導入による C 型肝炎ウイルス拾い上げの効果
…………… 青地 祐 ほか

【血液 口演】

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

血液1

<9:00~9:30> 座長: 榎 亮介 (順天堂大学医学部附属 浦安病院)

- 47. M5 様形態を示した t (16;21) (p11;q22) FUS-ERG を伴う急性骨髄性白血病の 1 症例
…………… 永谷 大輔 ほか
- 48. 当院で経験した赤芽球瘍の 2 症例 …………… 近藤 朝衣 ほか
- 49. TRBC1/TRBC2 抗体を用いた FCM 検査が診断の契機となった T 細胞腫瘍の一例
～病理診断困難であった Nodal T follicular helper cell lymphoma, NOS ～
…………… 中岡 和奏 ほか

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

血液2

<9:30~10:00> 座長: 上田 淳夫 (筑波メディカルセンター病院)

- 50. 骨髓生検材料に浸潤像を認めた ALK 陽性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例
…………… 明利 美里 ほか
- 51. 慢性骨髓単球性白血病に骨髓原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫が合併した 1 例
…………… 上田 治輝 ほか
- 52. 球状赤血球と高度血管内溶血を認めた劇症型 *Clostridium perfringens* 敗血症の 1 例
…………… 西村 飛音 ほか

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

血液3

<10:05~10:45> 座長: 榎谷 亮太 (学校法人大阪医科薬科大学 大阪医科薬科大学病院)

53. 末梢血形質細胞増多と多クローン性高 γ グロブリン血症を認めた AITL の1例
..... 木暮 尚太 ほか
54. TRBC1/TRBC2 抗体を用いた FCM 検査が腫瘍性の否定及び指摘に有用であった4例
..... 栗田 衿唯 ほか
55. 急激な経過をたどった形質細胞白血病の1症例 服部 祐太 ほか
56. 赤芽球瘍を合併した骨髓原発性リンパ腫の一症例 八尋 隆久 ほか

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

血液4

<10:45~11:05> 座長: 小森 法子 (国立病院機構 京都医療センター)

57. 重症続発性寒冷凝集素症の治療経過として赤血球凝集強度が指標の一助となった一症例
..... 本間 龍二 ほか
58. *IDH1* 遺伝子解析によりイボシデニブ治療が選択された AML-M0 の1例
..... 萱場 理恵 ほか

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

血液5

<11:10~11:40> 座長: 井出裕一郎 (信州大学医学部附属病院)

59. VEXAS 症候群における顆粒球系前駆細胞空胞形成の定量評価と染色体検査の検討
..... 光野 典子 ほか
60. 臍帯血移植後の IPF 高値は重症急性 GVHD や非再発死亡の増加を示唆する
..... 小森 大輔 ほか
61. 希釈ラッセル蛇毒時間検査の normalized ratio 算出における正常血漿の影響
..... 加賀 淑子 ほか

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

血液6

<11:40~12:10> 座長:青柳 賢一(社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院)

62. 出産前検査を契機に発見された先天性第XI因子欠乏の症例 神竹 雪音 ほか

63. SKY 法の有用性を実感した PML::RARA を有する急性前骨髄球性白血病の1症例
..... 高山 拓也 ほか

64. 骨髄異形成症候群と急性骨髄性白血病における胎児型ヘモグロビンと疾患進展との関連
..... 田村 圭祐 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

血液7

<10:10~10:40> 座長:山本 喜之(安城更生病院)

65. ループスアンチコアグラント検査とプロテインSの関連について 石川 美紀 ほか

66. 骨髄異形成症候群(MDS)鑑別における Cell Population Data の有用性
..... 武村 友貴 ほか

67. 後天性血友病 A モデル血液を用いた包括的凝固検査によるバイパス止血剤の効果判定
..... 黒田 竜平 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

血液8

<10:40~11:10> 座長:早坂 光司(北海道大学病院)

68. Bite cell が診断の契機となった薬剤誘発性溶血性貧血の一例 梶本 幸伸 ほか

69. SGLT2 阻害薬 empagliflozin により赤血球増加症を呈し瀉血を要した溶血性貧血
..... 倉又 照美 ほか

70. 体液過剰関連大細胞型 B 細胞リンパ腫 (FO-LBCL) 診断の現状と課題
心嚢液原発の2症例を経験して 森崎 敬祐 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

血液9

<11:10~11:40> 座長:西村 恭輔(公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院)

71. フローサイトメトリーが診断の契機となった芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例
..... 奥田 琢巳 ほか

72. PDGFRA 遺伝子再構成を伴う骨髄性/リンパ性腫瘍の一例 下東 莉子 ほか

73. G-CSF 産生多発性骨髄腫治療中に ALL を併発した一例 夏原 稜典 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

血液10

<13:10~13:40> 座長:加賀 淑子(東北医科薬科大学病院)

74. White Crescent Cell は節性 T 濾胞ヘルパー細胞リンパ腫・血管免疫芽球型に特徴的である
..... 野中 拓
75. 小児で発症した寒冷凝集素症にて高度貧血を呈した一例 足立恵里奈 ほか
76. BPDCN との鑑別に苦慮した MECOM 遺伝子再構成を伴う急性骨髄性白血病の2症例
..... 永沼 綾子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

血液11

<13:40~14:10> 座長:大谷 政樹(聖マリアンナ医科大学病院)

77. 骨髓スメア標本の免疫染色による早期評価が診断の一助となった B 細胞リンパ腫の一例
..... 菅野 優 ほか
78. 悪性リンパ腫や BPDCN との鑑別を要し AML M4 の皮膚浸潤が疑われた症例
..... 阿部まゆみ ほか
79. HbA1c の著明な低値を契機に診断に至った遺伝性球状赤血球症の1例 … 田尻 健太 ほか

第2日目 9月27日(日)

第8会場 (3F 304号室)

血液12

<14:10~14:30> 座長:澁川 絵美(自治医科大学附属さいたま医療センター)

80. 伝染性単核球症が疑われていた ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫の1症例
..... 中島 大地 ほか
81. 熱帯熱マラリア診断における Appliqué form の重要性を示した1例 …… 谷渕 将規 ほか

【臨床化学 口演】

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

臨床化学1

<10:05~10:35> 座長:河西 慶(地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院)

- 82. 基準範囲内のIgM が総ビリルビン測定に影響を及ぼした一例 …………… 森崎舞衣子 ほか
- 83. コバス pulse/navify POC operations の基礎的検討 …………… 菊地 千絵 ほか
- 84. 酵素キャリブレーター変更に伴う測定不確かさの変動 …………… 金川 俊貴 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

臨床化学2

<10:35~11:05> 座長:松館 洸一(独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院)

- 85. JSCC 標準化対応試薬による AST 活性測定法の改良…………… 瀬川 琉 ほか
- 86. 尿中クレアチニンが異常低値を示した1症例
—細菌による分解の検証— …………… 立花 智子 ほか
- 87. セファゾリン投与がALT 測定値に及ぼす影響の検討 …………… 野中将太郎 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

臨床化学3

<11:10~11:40> 座長:蔵根 理貴(地方独立行政法人 徳島県 鳴門病院)

- 88. 潜在的ビタミンK 欠乏検出におけるPIVKA- II 測定の有用性…………… 田原 貴子 ほか
- 89. 自動グリコヘモグロビン分析装置におけるフルスケールクロマトグラム確認の有用性
…………… 竹澤 由夏 ほか
- 90. シグマ指標は日常精度管理に有効か?
シグマ値を用いた生化学項目の性能評価 …………… 田中 孔明 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

臨床化学4

<11:40~12:10> 座長:菅原 新吾(東北大学病院)

- 91. 全血放置による生化学項目検査値への影響とその補正 …………… 三浦 永遠 ほか
- 92. 生化学自動分析装置を用いたICG 試験の基礎的検討…………… 中澤このみ ほか
- 93. 肝癌との鑑別に苦慮したビタミンK 欠乏症の1症例…………… 渡邊 智美 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

臨床化学5

<11:05~11:45> 座長:前山 宏太(十和田市立中央病院)

94. 沖縄県医師会精度管理調査における CK 活性値低下の要因解析と

課題解決に向けた取り組み 伊計 義人 ほか

95. 生成 AI を用いた診断支援およびピットフォール検出システムの開発 … 三好 雅士 ほか

96. 当院における抗アミロイド β 抗体治療薬投与適応評価としての脳脊髄液検査
..... 村上 智美 ほか

97. 浸透圧検査外注化を目的とした血清及び尿浸透圧の計算値と実測値の一致性確認
..... 永田 啓代 ほか

【病理 □演】

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

病理1

<11:10~11:40> 座長:時田 和也(順天堂大学医学部附属 順天堂医院)

104. 当院における術中迅速遠隔病理診断システムの導入について 佐藤 浩司 ほか

105. 生成 AI を活用した HER2 FISH 検査支援ツールの構築 加藤 美聡 ほか

106. ルールベース自然言語解析による病理診断自動判定の不一致例と精度評価の検討
..... 金田 晴輝 ほか

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

病理2

<11:40~12:10> 座長:落合 剛史(芳賀赤十字病院)

107. 2025 年度日臨技病理検査精度管理病理ホルマリンアンケート調査報告 … 吉田 美帆 ほか

108. 当院病理診断センターにおける切り出しタスクシェアの取り組み …… 堀江 翔真 ほか

109. 当院における病理組織標本デジタル化の取り組み 林 裕司 ほか

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

病理3

<13:40~14:10> 座長:加藤 昌希 (社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院)

- 110. 薄切技術を可視化する新評価法の検証 船戸 連嗣 ほか
- 111. 組織切片厚における精度管理体制構築の取り組み
～ 3D 光干渉計を用いた薄切条件の検討～ 大角光歩子 ほか
- 112. 記録映像を活用した包埋手技の平準化と継続的評価の有用性 亀井健太郎 ほか

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

病理4

<14:10~14:40> 座長:岡田 博臣 (独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院)

- 113. 免疫組織化学染色におけるコントロール運用の再構築
—対応できる抗体の拡大と人為的エラー低減の両立— 吉田 健登 ほか
- 114. 乳腺ラジオ波焼灼療法後組織における Viability 評価の検討 園原 政樹 ほか
- 115. 尿路上皮癌における adipophilin 発現意義の検討
尿細胞診の新規バイオマーカーの探索 高橋 光司 ほか
- 116. 演題取り下げ

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

病理5

<9:10~9:40> 座長:高畑 英智 (八戸市立市民病院)

- 98. 肺癌遺伝子検査の結果をふまえた運用面の検討 田中 真理 ほか
- 99. 当院における AmoyDx 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネルの現状
—病理検査室にできる未染色標本作製の改善に向けて— 田中 香織 ほか
- 100. 検体保存条件の違いによる RNA quality (DV₂₀₀) の比較検討 波多野妃南 ほか

【細胞 口演】

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

細胞1

<10:40~11:10> 座長: 秋山 綾子 (市立敦賀病院)

- 101. 子宮頸部細胞診検診 液状化細胞診 LBC (liquid based cytology) を導入して
従来法と LBC 法の比較検討 三田 尚子 ほか
- 102. 当院における子宮頸がん検診の LBC 法導入による判定結果と業務改善の試み
..... 小林 早苗 ほか
- 103. 子宮頸部細胞診における ThinPrep イメージングシステム DUO を用いた
精度管理の有用性 石黒 弘美 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

細胞2

<8:30~9:10> 座長: 杉谷 拓海 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院)

- 117. 胸水細胞診における原発巣推定とセルブロックの活用 武井 美和 ほか
- 118. セルブロックにおける染色性検証手法の確立 秋田谷有朔 ほか
- 119. 体腔液細胞診における LBC 標本の有効性 玉木 明子 ほか
- 120. 内視鏡室での業務拡大の実践
—ROSE (rapid on-site cytologic evaluation) 開始前後の比較— 池澤 剛 ほか

【生理 口演】

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

生理1

<9:00~9:30> 座長: 大澤 郁子 (医療法人 鉄蕉会 亀田クリニック)

- 121. 当院における 10 日間ホルター心電図の有用性の検討 小田 怜奈 ほか
- 122. 発作性心房細動検出を目的とした 1 週間ホルター心電図の有用性と運用上の課題
..... 長田 和士 ほか
- 123. 2 週間ホルター心電図における装着完遂率の比較
従来型長時間ホルタ記録器と Zio monitor の検討 七山 莉帆 ほか

第1日目 9月26日(土)

第9会場 (1F 103号室)

生理2

<9:30~10:10> 座長:中島真名美(筑波大学附属病院)

124. ABI 評価において脈波波形が重要であった下肢閉塞性動脈硬化症の1例
..... 佐々木葉津乃 ほか
125. 幼児期～学童期まで追跡を行った Pelizaeus-Merzbacher 病の一例 黒木 知佳 ほか
126. COVID-19 流行前後における基準嗅力検査 (T&T) の実施状況と患者背景の変化
..... 金剛 左京 ほか
127. 当院における基準嗅力検査の嗅素ごとの回答表現と正答基準の検討 ... 米澤 和 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理3

<9:00~9:30> 座長:赤崎 友美(国立大学法人 弘前大学医学部附属病院)

128. 心室期外収縮に関する研究①
—心室期外収縮のQRS幅で左室収縮機能の評価が可能か?— 山本 誠一 ほか
129. 心電図P波に関する研究
—心エコー図の左房拡大と対比して— 石原 夕莉 ほか
130. 心電図AI解析を用いた隠れ心房細動リスク推定の臨床的有用性
—カテーテルアブレーション後症例での検討— 久富英里郁 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理4

<9:30~10:00> 座長:渡辺 榮里(地方独立行政法人 市立秋田総合病院)

131. 北里大学病院において検査中に遭遇した植込型LVAD患者の致死的不整脈について
..... 池田 智美 ほか
132. 実臨床におけるAi心電計による隠れ心房細動検出性能の検討 遠藤 穂乃 ほか
133. 通常型心房粗動様の12誘導心電図を呈した巣状心房頻拍の1例 前田 瑞葵 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理5

<10:05~10:25> 座長:西村はるか(社会福祉法人 恩賜財団 済生会松阪市民病院)

134. HOT 導入中の間質性肺炎患者がCPAP 使用により夜間低酸素血症改善を認めた1例
..... 後藤 紀子 ほか
135. PSG にて先天性中枢性肺胞低換気症候群の診断と治療経過を評価し得た1症例
～ 経皮 PCO₂ の同時記録の重要性～ 保田 智香 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理6

<10:25~11:05> 座長:島林 健太(地方独立法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター 安佐市民病院)

136. 当院救急脳波において CAPE を呈した意識障害患者の2症例
脳波反応性と神経学的予後に着目して 土方 加奈 ほか
137. 法的脳死判定における脳波検査を担う技師育成を目的とした教育ビデオの制作
..... 浅黄 優 ほか
138. 光刺激装置の違いによる脳波検査へ影響 山田 千晴 ほか
139. セフェジム投与中止後に臨床症状と脳波所見の解離を認めた1例 佐藤めぐみ ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理7

<11:10~11:50> 座長:加藤 自正(医療法人社団 石鎚会 京都田辺中央病院)

140. 内側前腕皮神経伝導検査における近隣神経への波及を評価する試み
— 手関節部での神経活動電位記録の有用性 — 高橋 修
141. 腰仙部脊髄手術における排尿機能・排便機能評価に対する BCR モニターの
予測精度比較 宮林 知誉 ほか
142. 脳外科緊急手術における術中神経モニタリングの意義と体制構築の検討
— 2018-2025 年 166 例の集計と働き方改革を踏まえた1人体制から3人体制への移行 —
..... 土谷 幸平 ほか
143. 肘部管症候群疑いであったが慢性炎症性脱髄性多発神経炎と診断された1例
..... 山村莉緒菜 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理8

<11:50~12:20> 座長:小林 知子(愛媛県立今治病院)

144. 甲状腺・副甲状腺手術での術中反回神経モニタリングの運用経験

—臨床検査技師の立場からの3症例検討— ……………阿久津昂杜 ほか

145. 術中 VEP 低下の報告が視交叉圧迫を発見し術後の視力改善に繋がった下垂体腺腫の1例
……………久米 賢 ほか

146. 当院の経頭蓋刺激運動誘発電位 (Tc-MEP) における陽性的中率向上への取り組み
……………矢部 駿幸 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理9

<15:50~16:30> 座長:山本 雅史(北海道大学病院)

147. ろうそくのイラストが最良のピークフローを得る効果について ……倉嶋 里帆 ほか

148. 内部精度管理により発見された4種混合ガスの成分濃度異常の経験 …齊藤 美星 ほか

149. 呼気一酸化窒素濃度に影響を及ぼす因子について ……………松田 浩明 ほか

150. 新規デバイス「Resting Respiratory Flow Analyzer」を用いた呼吸機能検査
努力を要しない安静呼吸下での呼吸機能評価 ……………高谷 恒範

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

生理10

<16:30~16:50> 座長:富園 正朋(独立行政法人 国立病院機構 指宿医療センター)

151. 生理検査室におけるパニック値運用基準の見直しと報告体制の改善 …岸 久美子 ほか

152. 心電図検査におけるパニック所見を含めた緊急報告症例の後ろ向き検証
……………花田 彩加 ほか

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

生理11

<13:10~13:30> 座長:伴 美穂子(日本赤十字社 長崎原爆病院)

153. 遅発性筋肉痛のピークおよび超回復による Shear wave elastography の経時的变化
……………阿部 拓也 ほか

154. Shear Wave Elastography の連続走査による温度ドリフトの定量化 …阿部 拓也 ほか

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

生理12

<13:30~14:10> 座長:関根 敏勝(公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院)

155. 超音波検査が診断に有用であった停留精巣を伴う精巣上体炎の一例 … 橋本 茂樹 ほか

156. 腎生検後に生じた腎動静脈瘻の診断および経過観察に超音波検査が有用であった一例
…………… 石橋 伸治 ほか

157. 精巣内動脈のパルスドプラ解析により診断に至った精巣不全捻転の1例
…………… 佐々木朝海 ほか

158. MRI-US Fusion 前立腺生検における臨床検査技師の関わり
～タスクシフト・シェアの取り組みと運用の成果～ …… 渡部さゆり ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理13

<8:30~9:00> 座長:西脇 啓太(医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院)

159. 初回で見逃された心房中隔欠損症
～ Crochetage pattern とは～ …… 原田 真夏 ほか

160. 経胸壁心エコー図検査を契機に診断に至った冠静脈洞型心房中隔欠損症の一症例
…………… 奥田 千晶 ほか

161. 経胸壁心エコー図検査で鑑別困難であった大動脈基部限局解離の一例 … 丸山 萌 ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理14

<9:00~9:30> 座長:武田 美香(国立大学法人 弘前大学医学部附属病院)

162. 心室中隔穿孔術後シャント残存症例の仮性心室瘤合併による欠損孔狭小化の一例
…………… 尾上 紗英 ほか

163. 経胸壁心エコー図検査では指摘できなかった維持透析中の感染性心内膜炎症例
経食道心エコー図検査の検討を助言し、診断に至った …… 宮崎 明信 ほか

164. 技師の一声がIE診断と救命に繋がった症例 …… 福谷 美綺 ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理15

<9:35~10:05> 座長: 荒井 鴻飛 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター)

165. 心膜液貯留の精査を契機に診断・治療経過を追えた Erdheim-Chester disease の1例
..... 鷺田 伸吾 ほか
166. 左室壁厚・左室径計測の施設間差と計測方法目合わせの効果 野村 侑香 ほか
167. タスクシフトにより TCD で右左シャント検出し早期に PFO 閉鎖術に至った一例
..... 千葉 寛

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理16

<10:05~10:35> 座長: 井本 達也 (独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター)

168. 当院で経験した冠動脈瘤の3症例 時田 尚文 ほか
169. 超音波検査にて静脈血栓塞栓症の経過を追うことができた一例 鈴木 聖人
170. 免疫性血小板減少症を有する若年女性に巨大疣腫を形成した感染性心内膜炎の一例
..... 近藤 潤 ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理17

<10:40~11:10> 座長: 大矢 佳奈 (JA新潟厚生連 長岡中央総合病院)

171. 心エコー図検査にて鑑別に苦慮した僧帽弁フィブリン血栓の1例 梅木 俊晴 ほか
172. 脳出血を契機に判明し *Streptococcus gordonii* による感染性心内膜炎の一例
..... 井伊稚佳子 ほか
173. 心筋症との鑑別に難渋した好酸球性心筋炎の一例 山崎 功次 ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理18

<11:10~11:30> 座長: 森田 遊 (JA神奈川県厚生連 相模原協同病院)

174. 皮下腫瘍との鑑別に苦慮した浸潤性乳管癌の一例 浅川和可子 ほか
175. 悪性黒色腫の乳腺転移を認めた一例 苗代澤祐美 ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理19

<13:10~13:40> 座長:風間 知之(山形大学医学部附属病院)

176. 頸動脈外科的治療後に発生した外頸動脈可動性プラークの2例 …… 宮元 祥平 ほか
177. 下大静脈~腸骨静脈観察の必要性を再認識した深部静脈血栓症の1例 … 衣川 尚知 ほか
178. 超音波検査で Carotid Web 内血栓を捉え、手術で確認し得た脳梗塞の1例
…………… 會田 志乃 ほか

第2日目 9月27日(日)

第10会場 (1F 104号室)

生理20

<13:40~14:20> 座長:伊藤 光汰(石巻赤十字病院)

179. 脾腫症例におけるリニアプローブによる微小病変検出と検査部門間連携の意義
—脾悪性リンパ腫の一例— …… 青江 康貴 ほか
180. 腹部超音波検査を契機に FNH を診断し得た PIVKA- II 偽陽性を呈する若年男性の1例
…………… 箕輪 真俊 ほか
181. 経過観察中に増大を呈した肝高エコー腫瘤の二例 …… 鈴木奈津子 ほか
182. 超音波検査が治療方針の決定に有用だった増大する肝血管筋脂肪腫の1例
…………… 奥山 遥奈 ほか

【一般 口演】

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

一般1

<13:40~14:10> 座長:宮前 香織(株式会社ビー・エム・エル 院内検査本部 横浜ソーワクリニック)

183. 尿沈渣検査における異型細胞の見落とし要因について 水間 俊一 ほか

184. 尿沈渣検査における異型細胞検出・報告の実態と今後の方向性のアンケート調査
..... 横山 貴 ほか

185. 尿沈渣中「異型細胞」の報告呼称の在り方に関する検証

医師向けアンケート調査結果から要求を知る 星 雅人 ほか

第1日目 9月26日(土)

第7会場 (3F 303号室)

一般2

<14:10~14:40> 座長:竹内 貴洋(福井大学医学部附属病院)

186. 人工膝関節施行患者の関節液で白血球偽高値を呈した症例 木村 祥 ほか

187. 胸水に白血病細胞が出現し再発が確定した急性赤白血病の一例 脇本 純子 ほか

188. 丸細胞にどこまで迫るか

～同定ランク作成と今後の活用～ 栗野 敏光

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

一般3

<8:30~9:00> 座長:河合 裕美(福島県立医科大学附属病院)

189. 尿沈渣検査を契機に早期診断に貢献できた DLBCL の1 症例 根本 大輔 ほか

190. 悪性黒色腫の膀胱転移により尿沈渣中にメラニン顆粒含有細胞を認めた一症例
..... 小黒 凌輔 ほか

191. 男性の尿沈渣中に未熟生殖細胞を認め同定することが可能であった一症例
..... 友田美穂子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

一般4

<9:00~9:30> 座長:手代森京花(八戸赤十字病院)

192. アデノウイルス性出血性膀胱炎の診断を一助する尿沈渣検査と迅速診断キットの併用
..... 中野 莉愛 ほか
193. 気管支鏡検体より検出された糞線虫による播種性糞線虫症の1例 川井 孝太 ほか
194. 当院で経験した無症状ジアルジア症の一例 金森 李佳 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

一般5

<9:30~10:00> 座長:古株 利紀(旭川赤十字病院)

195. 尿沈渣中のヘモジデリン顆粒報告が診断につながった TAVI 術後の溶血性貧血の一症例
..... 清水 健太 ほか
196. 僧帽弁形成術後患者の尿中にヘモジデリン顆粒を認めた1症例 橋本 綾 ほか
197. マルベリー小体を発見したが Fabry 病でなかった1症例 林 達矢 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

一般6

<10:00~10:30> 座長:新井 未来(社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院)

198. 尿沈渣にて結晶様成分が沈着した尿細管上皮細胞・円柱を認めた軽鎖近位尿細管症
..... 深川 結妃 ほか
199. 検査室からの報告が診断契機となったトスフロキサシンによる薬剤性腎性尿崩症の一例
..... 森川 りの ほか
200. キサンチン結晶様の尿酸結晶が出現した一症例 酒井瑠美子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

一般7

<10:30~11:00> 座長:鈴木 清江(獨協医科大学病院)

201. 他部門連携により癌性髄膜炎の早期診断に繋がった一例 前田 有希 ほか
202. 機械法で検出されず目視法で認めた髄液中 ALK 陰性未分化大細胞型リンパ腫細胞の
1 症例 石山 大治 ほか
203. 髄液細胞数増加が軽微であった髄膜炎菌性髄膜炎の一例 服部 亮輔 ほか

【公衆衛生 口演】

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

公衆衛生

<10:05~10:35> 座長:板倉 仁美(八戸市立市民病院)

204. 当院糖尿病イベントにおける HbA1c およびクレアチニン /eGFR 測定と PHR 連携の試み
..... 佐井 澄子 ほか
205. 随時尿を用いた1日食塩摂取量推定式の精度向上のための検討 齋藤 百花 ほか
206. 行政臨床検査技師の役割
～食品衛生監視員の事例報告～ 佐藤 千歳

【輸血 口演】

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

輸血1

<9:00~9:30> 座長:中村 裕樹(順天堂大学医学部附属 順天堂医院)

207. 救命目的に RhD 不適合製剤を使用し、抗 D 産生を認めた一例 鈴木 雅人 ほか
208. 遠心分離式血漿交換により視機能改善を認めた視神経脊髄炎の一例
輸血・細胞治療部による置換液最適化と多職種連携 加藤 結菜 ほか
209. 当院における血液型2回実施体制の構築と運用 藤田沙耶花 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

輸血 2

<9:30~10:00> 座長:大塚 真哉(兵庫医科大学病院)

210. Trauma Code への臨床検査技師参画と成果 中島 裕美 ほか
211. 赤血球液有効期限延長が小笠原村ブラッドローテーション運用へ及ぼす影響に
関する調査 田尻 美紅 ほか
212. 高頻度抗原に対する抗体を保有している患者に輸血を実施した3症例 南里 隆憲 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

輸血3

<13:40~14:10> 座長:加藤亜有子(能代厚生医療センター)

213. 2025 年度日本臨床衛生検査技師会精度管理調査輸血検査報告

～輸血検査の現状と問題点～ 竹内紗耶香 ほか

214. 2025 年度日本臨床衛生検査技師会精度管理調査輸血検査報告～実態調査より～

..... 竹内紗耶香 ほか

215. 医療機関と血液センターの協働による実践的新人看護師輸血教育について

..... 森 唯

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

輸血 4

<14:10~14:40> 座長:小嶋 俊介(信州大学医学部附属病院)

216. 冷式自己抗体と低頻度抗原に対する抗体を含む複数抗体により適合血選択に

苦慮した一例 須永菜津子 ほか

217. 血管免疫芽球形 T 細胞リンパ腫に伴う抗 B 同種抗体欠損により血液型判定に

苦慮した一例 小原 真理 ほか

218. フローサイトメトリーによる不規則抗体検出における M 抗原の影響評価

ROC 解析を用いた Δ MedFI カットオフ値の検討 倉本 大輔 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

輸血5

<14:45~15:15> 座長:中尾 真実(佐賀大学医学部附属病院)

219. IgA2 欠損症患者に生じた輸血副反応と輸血部の迅速な検査対応の重要性

..... 伊藤 謙吾 ほか

220. 交差適合試験で陰性であった低力価抗 E を酵素法で検出した一例 村上尋一郎 ほか

221. 当院における自家末梢血幹細胞移植導入に向けた取り組み

臨床検査技師の立場から 井口佳代子 ほか

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

輸血6

<15:15~15:45> 座長: 小山内崇将 (国立大学法人 弘前大学医学部附属病院)

222. 緊急輸血における製剤準備および搬送体制に関する多施設共同研究 … 石川 雅樹 ほか

223. 心外手術におけるフィブリノゲン製剤及びプロトロンビン複合体製剤の適正使用対策
…………… 小川 公代 ほか

224. 心外手術におけるフィブリノゲン製剤及びプロトロンビン複合体製剤の導入効果
…………… 栞原 瑠里 ほか

【情報システム 口演】

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

情報システム1

<15:00~15:30> 座長: 吉田 泰憲 (独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院)

225. 当院細菌検査室におけるインシデントレポートの分析とシステムを用いた対策について
…………… 菊池 眸 ほか

226. 採血レコーダーシステム導入の有用性 …………… 岡村 邦彦 ほか

227. ディープフリーザー内の検体管理システムについて

Excel VBA を用いたシステムの構築から …………… 名古 亜未

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

情報システム2

<15:30~16:00> 座長: 木村 正彦 (国立大学法人 弘前大学医学部附属病院)

228. グループウェアを活用した ISO15189 運用管理 …………… 中河 竜也 ほか

229. AI と共同開発した化学物質管理ラベル自動作成システム …………… 松重 貴大

230. Microsoft Access を用いた看護師向け臨床検査情報提供システムの運用評価
…………… 中嶋 麻貴 ほか

【遺伝子・染色体 口演】

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

遺伝子・染色体1

<8:30~9:00> 座長:小寺 輝明(公立大学法人 横浜市立大学附属病院)

- 231. 当院における遺伝学的検査の取り組み 赤羽 珠実 ほか
- 232. qPCR 法による BK ウイルス検出の院内導入とその有用性 佐藤 勉 ほか
- 233. Oncomine Comprehensive Assay Plus (OCAPlus) の使用経験 西尾 美帆 ほか

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

遺伝子・染色体2

<9:00~9:30> 座長:塩津 弘倫(九州大学大学院医学研究院)

- 234. 細胞診検体を用いた肺癌薬剤関連遺伝子変異検出のための AmoyDx パネルの診断精度
検証 雨宮 健司
- 235. 遺伝子検査に従事する技師を対象とした力量評価の構築 枕山 麻美 ほか
- 236. Real-time PCR 法を用いた *NUP98::DDX10* 融合遺伝子定量検査の確立
..... 大木 圭子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第9会場 (1F 103号室)

遺伝子・染色体3

<9:30~10:00> 座長:白井 洋紀(京都第一赤十字病院)

- 237. ガンゲノムプロファイリングから得られた生殖細胞系列病的バリエーションの解析
..... 長久保由貴
- 238. 2 種の Short reads 型 NGS の機種間差の検証 京都 敬祐 ほか
- 239. 採血不要の遺伝子検査を目指して: 随時尿の有用性の検討
随時尿から核およびミトコンドリア DNA 抽出法の検討 山口 良孝 ほか

【管理運営 口演】

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営1

<9:00~9:30> 座長:塚原 晃(医療法人社団東光会 戸田中央総合病院)

240. 9:00 診察開始時点での採血結果提示を目指した外来採血開始時刻前倒しの検討

..... 青木奈美子 ほか

241. 採血待ち時間短縮に向けた再来受付制限の導入とその効果 山口 桂 ほか

242. 受入不可検体の削減を目指して 関口 芳恵 ほか

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営2

<9:30~10:00> 座長:青山 和史(安城更生病院)

243. ISO 15189 第4版改訂に伴う品質マニュアルの見直しとその評価..... 大澤 道子 ほか

244. ISO 15189 記録管理を目指したQRコードとNAS活用の実践 中西 昂弘 ほか

245. ISO 15189 DX化への取り組み

~ Microsoft 365を活用した当院独自の文書管理システム「DMS for Gifu」の構築と

運用~ 石田 秀和 ほか

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営3

<16:05~16:35> 座長:徳弘 慎治(高知大学医学部附属病院)

246.『血液検査パニック値に関する5つの提言』を基にした致死的パニック値の設定

..... 久保 光史 ほか

247. JCI 認証受審を契機に行ったパニック値報告体制の見直し 一村 健一 ほか

248. CDSS 機能を利用したパニック値対応記録の運用経験..... 仁木 裕子 ほか

第1日目 9月26日(土)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営4

<16:35~16:55> 座長:田近 洋介(国立大学法人 富山大学附属病院)

249. LINE 公式アカウントを用いた検体回収連絡体制の構築と運用効果..... 赤嶺 奈月 ほか

250. 災害時における検査部門の初動対応見直しと体制整備の取り組み 西津 将巨 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営5

- <10:55~11:25> 座長:下村 彩乃(地方独立法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター 安佐市民病院)
251. ISO15189を利用した不適合の分析 漆本 帆花 ほか
252. 当院におけるインシデントの傾向分析と再発防止策 太田麻衣子 ほか
253. 生理検査室のインシデント報告における予期せぬ症状の発生状況 渋谷 潤子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営6

- <11:25~11:55> 座長:北川 孝道(地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター)
254. 全国学会における演題数推移と人的基盤の変化 平松 和大 ほか
255. 指定管理者制度導入に伴う検査部の人員変動と業務体制再構築の経験
多数退職を経験した自治体病院検査部における実務的対応と課題 ... 萬雲 正清 ほか
256. 医事課・検査科の連携における検査査定適正化と収益改善 佐谷 純一 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営7

- <13:10~13:40> 座長:角野 忠昭(金沢市立病院)
257. WILLPOWERを消耗させないスタッフ主体の業務改善 福田 愛子 ほか
258. 当院の採血室の運用改善について
待ち時間の短縮と採血技術向上のための取り組み 浅尾 優太 ほか
259. 採血力量評価における新評価基準についての検討
採血技術の見える化を目指して 川瀬 彩子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営8

- <13:40~14:10> 座長:石井 浩崇(NTT東日本 伊豆病院)
260. 当院におけるパニック値運用の見直しとその効果 林 健斗 ほか
261. 当院におけるパニック値報告の運用改善にむけた取り組み 中島佳那子 ほか
262. 当院におけるパニック値報告体制整備の取り組みについて 安藤菜緒美 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

管理運営9

<14:10~14:40> 座長:中村香代子(順天堂大学医学部附属練馬病院)

263. Robotic Process Automation (RPA) を用いた業務改善の取り組み … 瀬尾佳代子 ほか

264. 当院における肝炎未治療対策

—過去の未治療患者対応を中心に— …………… 杉山 宗平 ほか

265. RPA 活用による肝炎ウイルス陽性患者フォローアップ体制の構築

—未治療患者対策と業務改善に向けた取り組み— …………… 伊藤 彰洋 ほか

【教育 □演】

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

教育1

<9:50~10:20> 座長:上野 大(国立大学法人 弘前大学大学院保健学研究科)

266. 臨地実習における指導と評価の均一化を目指して

—指導内容の標準化と客観的評価の試み— …………… 平田 幸也 ほか

267. 当院における新しい臨地実習の取り組み~インターンシップ制の紹介~

…………… 小山 祥美 ほか

268. 大学病院勤務の臨床検査技師による学内実習への協力体制とその課題

—一般検査学実習における取組— …………… 生駒 桃子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第12会場 (TKP幕張2F スペース1+2)

教育2

<10:20~10:50> 座長:阿部 拓也(新潟医療福祉大学)

269. 「合理的配慮が必要な発達障害をもつ学生」の臨地実習受け入れについて

…………… 横山 智一 ほか

270. 臨地実習ガイドライン 2021 改訂後における生理学的検査実習の実施状況に関する調査

…………… 澤田 裕也 ほか

271. 臨地実習における内視鏡検査の指導方法について …………… 木下 清香 ほか

第2日目 9月27日(日)

第13会場 (TKP幕張2F スペース3)

教育3

<10:10~10:40> 座長: 關谷 暁子 (学校法人北陸大学)

272. 福井県臨床検査技師会「性教育チーム」の性教育活動について 第1報
..... 南保栄美子 ほか
273. 福井県臨床検査技師会「性教育チーム」の性教育活動について 第2報
..... 宇野 良美 ほか
274. 中学生に対する体験型授業が臨床検査技師の職業理解に及ぼす影響
—会津地域における取り組み— 星 勇喜 ほか

第2日目 9月27日(日)

第13会場 (TKP幕張2F スペース3)

教育4

<10:40~11:00> 座長: 吉田 泰憲 (独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院)

275. 院内横断的に導入したメンター制度と検査部での運用経験
—導入経験者としての視点から— 米倉 久剛 ほか
276. 消化器内視鏡の専門性を基盤とした内視鏡領域ジェネラリスト育成の実践と教育体系
..... 今村 倫敦

第2日目 9月27日(日)

第13会場 (TKP幕張2F スペース3)

教育5

<11:00~11:30> 座長: 小笠原 篤 (国際医療福祉大学 大田原キャンパス)

277. 当科におけるラダーシステムを利用した人材育成への取り組み 渡辺 智美 ほか
278. 当院の検査室キャリア開発ラダー制度を利用して 平井 英誉 ほか
279. 臨床検査技師キャリア開発ラダーの再構築に向けた活動 平井 舞 ほか

【チーム医療 口演】

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

チーム医療1

<13:40~14:10> 座長:千葉 寛(盛岡市立病院)

280. 糖尿病治療支援の次のステージへの挑戦 第一報

臨床検査技師がつながる全国的ネットワーク構築の試み …………… 村越 大輝 ほか

281. 当院におけるパニック値報告体制の見直し効果 …………… 石澤 佑介 ほか

282. タスクシェアの効果

内視鏡室における静脈路確保の取り組み …………… 谷村 勇多 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

チーム医療2

<14:10~14:40> 座長:小川 優(帝京大学 ちば総合医療センター)

283. 臨床検査技師による手術ナビゲーション操作の実績について …………… 渡邊 一儀 ほか

284. 腎臓学修入院プログラムへの臨床検査技師の参画とその効果について …… 西山 大揮 ほか

285. 当院における検体検査パニック値報告体制の改善について …………… 三上 悠輔 ほか

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

チーム医療3

<14:40~15:10> 座長:山城 篤(那覇市立病院)

286. 臨床検査技師による大腸内視鏡検査需要増加に対する体制強化の取り組み

…………… 佐藤 真己 ほか

287. 血糖値と HbA1c の乖離を認めた乳がん治療患者で CGM が有用であった一例

…………… 廣住 環季 ほか

288. 国際医療 NGO ボランティア活動に参加して 2

約 2 年間のボランティア活動報告 …………… 森 三郎

第1日目 9月26日(土)

第10会場 (1F 104号室)

チーム医療4

<15:10~15:30> 座長:工藤 雄貴(新城市民病院)

289. 臨床検査技師によるエコーガイド下静脈路確保の有用性 横山 健輔

290. CPE アウトブレイク制御の鍵は初動

感染拡大を招いた初期対応と成功に導いた再発時の対応比較 稲垣 健二 ほか

291. 演題取り下げ

【その他 口演】

第1日目 9月26日(土)

第8会場 (3F 304号室)

その他1

<15:55~16:25> 座長:吉田 元治(大阪府立中河内救命救急センター)

292. 救急診療において臨床検査技師が関与する研修医 POCUS On-the-Job Training の有用性
..... 津田 喜裕 ほか

293. 救命救急センターでの臨床検査技師の職域拡大

～救命救急センターでの心エコー実施体制強化～ 佐藤 洸哉 ほか

294. 急性上行大動脈解離術前検査にて指摘し得た左室流出路狭窄の1例

超緊急時に臨床検査技師に求められる超音波検査とは 河井 伸午 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

その他2

<13:10~13:40> 座長:宮本 康平(医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院)

295. 当院における臨床検査技師の ICLS への取り組み 佐藤 由佳

296. 当施設におけるタスクシフトの一例

～プレホスピタル活動でも活躍する検査室を目指して～ 吉田 元治 ほか

297. ラピッドカー同乗における臨床検査技師の役割 浪岡 彩子 ほか

第2日目 9月27日(日)

第7会場 (3F 303号室)

その他3

<13:40~14:20> 座長:津田 喜裕(近畿大学病院)

298. 新潟県臨床検査技師会救急検査分野の活動と課題について 高橋 政江 ほか

299. 救急外来に参画する臨床検査技師～導入後の経過と成果～ 宮本 康平 ほか

300. 救急外来に参画する臨床検査技師～心エコー検査業務の役割～ 杉江 千穂 ほか

301. 認定救急検査技師が目指すところ

～指定講習会の再考と第二版救急検査指針発刊をふまえて～ 藪 圭介 ほか

【微生物 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

微生物1

<11:30~12:10> 座長：鈴木 貴弘（株式会社 日立製作所日立総合病院）

- 302. 病理所見を契機に *Arachnia propionica* を同定した後腹膜膿瘍の一例… 藤岡 愛海 ほか
- 303. 血液およびカテーテル尿から *Actinotignum schaalii* が検出された一例… 海老 義晴 ほか
- 304. *V. cholerae* non-O1, non-O139 による菌血症の症例 …………… 竹林孝太郎 ほか
- 305. *Bacillus cereus* による末梢カテーテル関連血流感染症の1例 …………… 山本里佳子 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

微生物2

<14:40~15:20> 座長：木村 圭吾（国立大学法人 香川大学医学部附属病院）

- 306. セフィデロコルの薬剤感受性に用いる培地の比較検討 …………… 三枝 琴古 ほか
- 307. 市販鶏ひき肉由来フロルフエニコール・セフトキシム同時耐性菌の相同性解析
…………… 蓮沼 裕也 ほか
- 308. 便および尿由来 *Escherichia albertii* の抗菌薬感受性と ESBL 産生株の検討
…………… 藤岡 美幸 ほか
- 309. 関東化学製リアルタイム PCR キットを用いた主要薬剤耐性菌遺伝子の検出性能評価
…………… 佐藤 望裕 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

微生物3

<15:20~16:00> 座長：岩永 祐季（社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院）

- 310. MALDI-Biotyper sirius を用いた血液培養陽性検体からの直接同定の検討
…………… 松浦 由唯 ほか
- 311. 16S rRNA アンプリコンシーケンス解析による全身 X 線照射後の腸内細菌叢評価
照射 72 時間後における線量依存性と被ばく線量推定検査への展開 … 山内可南子 ほか
- 312. 北海道北部における MRSA の分子疫学的解析 …………… 佐藤多嘉之 ほか
- 313. 質量分析装置のメンテナンス前後における同定率の比較 …………… 平沢 佳与 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

微生物4

<10:20~11:00> 座長：池田 光泰（広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院）

- 314. BCG 膀胱内注入療法後に発症した肝障害を伴う播種性 BCG 感染症の 1 例
..... 岩永 祐季 ほか
- 315. 抗菌薬適正使用支援チームの連携により NVS を疑い適正な検査が可能となった一例
..... 山谷由香里 ほか
- 316. 造血幹細胞移植前後における口腔および腸内細菌叢の縦断的解析 竹内 彰浩 ほか
- 317. MGIT 培養液から直接施行した結核菌群 PCR 陽性と培養結果の乖離を認めた一例
..... 井上 靖朗 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

微生物5

<11:00~11:40> 座長：小柳 紀人（掛川市袋井市病院企業団 中東遠総合医療センター）

- 318. 内視鏡室における環境汚染と介入効果の検討 井手口小智子 ほか
- 319. スマートジーン *H.pylori*G 導入後の検査状況と適正化について 阿部 水穂 ほか
- 320. 当院で分離された *Bacteroides fragilis* における抗菌薬感性率と *cfiA* 遺伝子の保有率
..... 伊藤 健吾 ほか
- 321. 中小・へき地医療機関における休日血液培養陽性対応と抗菌薬適正使用の早期化
..... 茜谷 大輔 ほか

【免疫血清 示説】

第2日目 9月27日(日)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

免疫血清1

<10:50~11:10> 座長：高山 知子（金沢大学附属病院）

- 322. LATECLE PCT 現行試薬と改良試薬の基礎的性能比較 仲田 夢人 ほか
- 323. 抗 HCV 抗体検査改良試薬の有用性の検討 工藤 慎也 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

免疫血清2

<11:10~11:40> 座長：東 靖之（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

- 324. 内部精度管理業務の効率化について …………… 石川 秀和 ほか
- 325. DxI 9000 Access イムノアッセイアナライザーの基本的性能評価………… 齋藤さとみ ほか
- 326. 免疫項目におけるキャリブレーションの成立条件に関する一考察 …… 結石友里菜 ほか

【血液 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

血液1

<10:00~10:30> 座長：吉田 美雪（東京慈恵会 医科大学附属病院）

- 327. 自動血球計数装置 DxH900 における血小板凝集検体およびフィブリン析出検体検索能の検討 …………… 池田 彩香 ほか
- 328. 細胞形態に着目した好酸球数の偽低値の要因究明 …………… 菅原 直央 ほか
- 329. 骨髓塗抹に対するアルブミン添加の後方視検討
芽球比率補正と診断・分類への影響 …………… 富田 葉月 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

血液2

<10:30~11:00> 座長：光黒 真菜（国立研究開発法人 国立循環器病研究センター）

- 330. 血液培養における単球分布幅（MDW）の有用性の検討………… 広瀬 逸子 ほか
- 331. マルチカラーフローサイトメトリーで使用する蛍光標識抗体の検討
～ APC-H7 および APC-R700 における非特異反応の検証と軽減策～ …… 中村 早希 ほか
- 332. EDTA 加採血管を用いた赤血球沈降速度測定の基礎的検討 …………… 菅田 雅巳 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

血液3

<11:00~11:30> 座長：早坂 光司（北海道大学病院）

333. LA 陽性における凝固第 VIII 因子活性偽低値判定への Factor Parallelism Test の検討
..... 叶内 和範 ほか
334. 自動血球計数装置 DxH900 における CPD と反応性リンパ球検出の有用性の評価
..... 須藤 瑞妃 ほか
335. 多項目自動血球分析装置 XR-9000 の使用経験 佐藤 牧子 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

血液4

<10:00~10:40> 座長：永尾 篤子（松戸市立総合医療センター）

336. 好中球に空胞が認められた患者の臨床的検討 板場 風砂 ほか
337. 当医療センターにおける D ダイマーのパニック値設定に関する検証 … 松田 天良 ほか
338. 血液凝固自動分析装置 CP3000 α を用いた基礎的検討とターンアラウンドタイムの検証
..... 高坂 仁美 ほか
339. 血液形態検査における内部精度管理手法の検討
—細胞分類の客観的評価基準の確立に向けて— 小室 佑実 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

血液5

<10:40~11:10> 座長：高見澤 司（JA佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院）

340. 末梢血好中球表面マーカーにおける日内変動および4℃保存時間の影響
..... 宮崎 愛斗 ほか
341. CN-6000 における PT 試薬の試薬蓋自動開閉ラック導入による安定性の検証
..... 松井 直紀 ほか
342. 千臨技血液検査研究班研修会における満足度調査
顕微鏡動画教材を用いたスライドカンファレンスの有効性 長津 知嗣 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

血液6

<11:10~11:40> 座長：小笠原 脩（国立大学法人 弘前大学医学部附属病院）

343. 青森県における血液担当検査技師の学術活動に関するアンケート調査

学術活動に影響する要因の解析とその波及効果 大井 惇矢 ほか

344. 当院で実施したクロスミキシングテストにおける数値判定法の検討 … 見高 健斗 ほか

345. sIL-2R 10,000U/mL以上の超高値症例における臨床的背景の検討 …… 平田 和成 ほか

【臨床化学 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

臨床化学1

<10:30~11:00> 座長：岩井実都紀（千葉県がんセンター）

346. エルカルチン FF 服用患者においてアンモニア偽高値を示した1例 … 江端 佳子 ほか

347. 正常値平均法運用時に見られた変動要因についての調査

多様な検体が集まる衛生検査所で正常値平均に季節差があるかデータ解析した結果
..... 阿久澤和輝 ほか

348. 自動分析装置を用いた M 蛋白スクリーニング検査法の試み

一分注量再検討と基礎的検討 伊藤 雅貴 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

臨床化学2

<15:10~16:00> 座長：井尻健太郎（淀川キリスト教病院）

349. 新規 LDL- コレステロール推算式の有用性の検証

直接法との比較 高橋 陽平 ほか

350. AH-8290 での異常波形検体の HA-8180T による解析 佐藤和佳菜 ほか

351. 当院健診センターにおける低 ALP ($\leq 37\text{U/L}$) 健診者の実態

持続低値の頻度と運用フローの提案 吉田 寛幸 ほか

352. 一酸化炭素中毒によりヘモグロビン分画検査に異常を呈した症例 …… 福嶋 理香 ほか

353. 患者病態を示唆する高度溶血を伴い急激な転帰を辿った2症例 …… 苗木 優貴 ほか

【病理 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

病理1

<10:50~11:30> 座長：小山田裕行（東海大学医学部付属病院）

360. レーザープリンターで印刷したカセットの経年劣化について

コールドレーザー技術を用いた印刷装置（C100）での検討 …………… 中本葉乃葉 ほか

361. 針刺し事故対策ピンと固定器材加工による消化器固定法の提案 …………… 舘野 育実 ほか

362. 病理標本貸出の現状と課題解決への取り組み …………… 川村 辰也 ほか

363. 脂肪染色と画像解析を併用した脱脂効果の定量的比較法の検討 …………… 蜂巢 智也 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

病理2

<11:30~12:00> 座長：坂本 真吾（松山赤十字病院）

354. 薄切操作における面出し技術の数値化と試料開発の試み …………… 馬場真衣子 ほか

355. 食品試料を用いた切片厚測定と技術習熟度の数値化 …………… 田中 夏芽 ほか

356. 当院における組織切片自動作製装置を用いた病理標本作製の精度向上への取り組み

…………… 森 智紀 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

病理3

<9:00~9:30> 座長：森川 容子（利根保健生活協同組合 利根中央病院）

364. 封入工程における水溶性封入剤の適用検討 …………… 稲波 久雄

365. 残余微量検体を用いたセルブロック作製方法の検討 …………… 尾崎 文都 ほか

366. 病理標本作製の迅速化に向けた当院の取り組み …………… 古橋 陽輔 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

病理4

<9:30~10:00> 座長：菅原 遼（岩手県立中央病院）

367. 当院での免疫組織化学染色と特殊染色の重染色の検討と有用性について
.....磯部 良徳 ほか
368. 腎生検輸送液を用いた FFPE 組織における核酸品質の検討永井 葵 ほか
369. FFPE 作製過程における最適アルコール置換条件の検討
—RNA 品質への影響評価—畔上 公子 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

病理5

<10:00~10:30> 座長：末武 祐介（高山赤十字病院）

357. 特徴的な組織像を呈する強皮症性腎クリーゼの一例田口 香利 ほか
358. 剖検により多臓器転移が判明した Triple negative breast cancer の1例
.....近藤 宏徳 ほか
359. 当院で経験した中皮種3症例藤岡 眞理 ほか

【細胞 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

細胞1

<11:00~11:30> 座長：川村 政人（足利赤十字病院）

370. 腺癌・扁平上皮癌の鑑別における細胞集塊辺縁の扁平化の細胞診断学的意義
.....成兼 望実 ほか
371. 腺癌・扁平上皮癌の鑑別における細胞集塊辺縁の細胞質突出の細胞診断学的意義
.....伊藤 優那 ほか
372. 生成 AI を用いた細胞診画像処理ツールの構築林 直樹 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

細胞2

<11:30~12:10> 座長：大仲 知子（市立豊中病院）

373. 微量乳頭分泌物に対する回収法の工夫と LBC 標本作製の有用性 …… 渡邊 友望 ほか
374. PanIN を考慮すべきであった腫瘤形成のない腭液細胞診の 2 例 …… 岡本 奈美 ほか
375. 尿細胞診中に出現した芽球様細胞から骨髓肉腫の診断に至った一例 …… 加藤 文音 ほか
376. 腎原発神経鞘腫の一例 …… 宮内 雅哉 ほか

【生理 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理1

<10:00~10:30> 座長：橋本 光弘（なごやひがし整形外科・脊椎クリニック）

377. 腰椎椎間板ヘルニア手術における BCR モニタリングの有用性：一症例報告
…………… 佐々木啓太 ほか
378. 術中神経モニタリングにおける人材育成上の課題とその対応についての検討
…………… 土谷 幸平 ほか
379. 当院における術中神経モニタリングの適応拡大と運用体制の変遷
—フリーラン筋電図の活用と簡易 MEP 体制構築— …… 阿久津昂杜 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理2

<14:40~15:20> 座長：三森 太樹（NTT東日本札幌病院）

380. 一秒量補正への試み …… 菅野 海希 ほか
381. 当院における呼吸機能測定装置のソーダライム交換管理の運用報告 …… 齋藤 藍 ほか
382. アキレス腱の厚さに関する基礎検討 …… 石崎 一穂
383. 球麻痺症状を呈する運動ニューロン疾患における舌線維束性収縮の筋超音波検査の有用性
…………… 池田 忍 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理3

<10:00~10:20> 座長：阿部 朋子（東北医科薬科大学病院）

384. 脳波検査における過呼吸賦活の統一化 野竹志津江 ほか
385. 定位的頭蓋内脳波（SEEG）における臨床検査技師の精度管理への関わり
..... 金子 洋子 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理4

<10:00~10:30> 座長：伊藤 真弓（独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院）

386. 四肢の電極位置が心電図波形に及ぼす影響 庄野 桃 ほか
387. 生理検査室におけるパニック値の報告体制と課題に対する取り組み ... 大宮 琉奈 ほか
388. 日本人に適した左室肥大心電図診断基準の探索 笹岡 真衣 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理5

<14:40~15:10> 座長：福永 恵吉（地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院）

389. ホルター心電計機種更新に伴う模擬波形発生装置を用いた検証 六波羅あかり ほか
390. SAS 診断における長時間ホルター心電図を用いた CVHR の有用性 高橋 咲貴 ほか
391. パッチ型長時間心電図モニター Zio monitor 有用性の検討
3 秒以上の心停止検出の観点から 阿野田葉里 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理6

<15:10~15:50> 座長：市川 篤（東京女子医科大学病院）

392. 当院における超聴診器の使用経験
超聴診器『Cardio-EGG（心音図検査装置）』及び遠隔医療支援システム『クラウド聴診[®]』
..... 佐藤 菜摘 ほか
393. 当院における救急外来でのタスクシフト／シェアについて 森山 祐一 ほか
394. 超音波診断装置の性能差が Turn Around Time に与える影響
～当院人間ドックの腹部超音波検査における現状調査より～ 小藺江栞奈 ほか
395. 生理機能検査室における手指消毒の取り組み 蒲原 碧 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理7

<9:30~9:50> 座長：南雲 涼太（かわぐち心臓呼吸器病院）

396. 自己拡張型弁 Evolut を用いた TAVI 術後における弁輪閉塞率の変化と血行動態の検討
..... 小西 二夫 ほか

397. 超音波造影剤投与後の肺・肝臓における COX-2 発現変化の検討
—糖尿病モデルラットを用いた基礎的検討— 戸澤 祐貴 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理8

<9:00~9:30> 座長：山崎 功次（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター）

398. 日常検査における心臓エコー自動計測 AI（Us2.ai）での自動計測と技師計測の一致性評価
..... 増田 浩一 ほか

399. TTE で肺動脈内血栓を描出しえた CTEPH の 1 例 中澤 遥 ほか

400. DOAC 服用後に発症した可動性左心耳血栓関連脳梗塞 小柴 鷹 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理9

<9:30~10:00> 座長：森田 遊（JA神奈川県厚生連 相模原協同病院）

401. B 群溶血性連鎖球菌感染症に由来する感染性心内膜炎の一例 吉田 梓 ほか

402. 加療患者に潜在していた ATTR アミロイドーシス検出に心エコーが有用であった 3 症例
..... 野崎 美穂 ほか

403. 左室に認めた極めて稀な心腔内異物の一症例 樋口 裕樹 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

生理10

<10:00~10:30> 座長：田野尻玲華（一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院）

404. 第一中隔枝単独心筋梗塞の一例 岸江 知哉 ほか

405. 7 日間ホルター心電図の新規心房細動検出の有用性 大崎 寧々 ほか

406. β 遮断薬使用中に見られた洞停止（5 秒以上）の一例 池田 淳一 ほか

【一般 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

一般1

<14:30~15:00> 座長：伏見 祥広（関西医科大学附属病院）

- 407. 赤血球封入標本を用いた多施設間での目合わせの試み 寺本 航輝 ほか
- 408. 尿沈渣作製過程に関する内部精度管理への取り組み 山下 美香 ほか
- 409. 綿 100% ガーゼを用いた採尿方法が検査値に与える影響（第2報） 久住 亮介 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

一般2

<15:00~15:30> 座長：金並 真吾（愛媛大学医学部附属病院）

- 410. 尿路上皮癌における Atyp.C 高値域検出状況と異型度・深達度との関連 … 前田 佳成 ほか
- 411. 尿沈渣分析装置 AUTION EYE AI-4510 により異型細胞を疑う所見を検出した一例
..... 安本 佑真
- 412. XR-1000 からみた原発性滲出性リンパ腫の一症例 海士野なつ美 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

一般3

<15:30~16:00> 座長：石澤 毅士（慶應義塾大学病院）

- 413. 尿カップ搬送システム導入後の尿検査フロー再構築と TAT 短縮への取り組み
..... 作石 敏明 ほか
- 414. 国際医療福祉大学 6 病院における AUTION EYE AI-4510 の同時導入事例
..... 大倉百々華 ほか
- 415. AUTION EYE AI-4510 クラウド型サービス「AUTION EYE Smart Assist」性能評価
..... 三谷 且哉 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

一般4

<9:00~9:30> 座長：伊藤 彰洋（JA愛知厚生連 豊田厚生病院）

416. 便潜血測定装置 OC-SENSOR R70 の基礎的性能評価 …………… 鈴木由美子 ほか

417. Hb 保存安定性が向上した S 採便容器緩衝液を用いた郵送法の検証

年間を通して実施した採便容器郵送前後での測定値変動の検討 …… 藤村 和夫 ほか

418. 臨床において重要な衛生動物の形態分類 …………… 中西 正憲 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

一般5

<9:30~10:00> 座長：前田 佳成（小牧市民病院）

419. 尿沈渣における赤血球円柱検出に関連する因子の検討 …………… 菱木光太郎 ほか

420. 卵円形脂肪体は糖尿病患者の腎機能低下速度を予測する …………… 中司 成 ほか

421. 卵円形脂肪体および脂肪円柱内に見られる結晶成分の意義に関する考察

…………… 内田 大貴 ほか

【公衆衛生・情報システム 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

公衆衛生・情報システム

<10:00~10:30> 座長：宮川 京大（国立大学法人 弘前大学大学院保健学研究科）

422. 臨床検査業務における生成 AI 活用による業務効率化とリスク低減に向けた運用の検討

…………… 宍戸 優 ほか

423. Google Workspace を活用した不適合検体管理システムの構築と業務改善効果の検討

…………… 岩本 拓也 ほか

424. 医療従事者の色覚特性に関する文献的検討

— カラーユニバーサルデザイン促進に向けた示唆 — …………… 湊 京子 ほか

【輸血 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

輸血1

<15:20~16:00> 座長：橋本 洋平（秦野赤十字病院）

425. 検体が語る危険信号

—重症寒冷凝集素症における検査技師の役割— …………… 野間 保喜 ほか

426. 爪による抗 A/ 抗 B 吸着解離試験の基礎的検討 …………… 三浦 里織 ほか

427. 手術支援ロボット ダビンチ導入前後での血液製剤の使用状況 …………… 室岡妃南里 ほか

428. 手術室内ウォールユニット型保冷庫の血液専用保冷庫としての活用に向けた検討
…………… 関口 聡典 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

輸血2

<10:40~11:20> 座長：古井 郁恵（高知学園大学）

429. 当院における緊急輸血の現状 …………… 西村 桜子 ほか

430. iPhone および RFID を用いた輸血認証システムの導入 …………… 黒田 舞子 ほか

431. 不規則抗体カードの運用状況 …………… 大倉 一晃 ほか

432. より安全で適正な血液製剤保管管理を目指した当院の緊急輸血体制見直しの取り組み
…………… 浅賀裕太郎 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

輸血3

<11:20~11:40> 座長：相川 佳子（国立大学法人 東京科学大学病院）

433. 乏クリオプレシピテートの有効利用 …………… 加藤 友理 ほか

434. 恒温槽代替品としてヒートブロックの有用性の評価 …………… 吉峯 杏南 ほか

【管理運営 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Aブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

管理運営1

<11:30~12:00> 座長：石嶺 南生（信州大学医学部附属病院）

- 435. 自社開発システムの導入による衛生検査所の管理業務削減効果 …………… 坪井 智子 ほか
- 436. Microsoft Access を用いた病理標本照合工程のシステム化と運用効果
—患者間違い防止対策を通じた病理組織検査業務のリスクマネジメント—
…………… 川嶋 大輔 ほか
- 437. 消化器内視鏡に精通した臨床検査技師の泌尿器科外来参入が外来運営に与えた影響
…………… 津田 美月 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Bブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

管理運営2

<11:00~11:30> 座長：諸岡 健司（産業医科大学病院）

- 438. 外来採血室待ち時間可視化ツールの段階的構築 …………… 井上 真由 ほか
- 439. 外来採血室可視化ツールを用いた待ち時間改善への試み …………… 横山 千恵 ほか
- 440. 市民のために出来ること
—市民と臨床検査をつなぐ「ほっとけんさ」の取り組み— …………… 松本 淳子 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

管理運営3

<10:50~11:20> 座長：小松健一郎（NTT東日本札幌病院）

- 441. 香川県における臨床検査技師勤務施設の実態調査 …………… 小河 佳織 ほか
- 442. 当院における「緊急異常値（パニック値）」報告体制改善の試み（第二報）
…………… 岡 愛理 ほか
- 443. 管理者主体の対話型マネジメントからスタッフ主体の改善を支える運営への転換
…………… 吉田 治代 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

管理運営4

- <10:30~11:00> 座長：吉田 雅子（一般財団法人 太田綜合病院附属太田西ノ内病院）
- 445. ジェネラリスト育成における教育管理体制の構築 佐谷 純一 ほか
 - 446. 当院における臨床検査技師の業務満足度調査解析 石澤 毅士 ほか
 - 447. 『検査運営方式 自主運営への挑戦から3年目を迎えての現状評価』について
..... 西田 志保 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

管理運営5

- <11:00~11:40> 座長：増田 健太（京都大学医学部附属病院）
- 448. IDWR 傾き分析による当番医検査キット在庫予測モデルの構築
— セット検査運用を踏まえた需要推定手順の検討 — 八巻 智也
 - 449. ISO 15189 によるマネジメントシステム可視化の検討
— マネジメントの原則に基づく可視化 — 石原 典明 ほか
 - 450. QMS インデックスによる構造的課題の抽出
— 複数施設の統合解析によるボトルネックの発見 — 石原 典明 ほか
 - 451. UV-LED ライトを用いた環境清掃の可視化によるスタッフの意識変容と品質管理体制の
構築 井本 達也 ほか

【教育 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Dブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

教育1

- <10:30~11:00> 座長：山内可南子（国立大学法人 弘前大学大学院保健学研究科）
- 452. 当院採血室が主体となった採血教育資料とその効果検証 明賀 伊織 ほか
 - 453. 当院における新人教育プログラム運用に関する報告 村井 良精 ほか
 - 454. 臨床検査業務における GIVE 行動の意義と組織的効果 田中 浩一 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

教育2

<9:00~9:30> 座長：千葉 満（国立大学法人 弘前大学大学院保健学研究科）

455. ハワイ大学マノア校との国際交流プログラムについて …………… 森田 邦恵

456. PathPort Cytology Hub による細胞診教育・交流ネットワークの構築 … 宮川 京大 ほか

457. 血液型試薬の反応性に関する比較検討～学生実習の観点から～ ……… 宮川 朱美 ほか

【チーム医療 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

チーム医療1

<10:30~10:50> 座長：谷ヶ城良太（大和市立病院）

458. 植込み型心臓電気デバイス装着患者に対する臨床検査技師の役割 …… 兼崎 太輔 ほか

459. 全国国公私立大学病院医療技術関係職員研修におけるタスク・シフト／シェアの

実態調査 …………… 笠原 裕子 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

チーム医療2

<14:40~15:10> 座長：高橋 利江（社会医療法人三栄会 ツカザキ病院）

460. アルツハイマー病の新薬上市が臨床検査技師の業務に与えた影響の調査

…………… 河月 稔 ほか

461. 当院の乳癌ラジオ波焼却療法の現状と臨床検査技師の役割 …………… 日比野祥子 ほか

462. 臨床検査技師に求められる内視鏡診療業務の課題についての検討 …… 奥山 康博 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

チーム医療3

<9:50~10:20> 座長：濱本 隆明（防衛医科大学校病院）

463. 当院の検査システム更新に伴うパニック値報告体制の見直し …………… 石田 梨花 ほか

464. 糖尿病内科における動脈硬化全患者スクリーニングの取り組み

患者主体の疾患管理にむけて臨床検査技師のできること …………… 坂口 和樹 ほか

465. 糖尿病治療支援の次のステージへの挑戦 第二報

学び合いの場に対するアンケート評価 …………… 土筆 智晶 ほか

【その他 示説】

第1日目 9月26日(土)

示説会場Cブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

その他1

<10:20~10:50> 座長：藪 圭介（国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院）

466. 当院におけるポータブル超音波装置を用いた深部静脈血栓症検査導入による運用報告
..... 富山 愛恵 ほか
467. 術後超音波検査の結果より採血手技不良を指摘しえた一例 筒井 貴弘 ほか
468. 救急外来胸痛患者における心電図自動解析の心筋梗塞判定と実診断の乖離についての
検討 西藤 雅美 ほか

第1日目 9月26日(土)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

その他2

<11:20~12:00> 座長：松本 佳菜（国立大学法人 弘前大学大学院保健学研究科）

469. 性差と炎症・免疫因子に着目した MCI リスク評価 石井 浩崇 ほか
470. 脳脊髄液を用いた認知症マーカー検査の院内導入とその有用性 兼松 健也 ほか
471. 臨床検査技師の骨粗鬆症マネージャーとしての地域住民への啓発活動
市原市社会福祉協議会の協力を通して 谷川 真理
472. 急性放射線症候群モデルマウスにおける敗血症発症時期の実験的検討
血液培養および腸管バリア機能評価に基づく検討 柿原 果凜 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

その他3

<9:00~9:40> 座長：黒田 舞子（大阪府立中河内救命救急センター）

473. 救急患者の血液ガス iCa 重度低値見逃し事例を契機としたパニック値設定と
地域実態調査 諏訪部 桂 ほか
474. 教訓となった高リン血症の事例について 田中 規仁 ほか
475. CGM で再発を早期発見した Doege-Potter 症候群を伴う SFT の 1 例 … 山口 拓也 ほか
476. 個人輸入した医薬品を服用していた 3 症例 東條 美紗

第2日目 9月27日(日)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

その他4

<9:40~10:20> 座長：高橋 政江（新潟県立妙高病院）

- 477. 安全な在宅輸血への取り組み …………… 小山 和恵 ほか
- 478. 病棟への臨床検査技師配置によるタスクシフト／シェアの現状と課題 … 大仲 知子 ほか
- 479. 当院における POCT の診療部門運用連携について …………… 福田萌々子 ほか
- 480. 中央採血室開始時刻前倒しによる外来採血待ち時間改善の取り組み … 平原 瑞季 ほか

第2日目 9月27日(日)

示説会場Eブロック：幕張メッセ（展示ホール7）

その他5

<10:20~10:50> 座長：田中 規仁（労働者健康安全機構 和歌山労災病院）

- 481. 演題取り下げ
- 482. 認定救急検査技師の新たな取り組みの一例
—エマルゴトレインシステム（ETS）を用いた災害訓練— …………… 平山 淑子 ほか
- 483. 当院検査部における災害対応訓練の継続的改善プロセスと実践報告 …… 岡崎 智満 ほか
- 444. 尿中成分分析装置は微生物検査に活用できるのか …………… 福元 達也 ほか

特別講演

劇的救命

今 明秀

八戸市立市民病院 救命救急センター 管理者



重症すぎて救えない患者がいる。予測救命率が低く、救命不能に思える最重症の患者を予想外に救命することを劇的救命と呼ぶ。劇的救命症例が多い施設は、医療の質が高い。

へき地で発生した2歳女児・交通外傷に対して、事故発生 25 分で現場にドクターヘリが着陸し、110 分後に救急室で Damage control 手術が行われた。予測救命率 44% からの劇的救命。代謝性アシドーシス ($\text{pH}<7.2$ or $\text{BE}<-8$)、低体温 ($<35^{\circ}\text{C}$)、凝固障害 (検査データを待たず臨床判断) は死の三徴と呼ばれ、外傷患者の予後不良因子である。死の三徴がそろわないうちに、外傷手術を終えなければ患者は助からない。そのために Damage control が必要となる。Damage control は①ドクターヘリ・カーでの医師現場出勤からはじまる、②初回手術は迅速・簡略化した止血手術、③ICU で循環異常、凝固異常、低体温の補正を行い、④ 24～72 時間後に 2 回目の手術を行う。

AED を用いた現場での心肺蘇生が失敗した時、それがへき地であれば高次病院まで搬送しても社会復帰は望めない。人工心肺 (ECMO) を用いた蘇生法にのみチャンスがある。ECMO を搭載した移動緊急手術室がへき地へ出勤すれば予測社会復帰率ゼロから 10% に引き上げることができる。

搬入時は、昏睡状態で SpO_2 50% だった。気管挿管、人工呼吸器管理を開始し、3 時間後に ECMO を導入し、CT 検査を行うと気管を圧排する縦隔腫瘍が判明した。8 時間後気管支内視鏡検査下で救命救急検査士による迅速細胞診 (rapid on-site cytologic evaluation: ROSE) を行うと肺小細胞癌が疑われた。入室 36 時間後に ECMO 下に緊急放射線照射を開始した。腫瘍は縮小し、気道狭窄も改善し第 86 病日に自宅へ退院した。

救命不能な場合に終末期医療に移行する。その中に臓器提供候補がある。これまで 10 例の臓器提供でその数倍の命を救ってきた。提供した家族ともらった本人の両方に満足度が高い。

若い医療者に伝えたい。感動する救命処置を体験しろ。

<略歴>

1983 年	自治医科大学卒業 倉石村診療所、本州最北端大間病院、六戸病院で僻地医療を 5 年間、野辺地病院、青森県立中央病院で外科医として 8 年
1998 年	日本医大救急医学教室入局、川口市立医療センターで年間 500 件におよぶ重症外傷手術を経験
2004 年	八戸市立市民病院 救命救急センターに一人救急医として赴任
2009 年	青森県ドクターヘリ、八戸ドクターカーを導入し運用を開始
2016 年	移動緊急手術室ドクターカー V3 の稼働 (救急医 20 名体制)
2017 年	八戸市立市民病院 病院長に就任
2023 年	事業管理者 (CEO) に就任し、救急検査技師・救急薬剤師専従体制を整備
2025 年	国内 3 番目のクリティカルケア認定看護師養成施設を施設内に併設

教育講演 I

救急医療に求められる臨床検査

吉村 有矢

八戸市立市民病院 救命救急センター 所長



救急医療における臨床検査は、迅速な診断と治療方針の決定に不可欠である。検査結果は即座に臨床判断と治療方針に反映されるため、検査室での中央検査に加え、ベッドサイドにおける point of care testing (POCT) の役割が拡大している。

超音波検査では、外傷初期診療における FAST を端緒として、point-of-care ultrasonography (POCUS) が超音波ガイド下穿刺や循環動態評価など多岐にわたる手技へ発展している。小型デバイスの進歩により、POCUS の活用は病院前診療にも拡大しつつある。POCT は救急外来だけでなく、集中治療室でも普及している。神経集中治療領域では、心停止蘇生後やてんかん重積状態の患者に対し、持続脳波モニタリングが推奨されている。血液ガス分析や血糖測定をはじめとする全血検体による POCT は、迅速性において優れた特性を有する。重症外傷に伴う凝固障害の早期認知とモニタリングには、血液粘弾性検査がその簡便性と有用性から注目されている。出血性ショック症例の救命には緊急輸血の迅速な供給が不可欠であり、大量輸血プロトコルの整備や、ドクターヘリ・ドクターカーを活用した病院前輸血体制の構築が進められている。輸血の迅速性は検査室と救急現場の緊密な連携に依拠する。さらに、感染症診療における細菌検査、腫瘍緊急症における病理検査、急性中毒診療においても POCT の普及が進んでいる。

救急医療は臨床検査に対し、高い精度、迅速性、容易なアクセス、および安定した検査体制の維持を求めている。臨床検査技師が検査室を越えて救急医療現場に参入し、その専門性を発揮することが期待される。本講演では、救急医療現場で求められる臨床検査の現状と展望を概説する。本講演が救急現場における臨床検査の実情を知る契機となれば幸いである。

<略歴>

2008 年	広島大学医学部医学科 卒業
2010 年	八戸市立市民病院 救命救急センター
2016 年	防衛医科大学校病院 救急部 助教
2021 年	埼玉医科大学大学院医学研究科 博士課程修了
2022 年	八戸市立市民病院 救命救急センター 副所長
2024 年	八戸市立市民病院 救命救急センター 所長

あなたにもできる災害時の支援と受援 ～被災地を支える災害時感染制御支援チーム (DICT) と 多職種連携～

高山 和郎

東京大学医学部附属病院 薬剤部



大規模災害が発生すると、被災地では大きな混乱が生じ、医療ニーズと医療資源の需給バランスは大きく崩れる。平時に行われている医療が従来どおりには回らなくなるばかりでなく、外傷や急性疾患への対応、慢性疾患の増悪、生活環境の悪化に伴う健康被害など、新たな医療負担も生じる。さらに、これまで健康であった人も避難所生活を余儀なくされることで、感染症をはじめとしたさまざまな健康リスクにさらされる。日本では、阪神・淡路大震災を教訓として災害時医療体制の整備が進められ、災害拠点病院、DMAT、自衛隊等による傷病者搬送体制、災害時の情報管理システムなどが構築されてきた。災害時には混乱を最小限にとどめ、被災地全体を統制しながら対応を進めることが重要であり、その基本的な考え方として CSCATTT に基づく体系的アプローチが日本に導入されて広く浸透してきた。とりわけ、まず Command & Control を含む CSCA を確立し、状況把握のもとで指揮・統制を図ることが、その後の医療対応を機能させる前提となる。

さらに近年では、災害関連死を防ぐことの重要性が強く認識されるようになり、保健・医療・福祉のすべての領域において、災害発生早期からの対応を目指した体制整備が進められている。こうしたなかで、感染対策は単に感染症の発生や拡大を防ぐためだけでなく、被災者の健康を守り、災害関連死を減らすうえでも重要な課題として位置付けられている。能登半島地震を機に国の組織として整備されたのが災害時感染制御支援チーム(DICT)であり、感染対策の視点から被災地を支援する体制が整いつつある。その他にも職能団体や学術団体による支援体制が整備されており、臨床検査技師の専門性についても、被災地での活用が大いに期待されているところである。

このように災害時対応が進められる社会となってきた現在、被災地における医療提供の継続と早期の復旧・復興のためには、災害発生早期からの支援体制が必要である。一方で、外部からの支援を活かすためには、被災地側の受援体制も同様に重要である。支援する側だけでなく、支援を受ける側も平時から備えておくことで、必要な支援を必要な形で速やかにつなげることができる。

すべての医療従事者は支援する側になり得る一方で、自らも被災者となり、支援を受ける立場になる可能性がある。そのことを理解したうえで、自らの専門性を災害時にどう活かすか、また支援をどう受け入れるかを考えておくことが、災害時医療を支える基盤となる。さらに、平時からの多職種連携は災害時にこそ真価を発揮し、能登半島地震でも保健医療福祉調整本部において、臨床検査技師と薬剤師との連携、さらに DICT との連携が行われている。

本講演では、日本の災害時医療体制について概説するとともに、災害時に必要な支援と受援の考え方、ならびに災害時の感染対策の重要性について理解を深めていただく機会としたい。さらに、臨床検査技師として災害時に何をすべきか、何ができるのかを考えていただき、一人でも多くの方の行動変容につながれば幸いである。

<略歴>

1993 年	昭和薬科大学大学院修士課程修了 同年 東京大学医学部附属病院薬剤部に入職
2000 年	院内感染対策チームに所属し院内外における感染対策関連業務に従事
2007 年	ICU に常駐(2011 年までの 5 年間) 急性期医療における薬剤業務に従事するとともに、東日本大震災を機に災害時医療にも携わり、厚生労働省日本 DMAT 隊員および DICT 隊員の資格も保有
2024 年	東京都災害薬事コーディネーターを任命される

教育講演Ⅲ

ミライへつなぐ検査の力 —妊娠から出産まで、命を支える臨床検査—

渡邊 理史

高知医療センター 産科 科長



「フィブリノゲン値はまだか?」「輸血はあと何分で届くのか!?!」

検査室に響く産科医の切迫した声。それは、分娩室が文字通りの「修羅場」と化した合図である。分娩室は本来、新しい命の誕生を祝う場であり、本学会のテーマ通り「命を未来へつなぐ」瞬間に立会える何物にも代えがたい場である。しかし、その景色は一瞬で豹変する。先ほどまで笑顔であった妊婦が、産科危機的出血によって1分間に500mlもの血液を失い、顔面は土気色に変わり、意識を混濁させていく。昨今、生殖補助医療の進歩により高度生殖医療を経て妊娠に至るケースが増加しているが、それに伴い産科危機的出血のリスクも確実に高まっている。また、全分娩の0.5～1.3%に発生する常位胎盤早期剥離は、母体には播種性血管内凝固症候群(DIC)や出血性ショック、胎児には胎児機能不全や死亡を招く極めて重篤な疾患である。発症すれば救急室や手術室全体が騒然となり、執刀医が絶えるような思いで検査部からの採血結果を待つ光景を、経験された方も少なくないはずだ。

かつてメディアで、高知県における「分娩空白」という課題を取り上げていただいた。本県は東西に長く、中山間地域からNICU(新生児集中治療室)を擁する高次医療機関まで、車両搬送で2時間を要する「空白地域」が存在する。この10年間で県内の分娩取扱施設は14施設から9施設へと減少し、周産期医療の集約化が不可避に進んでいる。このアクセスの悪化は妊婦にとって大きな不安要素であり、常位胎盤早期剥離等の急変時に「命を未来へつなぐ」ことができるのか、医療者・住民双方の懸念材料となっていた。そこで県全体での「セミオープンシステム」導入を断行した。セミオープンシステムとは、地域の診療所と病院が連携し、健診は近隣で、分娩は高次施設で行う仕組みである。しかし、このシステムの導入によって、産科危機的出血や常位胎盤早期剥離に対する「備え」の課題も浮上した。通常、妊婦健診の血液型検査は初期の1回のみ公費負担である。セミオープンシステム下では健診施設で採血を行うため、分娩施設側で血液型が未確定のまま緊急事態を迎えるリスク(あるいは確定のために患者に自己負担を強いる矛盾)が生じたのである。これに対し高知県では、全国で初めて公費負担での血液型検査を「2回」可能にし、安全性の確保と患者負担の解消を両立させる仕組みを構築・実装した。

本講演では、産科医療を切り口に、臨床最前線の課題と地域システム構築の課題をいかに止揚し、解決へと結びつけるべきかを論じたい。もちろん、これら双方の課題を同時に解決していくことは言うまでもない。ただ、壮大な理想を語るつもりはない。目の前にある課題を一つずつ着実に解決していくことが、どのように「命を未来へつなぐ」懸け橋となるのか。これからの日本の医療の未来に必要な実行力について、現場を共にする皆さんと共に考えたい。

<略歴>

2008年3月 高知大学医学部医学科 卒業
2018年4月 政策研究大学院大学(国内留学)
2024年4月 高知医療センター 産科 科長

[illegible]

電話 (03) 3768-4722

＜日本臨床衛生検査技師会＞ 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号 電話 (03) 3768-4722 (代) FAX (03) 3768-6722

編 集 室

2026年度の第75回日本医学検査学会は、一般社団法人青森県臨床検査技師会が北日本支部を代表して担当します。青森県が担当するのは、第11回(1962年・昭和37年)以来で、当時は青森市で開催されました。東京駅-新青森駅間の新幹線が開通したのは、2010年のため、先人である諸先輩方は、私たちの想像をはるかに超える時間をかけて全国から移動され、一期一会をととても大切にされていたのだと思います。時を経て、スマートフォン・ZOOMが当たり前の時代となり、学会の開催形式は、現地開催・オンデマンド方式へと移り変わり、AIによる発表スライドがチラホラと見受けられる時代となりました。しかしインターネットなどの通信技術が進んだ現代であっても、「人に出会う」ことが、とても貴重である事には変わりはありません。先にお伝えしておきますが、皆様が読まれているこの文書は「AI」を一切活用せずに作成された「天然」ものです。

さて、所説ありますが「青森」の県名は、約400年前の江戸時代、港から見える青々と茂る松の小丘から名づけられたといわれています。この青森から生まれた文化・歴史に「見て・聞いて・味わう」を提供すべく、限られた予算内で精いっぱい準備をしましました。

この本州最北端に位置する「青森」は、厳しい地形と気象条件のなか、遠隔地での地域医療を互い支え合い生き抜いてきた経験と独自の視点があります。

そのため、特別講演をはじめ、各部門の特別企画の随所に、均霑化、未来を見据えた壮大な企画内容となりました。事前に日臨技との意見交換・協議を重ねた「日臨技6つの企画」も各テーマにおいて、他団体とのコラボや既に実践経験をされている先生方のご登壇など、本当に深く厚みのある貴重な企画内容です。昨年より北海道・青森・岩手・宮城の太平洋側はもとより、国内で比較的大きな地震が発生しておりますが、皆様のお住まいの地域での災害への備え・体制作りに役立つような企画も含まれています。

どうかお見逃しなくご参加ください。

さて、実行委員会では月一回のペースでコンベンションスタッフの皆様とZOOMの打合せを行って参りました。参加している実務委員は、熱く議論を交わすうちに、つい「お国訛り」での会話になり、少しドキドキしながら行く末を見守ったことがあります。青森県津軽地方の会話はフランス語に聞こえるそうですので、会場内で耳にされた方はこの機会に、ぜひお話ししてみてください。ちなみに方言には「じゃわめぐ:心がワクワクして落ち着かない、心が高ぶる」があり、千葉幕張メッセの学会会場への出陣には、青臨技はまさに「じゃわめぐ:I feel very excited」の状態です。本学会と同時に開催されているIFBLS第36回世界医学検査学会では英会話が飛び交い、学会会場内は地方色と国際色豊かな世界観となるでしょう。

本学会を開催するにあたり、多大なるご協力・ご尽力賜りました都道府県技師会の皆様、ご出展などのご協力を頂きました企業の皆様、そして演者の皆様、座長の労をお取りくださいます関係者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

【表紙の説明】

青臨技では全国の皆様が参集しやすく、馴染みのある千葉幕張メッセ会場を開催場所としましたので、地元の青森を感じて頂きたく、エネルギー溢れる「青森ねぶた祭り」を表紙としました。青森県民は、なぜ月冴ゆる厳しい冬を乗り切れるのか、なぜ春のリングの花を愛でるのか、春夏秋冬に向き合い、今を生きる答えの一つが「青森ねぶた祭り」だと思います。先人があつての「今」です。「今」があつてこそ未来です。私たちが未来へ架ける橋がどんな橋なのか、その大切さに思いを馳せ、本学会が皆の記憶に留まることをこの小さなポケットプログラムに託します。

第75回日本医学検査学会 実行委員会

AIA®-CL



測定開始後、結果報告まで約**15分**。
(一部項目は除く)

全自動化学発光酵素免疫測定装置

AIA-CL2400

全自動化学発光酵素免疫測定装置

AIA-CL1200

全自動化学発光酵素免疫測定装置

AIA-CL300

**迅速で効率的な検体検査の実現に向け
東ソーはこれからも努力を続けていきます。**

測定開始後、結果報告まで**30秒**。

A1c



東ソー自動グリコヘモグロビン分析計

HLC-723 G201®

東ソー自動グリコヘモグロビン分析計

HLC-723 G11®

測定開始後、結果報告まで約**40分**。

自動遺伝子検査装置

TRCReady®-80

TRC



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社 ☎(03)6636-3734

名古屋支店 ☎(052)211-5730

仙台支店 ☎(022)266-2341

カスタマーサポートセンター ☎(0467) 76-5384

ホームページ <https://www.diagnostics.jp.tosohbioscience.com/>

大阪支店 ☎(06)6209-1948

福岡支店 ☎(092)710-6694

雑誌 ◆ 臨床検査のご案内

- 「検査で医学をリードする」をキャッチフレーズに、特集形式で多領域をカバー。
- 臨床検査にかかわる今知っておきたい知識・情報をわかりやすく解説する。
- 年2回、時宜を得たテーマで増大号を発行。

詳しくは
こちら



月刊、増大号2冊(4月・10月)を含む年12冊

通常号定価: 2,530円(本体2,300円+税10%)

増大号定価: 5,500円(本体5,000円+税10%)



雑誌 ◆ 検査と技術のご案内

- 若手臨床検査技師、臨床検査技師をめざす学生を対象に、臨床検査技師の「知りたい!」にこたえる総合誌。
- 日常検査業務のスキルアップや知識の向上に役立つ情報が満載!
- 国試問題、解答と解説を年1回掲載。
増大号を年2冊(2・8月号)に発行。

詳しくは
こちら



月刊、増大号2冊(2月・8月)を含む年12冊

通常号定価: 1,980円(本体1,800円+税10%)

増大号定価: 5,500円(本体5,000円+税10%)



医歯薬出版 関連書のご案内



「Medical Technology」別冊 乳房超音波検査 ②
 いわゆる乳腺症、線維腺腫、葉状腫瘍、乳管内乳頭腫、
 その他の良性疾患 編 Web動画付

村田有也・前田奈緒子 編著 小暮洋美・佐藤恵美・藤沢美樹 著
 AB判 168頁 カラー 定価 5,720円 (本体 5,200円+税 10%)

新刊



「Medical Technology」臨時増刊号第53巻13号
これで解決！ 臨床化学検査のピットフォール

一般社団法人日本臨床化学会ピットフォール研究専門委員会 監修
 三井田 孝・三好雅士 編
 B5判 236頁 定価 5,720円 (本体 5,200円+税 10%)



バスキュラーアクセスは透析室で守る！ その2
透析スタッフによるエコーを用いたVA管理

延命寺俊哉 著 人見泰正 編著
 B5判 136頁 定価 2,640円 (本体 2,400円+税 10%)
 ISBN978-4-263-22155-6

新刊



症例から学ぶMタンパク検査
タンパク分画から免疫固定法まで

東田修二 著
 AB判 104頁/カラー 定価 6,600円 (本体 6,000円+税 10%)
 ISBN978-4-263-22156-3

新刊



スタンダード 輸血検査テキスト 第4版

認定輸血検査技師制度協議会カリキュラム委員会 編
 B5判 416頁 定価 6,600円 (本体 6,000円+税 10%)
 ISBN978-4-263-22154-9



多職種で取り組む抗菌薬適正使用 第2版
AST活動はじめての一步

松本哲哉・北原隆志・佐藤智明 編著
 A5判 168頁 定価 3,630円 (本体 3,300円+税 10%)
 ISBN978-4-263-22700-8

体外診断用医薬品

製造販売承認番号
30800EZ00020000

「すぐ知りたい」に応えたい

【特徴】

- 生化学自動分析装置で測定可能
- 測定結果は約10分
- 血清検体で測定可能

ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメントキット

デタミナーLX NT-proBNP

糖尿病検査項目自動分析装置 DM-ExⅢ

DM-ExⅢ
Diabetes Mellitus Test Analyzer



1,5-AG

GLU

GA

HbA1c

一般医療機器：特定保守管理医療機器（設置）

届出番号 13B3X10263259001

1台で血糖コントロールマーカー

4項目同時測定可能

※ 遠心分離後の検体を測定する場合

- 1 1台で4項目の血糖コントロールマーカーを同時測定可能※
- 2 全血検体でHbA1cを測定可能
- 3 キャップピース機能を搭載
- 4 300テスト/時間の処理速度で最大200検体同時架設可能
(搬送ラック（オプション）使用時)
- 5 試薬バーコード管理可能
(バーコード対応項目のみ)

【製造販売元】

Canon キヤノンメディカルダイアグノスティックス株式会社

<https://mdc.medical.canon>

詳しい情報はWEBで
ご案内しています





SARSコロナウイルス抗原検査キット

体外診断用医薬品

製造販売承認番号 30500EZ00047000

イムノエース® SARS-CoV-2 Ⅲ



テストプレートの写真は SARS-CoV-2 抗原陽性例です。



キット全体写真(10テスト包装)



判定時間は10分

新型コロナウイルス抗原を10分で検出



変異株との反応性を確認

オミクロン株・デルタ株(本製品の添付文書より)



輸送用スワブ(鼻腔用)



輸送用スワブ付製品をラインナップ

60テスト包装には輸送用スワブを付属



他のイムノエースシリーズと検体共用可能

検体共用可能なイムノエース製品につきましては下記の一覧表をご参照ください

・検体共用可能の項目・検体種

SARS-CoV-2 Ⅲ	Flu	アデノ	hMPV	RSV Neo	Flu/RSV

具体的な検体の採取部位等は各キットの添付文書をご参照ください。
※アデノ・hMPV・RSV Neo・Flu/RSVの「鼻腔ぬぐい液」が該当します。

【重要な基本的注意】

1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。
2. 検査に用いる検体については、厚生労働省より発表されている「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針」を参照してください。
3. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
4. 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
5. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。

製造販売元

株式会社 **タウンス**

〒410-2325
静岡県伊豆の国市神島761番1

お問い合わせ

お客様専用フリーダイヤル

00120-048-489

受付時間 / 9:00~17:00
(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

LATECLE PCT 試薬

敗血症マーカーとして用いられるプロカルシトニン (PCT) の測定試薬です



汎用性

迅速性

効率性

- 各種汎用自動分析装置に搭載、生化学項目と同時測定可能
- 汎用自動分析装置を用いることで、報告時間を大幅に短縮(約10分)
- 生化学項目と同時測定で、敗血症スクリーニングを効率化

【製造販売元】



株式会社 カイノス
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-18

【問い合わせ先】

株式会社カイノス 学術部
TEL:03 (3816) 4480 FAX:03 (3816) 6544
<https://www.kainos.co.jp/>



第76回 日本医学検査学会

～地域と多職種で挑む進化
Synergy in Evolution～

2027
5.22(土)・23(日) 出島メッセ長崎
〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1

貞秀『肥前崎陽(玉浦風景之図)・
(肥前崎陽)玉浦風景之図』
藤慶・藤岡屋慶次郎・元治2・
国立国会図書館デジタルコレクション



学 会 長

門脇 和秀 みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家

実行委員長

白井 哲也 長崎大学病院

事務局長

川崎 辰彦 佐世保共済病院

主催 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

担当 一般社団法人長崎県臨床検査技師会

事務局

一般社団法人長崎県臨床検査技師会

〒856-8561 長崎県大村市古賀島町133番地22

公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院 臨床検査科内(事務局)

運営事務局

株式会社幕張メッセ 事業第三課

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

HITACHI



診断データの効果的な
治療への活用方法とは？

治療に効果的な診断技術とは？

私たちは一人ひとりに必要な診断・治療方法の確立をめざして、最先端の分析・自動化技術と治療技術、デジタルの融合により、ヘルスケア領域に新たな価値を提供していきます。

日立自動分析装置
LABOSPECT 008 α



本写真は2モジュール構成です。
製造販売届出番号:13B1X10436000041

日立自動分析装置
LABOSPECT 006



製造販売届出番号:13B1X10436000038

日立自動分析装置
LABOSPECT 006 α



製造販売届出番号:13B1X10436000043

日立自動分析装置
3500



製造販売届出番号:13B1X10436000042

日立検体検査自動化システム
LABOSPECT TS



検体前処理モジュールシステム
LabFLEX 3500 II



検体前処理分注装置
LabFLEX 2600G



日立自動分析装置
3100



製造販売届出番号:13B1X10436000040

製品情報



Innovating Healthcare, Embracing the Future

株式会社日立ハイテク

ヘルスケア事業統括本部 〒105-6409
東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー
お客様サポートセンタ 03-3504-7211
北海道(札幌) 東北(仙台) 中部(名古屋) 関西(大阪) 九州(福岡)

血液検査の新しいワークフロー “BloodScience Workcell”



多項目自動血球分析装置 XRシリーズ (医療機器製造販売届出番号: 28B1X10014000008)
塗抹標本作製装置 SP-50 (医療機器製造販売届出番号: 28B1X10014000048)
血液像自動分析装置 DI-60 (医療機器製造販売届出番号: 28B1X10014000034)
全自動血液凝固測定装置 CN-6500 (医療機器製造販売届出番号: 28B1X10014000057)

製造販売元

シスメックス株式会社



▲お問い合わせは
こちら



注 : 活動及びサイトの適用範囲は規格により異なります。
詳細は www.tuv.com の ID 0910589004 を参照。

Note : Scopes of sites and activities vary depending on the standard.
For details, refer to the ID 0910589004 at www.tuv.com

www.sysmex.co.jp